滿洲日報
八月廿一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

三土前鐵相召喚さる
大藏事件に關し東京檢事局に

【東京特電二十一日發】前齋藤内閣の鐵相たりし三土忠造氏に對しては大藏省疑獄事件突發以來兎角の説が傳へられたが廿一日午前七時、湘南辻堂の別邸に避暑中の同氏に對し東京地方檢事局から召喚發せられたので氏は任意出頭の形式で即時上京し九時過東京地方檢事局に入り主任檢事の訊問を受けたが夕刻までには歸宅を許される模樣である（寫眞は三土氏）

參考人として取調か
黒田氏と密接なる關係上

【東京特電廿一日發】三土前鐵相の身邊に關しては前議會以來臺銀の帝人株處分事件に關聯して兎角の批判が行はれ黒田前大藏次官が收容さるゝに至つて、從來の公私の關係上三土氏の喚問は不可避と見られるに至つた、ただ司法當局は政局に及ぼす影響の重大を恐れて最も愼重の態度を執りつゝ今日に至つたものであるが　黒田氏に對する取調の進捗に伴ひ此に喚問の必要を生じたのであらう、事件に對する三土氏の關聯は黒田氏と密接な交渉のあつた關係上、帝人株處分の認可に際して何等か斡旋をしたものではないか、又金錢の收受がなかつたかといふ點にあるが、畢竟重要參考人の程度であると推測するものが多い

對滿事務審議會設置
首相直屬の諮問機關として
拓務省案の一部變更

【東京二十一日發國通】拓務省では在滿機構改革に伴ひ内閣に關係各省間の事務連絡に關する委員會を設置するところ既定方針を變更し、陸、海軍、外務、大藏、拓務の外、内閣資源局の各關係官を網羅する對滿事務審議會を設置し首相直屬の諮問機關とする方針に決定、この旨二十日陸外兩省に通達するところあつた

自案の成立を期す
在滿機關案と拓務省

【東京特電二十一日發】在滿機關改正に關する拓務省の具體案は二十日内閣へ提出され、いよいよ三省案を基礎に審議開始の段階に達したが、拓務省案は既報の如く軍部から政治經濟を引離すことを目的とし唯だ暫定的に大使と軍司令官との兼任を以て當面の調和を計り、將來その兼任を解き大使の下に文治機關の完成を圖るものである、又關東州に知事を置き一地方廳とするも附屬地その他の特殊行政と共に大使の當下に監督し政務總長により行政と外交とを綜合して二位一體の機關とした又中央の命令系統は財政、拓務の二者なるも現地機構は軍事以外統一され、最高指導機關は内閣總理大臣の統督の下に審議會を設けるといふのであつて多少の修正があつてもこの案を堅持しその成立を期するといふ

海軍辭令

【東京二十日發國通】
補軍令部出仕　淺間艦長 海軍大佐 太田泰治
海軍省出仕 海軍砲術學校教頭 海軍大佐 大川内傳七
補淺間艦長

内蒙旗民の歡心に努力
南京政府の方針

【新京電話】某所着報によれば察哈爾省内各旗王は嚢に自己の誠意を披瀝せんと關東軍及び滿洲國皇帝に蒙古馬を獻上せんと申出でて來たが、去る七月上旬同省内駐在の各機關は極秘裡に種々打合せをなし蒙古馬百八十餘頭を秘に南京政府に獻納した模樣で、南京政府の内蒙古各旗に對する政策は緩和され蒙古自治辦法を制定し旗民の歡心を得ることに努力しつゝある模樣である

豫備會商提案
陸軍大藏も參畫

【東京二十一日發國通】十月再開の海軍豫備會議對案に關しては目下外務、海軍兩當局間で鋭意考究中だが、大體九月上旬には外務、海軍が完全に一致の對案を得る見込みに至つたので、引續き陸軍及び大藏を加へ關係四省にまで擴大し軍縮對策委員會を開催し事務當局案決定の上閣議に附し最後の決定を行ふ事となつた

我外務當局も今夕
北鐵交渉經緯發表
蘇聯側に嚴重警告

【東京二十一日發國通】北鐵交渉の經過、殊に讓渡價格及び條件等について發表せずとの公約的双方の諒解を無視して、ソ聯政府が之を發表し自國の有利なる宣傳に供するに至つたに對し我外務省はソ聯の國際信義破棄の事實を指摘し嚴重警告を發することとなつたが他方ソ聯の一方的聲明のみ世界に流布されるにおいては日滿兩國の立場につき豫測せぬ誤解を各方面に興へる惧れあるに鑑み、ソ聯政府に對する抗議的警告とは別に仲介者としての立場より右交渉の經緯一切を外務省聲明として二十一日夕刻中外に發表するに決定した、が、外務省は右聲明において北鐵交渉今日までの經緯を具體的に詳述すると共に、ソ聯政府が虚構なる宣傳をやめ北鐵交渉を成立せしめんとする誠意を披瀝してその最後案を提示し來るならば仲介者として引續き斡旋の勞を執るに吝かでない點にも言及しソ聯側の猛省を促す筈である

日滿紹介附録
ロンドン紙發行

【東京二十一日發國通】ロンドン來電＝廿日のデリー・テレグラフ（保守黨機關紙）は「日本と滿洲國」と題する二十頁の豐富な寫眞入り附錄を發行した、右は日本の全貌を詳細に紹介した日滿兩國權威者の所論を揭げ、特に日英兩國の協調不離を賞讃してゐる

行賞漏洩問題の
責任調査を要求

【東京特電二十一日發】過日行はれた上海事變の論功行賞に際し内閣と軍部間に嚴重申合せがあつたに拘らず下條賞勳局總裁は御裁可を仰ぐに先ちその内容を一部に漏洩したといふ事實がある、陸軍省は之を不當として文書を以て内閣に對し責任調査を要求して來たので横溝書記官が眞相調査中であるが下條氏の行爲は官紀紊亂と目されるので進退問題を惹起するものと見られる（寫眞は下條總裁）

滿鐵事業費要求額
五千五、六百萬圓見當
結局四千萬圓程度に査定か

滿鐵の昭和十年度事業費豫算は八月末日までに經理部に提出することになつて居り、目下各部の經理箇所において査定中であるが、各部とも大體完了を見たので、九年度追加豫算とかち合つてやゝ遲れる社宅計畫（總務部）を除いては各部とも期限通り今月末までには經理部に出揃ふ事になつた、各部

要求總額 はその上でないと判然しないが、大體五千五、六百萬圓見當と豫想されてゐる、しかし經理部はさきに豫算作成方を通告した際、十年度事業費豫算は三千萬圓を最高額とする方針なる旨を聲明してゐたので、この殆ど倍額に達する各部豫算を如何に捌くか興味を以つて見られて居り、殊に各部とも昨今の滿鐵財政が稍ゝ社内保留金が四千萬圓を超えてゐる事實を知つてゐるので自己の部の事業費要求貫徹について極めて强硬であり、若し經理部が三千萬圓の關門を固執すれば昨年同樣

大部分の 費目が重役會議に持出されることにならう、然るに重役會議に持出されると、經理部擔當理事は一名なるに、他の事業費箇所の擔當理事は七名あり、夫々自己の部の豫算を主張するので自然經理部の主張は通らず、昨年度のごとき七千萬圓を超える創立以來の大事業費豫算が出來上る傾きがある、從つて經理部としては出來得るかぎり經理部と各部との折衝において各部の豫算中やむを得ざるものは承認し、重役會議に持出す分を最少限度にとゞめんとするらしく、この結果は當然三千萬圓を超過し、少くとも四千萬圓見當の事業費が最後に査定される事になるものと豫想されてゐる

大連市政擴充
問題協議

大連市會同志倶樂部では二十三日午後一時、市役所にて「在滿政治機構改組に關聯し大連市政擴張に關する件」を協議する筈であるが恐らく緊急市會を開き市政擴張の目的を貫徹すべしとの決議をなして市長を鞭撻することを申合すべく、一方革新倶樂部においても同樣の議が行はれてゐる

伯國大使に
澤田氏を起用

【東京二十一日發國通】ブラジル大使に澤田節藏氏を起用するに決しブラジル政府に對し要請中のアグレマンは二十日到着したので、外務省としては林大使の歸朝を許可すると同時に九月上旬正式に任命する事にならう

あめりか丸船客

【門司特電二十一日發】二十三日大連入港のあめりか丸主なる船客　農林省技師尾上綴之助、同上遠章、宗像建築事務所長宗像主一、自動車運輸業吉野實、樂器製造業川合幸一、橋野秀敏

人事

▲大里甚三郎氏（線路總局人事課長）二十一日午前七時四十分着列車で來連
▲白井喜一氏（滿鐵奉天鐵道事務所長）二十一日午前九時發はとで歸任
▲山田博愛氏（日大工學部教授）同上北行
▲高谷大次郎氏（滿洲國財政部吉黒権運署總務科長）同上歸任
▲川路守正氏（滿洲工廠顧問）同上
▲宇都宮金一氏（實業家）同上
▲出口好衛氏（エムコンコフ商會理事）同上
▲本田敬太郎氏（豫備海軍少將、滿洲石油理事）二十一日扶桑丸にて來連
▲内田三郎氏（豫備陸軍少將、滿洲石油理事）同上
▲時日清少佐（旅順要塞司令部附）同上
▲佐々木吉雄中尉（旅順重砲隊附）同上
▲小野新太郎氏（旅順工大豫科教授）同上
▲金原誠氏（同）同上
▲西川虎吉氏（九大名譽教授）同上
▲小倉彦四郎氏（小倉石油重役）同上
▲若柳吉兵衛氏（日本舞踊學校校長）同上
▲彦坂萬次郎氏（福島紡績社員）同上
▲中野慶治氏（會社員）同上
▲樋野權一郎氏（同）同上
▲加納安藏氏（同）同上
▲荒川正太郎氏（同）同上
▲關西大學野球部金政卯一氏外二十二名同上

秘境の滿蘇國境を往く
……(6)……南里本社特派員發

哈府を中心とする
蘇聯側の軍備擴充
壓迫に苦しむ農民

（蘇）聯の極東司令官ブルッヘルはハバロフスクの中央セルウイセルスカヤの宏壯な司令部内二階の官舍にゐるが、彼が極東司令官就任後ハバロフスクのみに設備した軍備だけでも驚くべきものがある

ブラゴウエスチエンスクの第十七狙撃隊本部に對してハバロフスクには第十九狙撃隊本部を設置し、大製裝な軍需品工場、彈藥庫、工兵大隊、ラヂオ局、軍用製粉工場、發電所の新增設、黒龍江艦隊根據地の擴充、極東一の飛行場、樺太原油を材料とする製油工場、軍事專用電話局農具製造工場等々全ハ市は純然たる軍國都市と化し、更に問題の三角洲には水上飛行場及び陸上飛行場、工兵隊架橋部隊、高射砲、探照燈等の化學兵器を縱横に設備し同飛行場には支那人六十三名が使役されてゐるといふ

（こ）の大袈裟な極東軍事擴充は國内第二次五ケ年計畫達成に對する農民の反感を抑へるためとか、或は國外逃亡者を未然に防ぐためとか、共産赤化宣傳の強化とかの對内策からでなく積極的對外政策から割出された既定の方針に基いたものであることは國境視察者の總てが容易に感得し得る處であらう、奇蹟的に國外逃亡を安全に成功した三家族十六名の農民の語る蘇聯國近狀は寧ろ悲慘な通り越した慘酷下にあり、聽く者をして泣かせるものがあるが日蘇開戰説は彼等農民間に最も信ぜられ、その開戰の日の一日も早からんことを熱望してゐるといふ而して已むを得ず共産黨に加入して生活の安定と生命の保障とを得てゐる階級者及び農、工、商民の大部分は開戰と同時に暴動化し共産政治を顛覆せしめることは明かである、この事實を感知してゐる官憲は益々その彈壓を加へ強制的に農民の居住地を入替へ、個人的國内の移動、旅行に對する査證の檢閲を嚴重にし一方日蘇開戰の浮説、蘇聯の軍備は他國に絶對敗けぬ、滿洲國へ逃亡しても滿洲國は直にその逃亡者を捕へて蘇聯に引渡す、引渡された者は卽座に銃殺する等々宣傳に努めつゝあるも、一般人には滿蘇間の密貿易者により日本軍の強いこと、逃亡者が滿洲國々民から非常に優遇され金品食料衣類の恵與は勿論職業まで與へられてゐる等々が眞相として傳へられ官憲の宣傳は一笑に附せられてゐる

なは彼等十六名（三夫婦、一青年、三、四歳から七、八歳の子供九名、一婦人の如きは姙娠十ケ月である）の逃亡苦心談は血のにじむものがあり監視の眼を盗み得たこの女子供連れが九死に一命を拾つた幸運は僅かに神の加護があつたらうことを信ぜられる

（七）月二十八日午前五時半記者は無名地の江上假泊點を出帆した、天氣晴朗晩秋の候を思はせる、アルゲンスキーからウスリー鐵道ウイリナ驛には軍用電話が架設されてある、このウイリナから東方沿海州の樹海と稱せられる大森林に向け森林鐵道が昨年十二月より架設され三百露里（百邦里）を開通し資庫開拓にその第一歩を染めた模樣である、コックレバー、スウオボーイの小部落におけるゲ・ペ・ウの監視を他所に眺めながら午前八時海青鎭に投錨上陸した、江岸に沿うた一聚町、人口百七十名ほかに鮮人三十三名、露人五名（女のみで滿人の妻となつてゐる）鮭漁業には未だ時期は早いが對岸スウオボーイは飛べば越せさうに近い、騎馬のゲ・ペ・ウが江岸を走つてゐる、牛が悠々と江邊に水を呑んでゐる、素足の子供が七、八名柳の下に遊んでゐる、實に平和な點景だ、兩岸とも平野で身長を沒する草原の濕地である

（ウ）スリー江岸の冬はハルビン方面に比し更に寒いといふが兩岸ともその住宅は木造であり、また木造に土を塗りつぶした粗末な家で越冬されることが不思議に思はれる位だ、然し薪の燃料が豐富であるため辛うじて越冬し得ると稱してゐる、目下兩岸はその準備として薪が山のやうに積まれつゝある、午前九時五分海青鎭出帆、監視汽艇を追ひ越しながら三十滿里の上流クウケレオ（駐屯兵三十名）アタコーフ（駐屯兵八十名）ウエニコフ（同三十名）を通過午後三時四十五分國富鎭に錨着、對岸はウエニコアである、戸數約百四五十戸あれど不思議にも餘り人の影を見ない、概してウスリー江の蘇聯側は滿洲國側部落に比し戸數は多くても人の住む氣配は少いやうである

この附近から上流東安鎭對岸にかけての沿海州側は [illegible] 遠く及ばない大森林であり大樹海である、江岸近くの樹木は楢楓等の雜木が千古斧鉞を入れないまゝの姿を見せ、ウスリー流域唯一の風光が旅情を慰めて呉れる、本年は氣候の關係から夏がなく春と秋だ、百花は爛漫と咲き亂れ紅葉は濃綠の間に燃え大鷲、青鷺、鴨などと想像を許さないこの大自然に抱かれ幸福そのものゝやうに思はれる（寫眞は同江）

ソ聯聯盟加入
佛政府の斡旋

【ジュネーヴ二十日國通】確聞する所によればソ聯政府は聯盟に對し「九月より聯盟に加入する用意がある」旨非公式に通告した、右通告を爲すに先だちフランス斡旋の下に聯盟とソ聯政府との間に豫備的交渉が行はれたと傳へられてゐる

極東情勢説明
陸相けふ閣議で

【東京二十一日發國通】林陸相は二十一日定例閣議で懇談的に陸軍の觀たる最近の極東諸情勢につき説明をなす筈である

號外發行

二十一日三土前鐵相召喚に關し號外を發行しました

蛇角

◇大藏疑獄の火の手が遂に三土前鐵相に廻つた。類燒かどうか判らないが焦げ臭い匂ひだけはする。

◇國策審議會はどうやら流産の噂。生れぬ前から評判の惡い子なら先づ生れぬ方がましだらう。

◇民政黨と床次派、山道派の合從連衡、若し成功しても世間では「何に足輕か?」以上に高くは買ふまい。

◇關東廳が縮小するなら大連市政は擴張しやう、小川市長のその意氣は買つてやつてもよい。

◇三井家の相續税、吻驚タッタ二千二百萬圓、同じ國には明日の糧さへもない農民が數百萬も居る。

◇ニュートンはリンゴ落下で眞理を發見し、農林省はリンゴ禁輸で在滿青果業を見殺しにする。

◇近頃明るい話、埠頭の硝子トンネルと、濱連町の電燈トンネル。

七寶の柱 (94)
小島政二郎
岩田專太郎畫

樣と別れて——（六）

ドアを明けると、リーンとベルが尾を引いて家中に鳴り響いた。

「あら、入らつしやいまし」

丸髷に結つた、まだ初々しい細君が、柔かい感じの顔に、滿面の笑みを浮べて小走りに迎へに出て來た。

「あの昨日電話でお願ひして置きました中村ですが——」

丸髷を一目見た瞬間、お梅はギクリと胸を刺された。思はず柱に摑まつて目をつぶつて、ゴクリと唾を呑み込んだが、次の瞬間、さあらぬ體でさう云つた。

「お待ち申してをりました。さあどうぞ——」

主婦は、全身で愛想よくお梅を迎へた。

しかし、お梅はスリッパを穿く足も重かつた。失望と落膽とで、寫眞なんかもう寫す氣などは毛程もなかつた。人の氣も知らないで、あんな可愛らしい奧さんを迎へたりして、——さう思ふと、山岡が無上に恨めしかつた。

逢つたら手に取り縋るつもりで來たお梅は、あべこべに恨み辛みのありツたけを云つてやりたくなつた。

（いつそ、このまま歸つてしまはうかしら?）

お梅は拗れて一旦はさう思つた實際、もうこの世に何の望みもなくなつてしまつたやうな果敢ない氣持がした。

（突然あの人の前に私が姿を現したら、どんな顔をするだらう?）

その時の山岡の顔が見て遣りたかつた。それだけの興味で、お梅は導かれるままに二階のスタヂオ（寫眞室）へ上つた。

「いゝ陽氣になりまして——」

お茶を勸めながら、客あしらひに懸命な主婦の佳さを見てゐると、しかし、お梅は身につまされて——こんな平和な家庭を、自分故に亂すことの恐ろしさを、また反省するのだつた。

「どうぞ暫くお待ちなすつて——只今すぐ參りますから」

かう云つて、細君は淑かにスタヂオを出て行つた。と、聞き覺えのある聲で

「靜江——」

後は、何と云つてゐるのか聞き取れなかつたが、絶えて久しい山岡の聲を聞いて、流石にお梅の心は落ち着きを失つた。

さッとドアが開いて、昔と少しも變らない山岡の姿が現はれた。

色の淺黒いまゝに血色のいゝ、髮の毛をモシャモシャにした、オットリとした——しかし、どこと云へないが、やはりどこかに老けたところが仄見えて來てゐた。

「……」

その氣もなく、お梅は我知らず彈かれたやうに長椅子から立ち上つてゐた。

「あッ」

と云つた感じで、山岡もその場に棒立ちになつた。二人は目と目を見合せたまま、立ち竦んだ。

が、細君がうしろに立つてゐる手前、二人は何と言葉の交しやうもなかつた。しかし、二人の目には懷しさの色が柔かく溢れてゐた。

「どうぞ——」

山岡はやつと氣を取り直したらしく、それでも喉に絡まる聲で、お梅を定めの位置に招じた。

山岡は黒い布を被つて、ピントを合はせに掛かつた。

お梅はぢつとレンズを見詰めながら、黒い布の中の磨ガラスに、逆さまに映つてゐる自分自身を思ひ描いた。逆さに映じてゐる自分の姿を、山岡はどんな心持で眺めてゐることだらう……お梅は泣きたいやうな、笑ひ出したいやうな變な氣持で、猶もぢつとレンズを睨んでゐた。

吹晒しから救ふ 大連埠頭の渡橋
兩側を一面のガラス張り 冬來るまでに完成

豪壯を誇る大連港玄關口より埠頭待合所までの高架渡橋は大連埠頭の一偉觀として渡滿者の目をまづ奪ふものであるが、今日迄「あの高架渡橋を冬の吹きさらしから救つてくれ」の聲は殆ど輿論の流れとなつて色々な形で論議され滿鐵當局としてもこれが對策につき種々意見が交換されてゐた、ところが今回急速に話が進展してあの高架渡橋左右兩側を一面の硝子張りさする事に殆ど決定、冬來る迄に完成し埠頭を中心に出入する市民の利便に供することゝなつた

同渡橋が冬期凍結して吹雪と結氷に惱まされ市民の歡送迎の出足をにぶらし或ひは上陸第一歩の渡滿者に惡印象を殘した事は事實で、心あるものに何とかしなくてはならぬの感を深く抱かしてゐたものである、しかるに滿鐵が愈々その點に留意、硝子張工事施行に取りかゝるは全く時期を得たものと云はれてゐる、この硝子高廊竣工と共に冬期氷の花がその兩側にパッと咲いた硝子のトンネルをくゞる氣持はいかにも滿洲らしいローカルカラーが出たものと想像される、尚ほ工事費は約一萬圓、近く工事に着手の豫定である、しかもこの硝子張工事を率先發意しこの實施方促進に贊意を表したのは林滿鐵總裁で過日內地より歸任の際、多數乘客がビショぬれになるのをマザ〳〵目の邊り見せつけられそれがこのよき意味の鶴の一聲となつたものであるさいふ

列車を增發して全的に高速化
滿鐵改正ダイヤ決定

滿鐵鐵道部が今年秋から實施する旅客列車の改正ダイヤは二十一日の重役會議でいよ〳〵最後的決定を見たが、結果は特急「はと」の上りを沙河口驛に停車せしめることゝなつたほか全部鐵道部原案通り確定した、而して今回改正の要點は最近の旅客激增に伴ひ全線的に列車の增發を行ひかつ超特急の運轉開始に伴ひ全面的にスピード・アップを行つたことで、滿鐵としては劃期的の時刻改正であり、そのうち特に主なる點をあぐれば先づ大連新京間に超特急行一本、奉天大連間、奉天新京間（光の延長）に各急行一本、日滿直通急行增加による安奉線急行一本、奉天新京間普通直通一本の各增發等で主なる列車時刻は左の如くである

▲下り急行列車
	大連發	奉天着	新京着
新特急	九、〇〇	一三、四〇	一七、三〇
はと	一三、〇〇	一七、五四	二二、三〇
急行	一六、三〇	二三、三〇	奉天止り
急行	二〇、〇〇	三、一〇	八、三〇

	安東發	奉天着	新京着
光	一一、〇〇	一六、二〇	二一、〇〇
急行	二三、三〇	六、四〇	

▲上り急行
	新京發	奉天着	大連着
新特急	一〇、〇〇	一三、三六	一八、三〇
はと	一三、〇〇	一六、三六	二三、三〇
急行	二〇、〇〇	一、二五	八、四〇

	新京發	奉天着	安東着
急行	―	七、三〇發	一三、三〇
光	七、〇〇	一一、三〇	一七、一〇
急行	―	二三、〇〇發	四、三〇

▲普通直通列車
大連發	奉天着	新京着
二一、〇〇	六、三〇	一四、〇〇
二二、三〇	三、一〇	六、四〇

新京發	奉天着	大連着
二三、〇〇	六、一〇	一六、三五
一六、〇〇	二三、三〇	八、〇〇

▲奉天發北安行列車
奉天發	四平街着	同發
一九、〇〇	二三、一〇	二三、四〇

四平街着	同發	奉天着
六、一〇	六、四〇	一〇、三〇

即ち以上の改正時刻において特異な點は奉天の乘客を考慮外においた大連新京間の急行を一本置き、その代りに大連奉天、奉天新京間に各急行一本を增發し、また現在の大連發吉林行およびチチハル行の直通列車を廢してそれ〴〵奉天打切りとし、新たに奉天發北安行直通車を組成した點等で、これ等國線との連絡については總局において充分考慮することになつてをり何れにしても鐵道部苦心の跡を歷然と現はしてゐる

滿鮮遠征の……關大野球部來る
せはしい試合の旅

關西球界の雄關大野球部滿鮮遠征軍金政監督以下一行二十二名は實滿兩軍選手の出迎へを受け二十一日入港扶桑丸で來滿、東旅館に投宿したが金政監督は語る

春のリーグ戰には聯盟側と紛糾を生じ脱退しました、秋に復歸するかどうか今のところ云へません、チームの今年度の成績は五割位で早慶明法立と戰ひ慶應に敗れ他は一勝一敗でした、當地の試合終了後京城で三回程試合をする豫定です、何分慶應、ハーバード大學との試合の關係上九月五日迄に歸阪せなければなりませんのでいそがしい遠征です

一行のメムバー左の如し
▲監督金政▲マネーヂャー石井▲投手西村、北井、田上▲捕手北浦、岡本▲一壘村上、中村▲二壘橋本、辻▲三壘來島、土屋▲遊擊大橋、今井▲外野手稻若、加茂、浮田、黒澤、御園生（寫眞は遠征軍の一行）

鶴田義行選手
滿鐵を退社す

日本水泳界の代表選手たる滿鐵社員の鶴田義行選手は父君重態のため名古屋に歸省中のところ二十一日入港の扶桑丸で歸連したが、今回一身上の都合で滿鐵を退社し名古屋市役所に勤務することゝなつた

舞踊を通じ日滿親善
若柳氏一行來連

舞踊を通じて日滿親善を圖らうと日本舞踊學校々長若柳吉兵衞氏一行四名が廿一日入港の扶桑丸で來連花屋ホテルに投じた、船中語る

大連には今月中滯在、それから全滿をハルビン方面まで舞踊行脚をするつもりです、はじめてですからどうぞ宜しく願ひます

官廳案を一蹴 既定方針で進む
大型タク料金問題

大型タクシー營業者は去る十八日關東廳に大和田保安課長を訪問し出願中の改正料金認可方を懇願するところあつたが、その際官廳案として一區料金を四十錢に値下げし而して歸り車の一區三十錢制度は流し車の防止策とし、車庫乘込みも歸り車同樣に見做し三十錢以下に値下げの餘地なくなば車庫乘込みをも歸り車同樣に見做すことは營業の根本に變革を來す憂へありといふ意見から遂に官廳案を容るゝに至らず、目下出願中の改正料金を以て當初の方針通り關東廳に對し認可の運動を續けることを申合せた、この結果關東廳が果して如何なる態度に出るか注目されてゐるが右に就き長川大連署保安主任は語る

關東廳としてはどの案を實施しようと差しつかへないが、要するに最も市民に利益になる方を執りたいと考へてゐるから種々營業者側と折衝してゐる譯である、臨時總會の結果どこまでも既定方針で進みたいといふなれば又改めて考究することになるであらう

て走るやうにしたら如何と妥協的に改正料金を提示した、よつて大型組合では二十日午後一時から臨時總會を開き、右の官廳案に基き最後的協議を行つたがその結果

最も需要多き二區以上の郊外料金は一割乃至二割の値下げとなつてゐるので、一區料金は五十

怨みは二十錢
浪速町で友人を刺す

二十日午後十一時三十分ごろ市內浪速町一丁目貴金屬商近江洋行河合美雄氏三男早大專門部二年後次君（二）が暑中休暇で歸省して來たのを訪れて來た大連商業學校同窓生滿鐵埠頭事務所勤務市內櫻花臺一二〇遠藤昌敏（二）と二人で浪速ブラに出て同町派出所橫に差しかゝつたところこれも大商同窓生（四年中途退學）であるヨタモン伊勢町一〇七番地篠山滿喜（二）と篠山の友人で去月末大阪から來連した中田吉雄（一九）の二人と出會し篠山は遠藤に向ひ「濟まんが二十錢貸して呉れ」と無心を吹きかけたのを「金を持つてならぬ」と態よく拒絕し二人は喫茶店梅園でコーヒーを飲んでから浪速町三丁目大阪屋號前に來たところ尾行して來た篠山等は二人を呼び止め「金を持たぬのに喫茶店に入るとは何事だ」と遠藤に挨りかゝつたので河合君が仲裁に入ると中田は「第三者は默つてをれ」と叫び懷中のドスを拔いて河合の心臟上部を目がけて突き刺し鮮血にまみれて昏倒するや二人は姿を晦ました

所轄大連署司法係では直ちに刑事召集を行ひ被害者を小柳醫院に收容應急手當を加へ一方犯人搜査の結果、今曉一時三十分伊勢町自宅に潜伏中の二人を河野吉岡兩刑事が取押へた

取調べの結果、河合君を刺した中田は大阪市內で自動車修繕工をしてゐたが去月二十一日篠山を賴つて來連、同家に身を寄せてゐたものので大阪の盛場を荒し廻つてゐた不良少年であり篠山も當夜は廻轉式五連發を懷中してゐたヨタモンで引續き餘罪を取調中

なほ被害者は心臟上部に深さ三センチの傷を受け出血多量で重態である

炭疽病遂に 苦力侵す
總局、對策協議

北黑線の炭疽病はその後ますます〳〵猖獗を極め二十日滿鐵建設局への入電によれば既に馬四一千頭同病に冒されうち七百頭斃死、ほかに苦力四名の罹病者を出したので、急報を受けた滿洲醫大から滿人醫師一名五百名分の治療用血淸を攜行二十日現地に急行したが、何分同病は極めて傳染の激しいものであるため建設局では二十一日關係者集合今後の對策を打合せするところあつた

活躍、今般旭川工兵第七大隊附より旅順要塞司令部附に榮轉の時目淸工兵少佐は二十一日入港の扶桑丸で家族同伴來連直に赴旅した、船中語る

國民黨の方は事變勃發と同時に辭して長らく故山に引込んでゐた、滿洲も隨分變つたやうだし確つかり勉強して期待に副ひたいと思ふ

慶應小川捕手
脚氣のため退部

【東京二十一日發國通】慶應大學野球部の名捕手並に强打者として鳴らした小川年安君は今春來脚氣で活動思はしからず部長に退部を申出たが部長も此の程已むを得ずとして退部を許可した

鮮魚を格安に
水產會オミットの計畫
漁業者間に渦紋

奧地の發展に目をつけ、新鮮な生魚を安くふんだんに送り込まうといふ計畫が、水產會を拔きにして着々準備が整へられてゐる、即ち從來

水產會では水揚料なる名目のもとに一定の手數料を漁獲高から差引いてゐたため自然市民の口にはそれだけの負擔がかゝつてゐたが、その急所を見拔いて個人の手で網を引き揚げた漁獲物は格安に市中並びに奧地に送り込もうと云ふプランでそのパックには入江琴治氏が當つてゐる、特定の漁船繫留場を作り漁獲物をソックりそのまゝ揚げて了ふもので既に民政署並に滿鐵に西埠頭の一部借受運動が行はれつゝある、從つて右計畫は全然從來の水產會とは對立的なものになるわけで萬一それによつて相場の攪亂でも行はれたとしたら面白くない結果を招來すると懸念され漁業關係者間に一石投じた事となり成行注目されてゐる、同時に果して

滿鐵が
輕々しく漁船繫留場を貸付けるや否やは疑問とされいづれにしても同計畫の表面化と共に水產會當局との間に物議が生ずるものと見られてゐる

水の用意を
老虎灘方面の水道今夜斷水

大連民政署水道課では本二十一日午後八時より十二時迄、左記老虎灘方面の水道鐵管本管の工事をなすので一時斷水又は溷濁を見るやも知れず、同方面の市民は使用の水を豫め用意して置かれたいと

秀月臺、淸見町、小波町、靜浦町、香月臺、春陽臺、轉山屯、老虎灘

社員家族の
地方部運動會

滿鐵地方部では來る九月十六日午前九時より南滿工專運動場に於いて社員家族合同の第二回地方部運動會を開催することゝなつたが興味の中心たる部長、課長爭奪採點競技は昨年第一回大會の九種目（社員のみ出場）に新なる家族のみの家族玉入れを差し加へ左記十種目で行ふことに決定した

陸上ボート、球入れ、二人三脚リレー、課所長、主任リレー、籠球リレー、ビーボールリレー、盲啞リレー、百足競走、ラグビー十五人リレー、家族玉入れ

福田畫伯を招宴
大連讀書會では十九日午後三時から市內西園亭に目下滯連中の福田平八郎畫伯を招き滯畫の鑑賞をなし淸遊を試みた

出席者は佐藤至誠、原田光次郎、首藤定、小澤新之輔氏等十八名で盛會裡に十時散會した

時目工兵少佐
事變前圖民黨顧問將校として支那本土にて

二十二日
南の風（曇）
滿潮（午前七時五〇分 午後八時一〇分）
干潮（午前零時四〇分 午後二時一五分）

各地溫度（二十一日午前十一時）

大連 二五	奉天 二七	旅順 二五	新京 二六
營口 二六	新義州 二五		

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百十四圓三十五錢

死傷・行方不明者三百餘に上る
安東水上署管內の鴨綠江上の被害

滿鐵本社に入電せる安東水上署の調査せる同署管內鴨綠江上における被害は左の如く死者及び行方不明を合せて三百二十名に上り、物資損害額は實に百六十二萬六千三百圓の莫大な額に上つてゐる、人畜被害の內譯は次の如くである

▲死者三〇、負傷者二六、行方不明二九〇
物資損害額內譯は次の如くである
▲家畜流失豚四六、鷄二〇、橋梁流失二ケ所、以上損害見積額三千二百圓
▲家屋流失五、同崩壞一一、同浸水二九、右損害見積額四千六百圓
▲筏流失一一六臺、右損害見積額五十四萬一千圓
▲堤防破壞損害八千五百圓
▲船舶流失一、〇二〇、損害額三十四萬六千百圓
▲積荷流失損害七十二萬三千圓
以上損害額合計百六十二萬六千四百圓

慰問使を派遣し
實情調査の上で對策
滿鐵社員會と安東の水災

滿鐵社員會では二十日午後三時半から開催の役員會で安東水災慰問方法その他三案について協議したが左の如く決議した

一、安東水災對策 粕谷宣傳部長並びに平島鞍山局員を慰問のため派遣し實情調査のうへ對策を講ず
一、夏期大學講演集出版に關する件 地方部に交涉のうへ成る可く出版することにする
一、幹事會開催に關する件 九月十五日開催の豫定
一、精神作興運動實行の件 十月中旬精神作興週間を設けて目的貫徹に努力すること

滿鐵々道部では安東罹災民の飲料水補給のためさきに五臺の水槽車を安東に急送したが更に二十二日中に新京から一臺、大連から四臺の水槽車を送ることゝなり、大連からの分は鐵道工場で二十一日中に發送準備を終る事になつてゐる

奉天から慰問
【奉天電話】水禍の安東市に對し日滿各機關において救濟策を考究中であるが被害地の各機關を心から慰問すべく奉天より市民代表として野口民會長、關屋地方事務所長、皆川聯合町內會長、驛屋地方委員議長の諸氏が二十一日午前七時發ひかりにて赴安した

遞信局救護班
急遽安東へ出發

關東廳遞信局では今回の安東における水災に對し同地方一萬有餘の保險加入者及び一般傷病者の應急救護に當らしめるため保險係山口書記健康相談所阪口醫師及び看護婦二名より成る救護班を組織し藥品材料を攜行十九日午後四時二十分急遽出發せしめた

水饑饉から安東市民免る
貯水池の應急修理
明日中には完成

水害のため安東市民六萬三千の命の糧たる飲料水を奪はれた安東では淨水の供給を最大急務として應急處置に狂奔してゐたが安東地方事務所において二十日朝より安東平常の家庭使用淨水二千三百噸の約半量の一千餘噸の給水計畫を立てトラック、撒水車等にて市內四十餘ケ所の給水所から飲料水の配給を開始した、卽ち當分の給水計畫は次の如し

新義州上水から五百噸供給、市內井戸給水三百噸、鐵道タンク車給水二百餘噸で一千餘噸に上りこのほか濾化器を使用して飲料水を補給してゐるので既に二十日より日常飲料水ほか使用水には間に合ふこととなつたなほ貯水池は目下派遣技師が中心となつて晝夜兼行にて修理中で二十二日中には應急修理が完成する筈

無料診療開始
安東水災地救濟のため滿鐵本社衛生課では曩に村川博士が醫師二名を伴ひ急行せるほか更に二十二日救療班三班を現地に派遣し安東市內において救療所を開設し病者、負傷者の無料救療を行ふことゝなつた

救療班の組織は醫師一名、看護婦二名、助手一名、滿人助手二名より成り醫大その他滿鐵病院それ派遣される

"美術の秋"の序曲
東都洋畫綜合展 ふけから
枯淡と絢麗のシンホニー

詰かける觀衆讚歎

美術の秋の前奏として愈々本日より開かれた東都洋畫綜合展は各方面に多大の話題を提供しつゝ朝來入場者續々詰めかけ、各派各流の名作の前に讚歎の聲を聞き、優麗枯淡の色彩シムフォニーの前には瞠目賞美の姿を見せてゐる、總じて老大家側の努力大作目立ち岡田三郎助、藤島武二氏の氣のきいた裸婦、有島生馬氏の湖上驟雨の色彩感、梅原龍三郎氏の版畫效果による感覺的バラ、安井曾太郎氏大作裸婦の物凄き量感、川島理一郎氏の童詩的巴里祭、人氣作家側では中村研一氏のおなじみのモデルによる光りの巧妙な扱ひ、伊原宇三郎氏のハイカラな瀧町風景、小磯良平氏の落付いて同時にシャレた卓上靜、牧野虎夫氏の文學的けし畑、白瀧幾之助氏の新クラシズム精神の花小品、伊藤廉氏のひらめきとマチエールの靜物畫――このラーヂ・ヴアラエテの洋畫家群總動員は滿洲最初の質的大展覽會として盛大な美術展情緖をかもし出してゐる（會期は二十一日より二十三日まで本社講堂、寫眞は會場の觀衆）

切々、五十男に若い女の思慕
妻子を振り捨てた男と淡路から大連へ

滿洲の新天地に愛の巢を營まうとして內地から戀の逃避行としやれ込んだ親子の樣な男女が內地からの手配で小崗子署の取調べを受けてゐた

男は原籍兵庫縣洲本町市內大黑町六二大野新二郎（五二）といひ女瀧谷スギ（二二）とは原籍地洲本で二、三十間程離れた所に住んでゐたのでかねて顏見知りの間柄であつたがスギは當時叔父に當る山下某と同居してゐたが虐待されるのを大野が同情し慰めてゐるうち戀となり大野は妻子をすてゝ七月上旬スギとの愛の巢を大連に營むべく渡滿したものである

男の就職がきまるまでと小崗子奈良屋に仲居勤めをしてゐるスギは保安係の呼出で一應保護留置されたが

「どうしても男とは別れることは出來ません」

と父の樣な男をしたふ小娘のあつい所を見せてゐた

丹下左膳 (201)

新講談 林不忘作 小田富彌畫

母娘旅同行二人(二)

フと、後ろにすゝり泣きの聲がする……ので、石金、ぎよつとして振り返つて見ると！

チヨビ安です。何時の間にこゝへ來たのか、眞岡の浴衣の腕まくりをして、豆絞りの手拭をギユッと鷲づかみにした小さなチヨビ安が、お美夜ちやんと石金のすぐうしろの、用水桶の陰に立つて

「えエイ畜生、泣かしやアがる」

その豆絞りで、グイと鼻の先をこすりながら、チヨビ安、二人の前へ現れて來た。

「かう、石金の爺つあん、まあ、聞いて哭んねえ。お前も知つての通り、あの作爺さんが柳生對馬の家老に連れられて行つてから、お美夜ちやんはお前、食も咽喉へ通らねえ始末で、夜も晝も、かうして泣いてばかりゐるんだよ。それを見ると、おいらも――おいらも泣けて來らあ」

「ア、安さん、お前さん其處にゐたの？いま石金の小父さんに聞いたんだけど、日光といふのは、あの、ホラ、向うの伊勢屋の質屋の藏の上に、火の見櫓が見えるだらう？あの櫓の右のはうに、お魚の形をした小さな雲が流れてゐるわね。あの下が日光なんださうサ。お爺ちやんは、あそこにゐるんだれエ。あたい、あの雲になりたい」

「アレだ」

とチヨビ安は、ホト〃〃弱つたといふ顔で、石金を振り返り、

「おウ爺つあん、子供に詰まられえことを言はれえで貰ひてえ。おいらが何とかして、忘れさせようとしてゐるのに、爺つあんがそんな餘計なことを言つちやア、お美夜ちやんはます〃〃センチになるばかりぢやアねえか」

きめつけられた石金は

「まあサ、お前が來たから、おいらも安心したよ。一つ水入らずでとつくりと納得させるがいゝワサ」

言ひ捨てゝ、家へ這入る石金へ

「何いつてやんでエ」

と舌を出したチヨビ安

「サ、お美夜ちやん、こんなところに立つてると、蚊に食はれるよ。そんなに泣いてばかりゐた日にやア、黒眼が流れてしまふぜ。ホラ、おいらを見ねえ……東西東西！物眞似名人、トンガリ長屋のチヨビ安大夫、ハッ！これは、横丁の黒猫が、魚屋の盤臺を狙つて抜き足差し足、忍び寄るところさ御座アい！」

ピヨンと一つ蜻蛉返りを打つたチヨビ安、大道に四つん這ひになつて、泥棒猫の恰好よろしく、おかしな様子でしきりにお美夜ちやんの足許を這ひまはる。

お美夜ちやんの悲しみを慰めようとの一心。

何とかしてニッコリ笑はせようと、チヨビ安一生懸命だ。

「サテ、お次ぎは――と白痴が刺子を逆まに着て、火事へ駈け出すところ！」

自分で口上を言ひながらの一人芝居だから、イヤその忙しいことゝ言つたら。

浴衣の裾をスッポリ頭から被つて、狼狽てふためいた仕草でお美夜ちやんのまはりを走り廻つたが

「オヤ！これでもまだ笑はれえナ。宜し、それでは……と、アさうだ、今度は、按摩が犬に吠えられて立ち往生の光景！ハッ！」

ポンと手を叩いたチヨビ安、案山子のやうな形にお美夜ちやんの前に突つ立ちながら、そつとうす眼を開けて覗ふと、お美夜ちやんはそれを見もせずに、涙に濡れた眼を依然として、北の空へ上げてゐる。

「こんなに骨を折つても、何うしても笑はれえのかなア……あゝ草臥ちやつた」

チヨビ安はべそをかゝんばかり ベチヤンと往來に坐つてしまつた。

"七寶の柱"配役當籤者の賞品

一等には訪問着、帶、長襦袢 等外はサイン入りプロ

「七寶の柱」の新興映畫に伴ふ三女優の配役懸賞募集の結果は二十日本紙夕刊演藝欄に發表したが一萬八千七百十六名中から選ばれた幸運なる當籤者一等一名、二等二名、三等三名、等外三十名の諸氏に對しては豫告の如く左の如く一等百圓相當品、二等五十圓相當品三等二十圓相當品の賞品を贈ることに決定した

一等 双美織袋帶一筋、渚縮緬模様訪問着一枚、清美織友禪長襦袢一枚の外出着三點一揃

二等 渚縮緬模様訪問着一枚、清美織友禪長襦袢一枚の二點又は双美織袋帶一筋

三等 山繭入高波紋縮緬着尺一反又は黒絽五紋付男單羽織地一反

以上の賞品については孰も當籤者本人に對して希望の模様柄を照會中であるから希望に應じて即刻各地支社支局を通じて贈呈することゝなつてゐる、なほ等外三十名の諸氏に對しては「七寶の柱」に主演する配役當籤の三女優のサイン入りブロマイド三枚一組を夫々送附する

日活の引拔に 松竹新興憤慨

日活が自由映畫設立から映畫界未曾有の引拔きを行ふと豪語した爲め、銀幕界は時ならぬ旋風に襲はれ、一流監督俳優の脱退等々の噂を生んでゐるが、松竹、新興兩社首腦部は十六日に至り、巷間に亂れ飛ぶデマ默視し難しとあつて自社の俳優及び監督陣になんらの動搖なき旨を聲明し「日活の態度は不正に營業妨害である」と憤慨、なんらかの手段によつて嚴重な抗議を發する模様である、なほ松竹京都林長二郎は自分の叔父で日活系京都土地興行の重役長谷川氏から日活入りを勸誘されたが、これを斷り松竹を退社せぬ旨を聲明した

私語線

日活がユナイテッド・アーチスト社の極彩色漫畫トーキーを上映し始めてから中央映畫館が又今週からコロンビア社の漫畫トーキーを上映し始めた、中央映畫館も今後毎週續ける方針だがこの大連代表對立二館の漫畫上映は一つの傾向として見られる▲常盤座の小泉寛氏がソヴィエート映畫の配給を始めたが今日愈々二葉町七八に三和映畫社を設立配給を始めた

メトロ奉天支店設置

メトロ大阪支店長ロハンソン氏は二十一日入港の扶桑丸にて來連したが氏の來滿に依つて奉天にメトロの支店が設けられ、なほ大連の寫眞配給をメトロ直營とすることゝなつてゐる、大連のメトロ寫眞配給權は本年一月以來中央映畫館主南氏が持つてゐたが七月解約となつて以來網島商店が代理店の如き形で現在配給してゐる

ゴルドシュタイン氏大演奏會

日時 八月二十三日午後八時

會場 滿鐵協和會館

世界的ヴァイオリン巨匠 ゴルドシュタイン氏大演奏會 ピアノ大家ヂロン夫人共演

會費 一般二圓 倶樂部員 滿日讀者 一圓五十錢

會券發賣 當日午前八時より社員倶樂部にて

主催 滿鐵音樂會 滿鐵社員倶樂部

後援 滿洲日報社

ゴルドシュタイン氏大演奏會 讀者優待券(一人一枚) 此券持參者に限り會費一圓五十錢 後援 滿洲日報社

ゴルドシュタイン氏大演奏會 讀者優待券(一人一枚) 此券持參者に限り會費一圓五十錢 後援 滿洲日報社

滿支國境貨物通關に具體的協定締結

滿洲國側準備に着手

【新京電話】支那側ではさきに滿支國境長城線五箇所に天津海關の分關を新設し内古北口分關は二十一日より一般徴税事務を開始し引續いてその他の四分關でも通關事務を取扱ふこと、なつたので滿洲國財政部においても右支那側の分關設置に對應して滿支兩國の國境通過貨物の通關の圓滑をはかるべく諸種の準備を進めつゝあり、取敢ず滿支兩國の間に國境通關上の具體的協定を締結すべく調査準備に着手した、右協定は支那側としても既にその國内的必要から分關を設置したことによつても明らかなる如く支那側自身もまた希望するところであり、滿洲國の獨立を承認したる形を避けるの範圍内において結局成立をみるにいたるべく、滿洲國としては國境長城線通過貨物に對する滿支稅關の共同檢査を行ふべく協議せんことを希望してをり、これが協定成立せば茲に通關事務の圓滑を圖る上にも一般の利便の上にも多大の好影響が期待されてゐる

支那向け滿洲土貨 當然無税にて通關

財政部當局の觀測

【新京二十日發國通】今回支那政府が長城線設關に當つての各口分關において適用すべき征税辦法の公布は各方面より多大の注目が拂はれ殊に同辦法第三項

長城各口輸入の土貨は東三省產品現行稅法により徴税

の一項は滿洲國生產品の支那輸出を阻害するものとして一般に異常なる衝動を與へて居るが右につき滿洲國財政部當局では左の如き見解を有して居る

所謂「東三省產品現行稅法」なるものは大同元年九月滿洲國海關稅關設置直後同月二十五日附を以て支那秦皇島海關が制定した「移地征税辦法」を意味するものと認められ右稅法に從へば滿洲土貨の支那移入に對し轉口稅並に附加稅(從價百分の七・五、鐵路輸送貨物にも適用)を課すること、なつて居るがその後滿支間の北支問題並に設關、[illegible]滿洲國財政部當局では今回制定したる征税辦法が滿洲土貨の支那輸出を阻害するが如きことはあり得ぬものとしてゐる

征税辦法内容

【新京二十日發國通】長城各口分關設置に伴ひ實施されるものと觀られる「移地征税辦法」=一九三二年九月二十五日秦皇島稅關制定(鐵路輸送貨物にも適用)=によれば滿洲土貨の支那移入に對しては轉口稅並に附加稅(從價百分の七、五)を課稅し尚は滿洲土貨として左の如き品目を指定してゐる、即ち

ハルビン、營口、安東、龍井より直接到着したる貨物にして左に揭ぐるものは暫行的に土貨と見做す

蘇子、西瓜種子、棉實、大麻種子、大小麥、燕麥、ラノー麥、粟、高粱、米及粉其他穀物、小麥粉、麩、秣、油糟、馬皮、馬毛、羊毛、駱駝毛、獸骨、骨粉、石炭

ソウエート銑鐵 對日進出實現す

日本鈑と契約成立

【東京特電二十日發】我銑鐵界に一大センセーションを捲き起し、銑鐵共販關係各社の拒絶するところとなり、一時沙汰止みの態であつたソウエート銑鐵の對日輸出については其後駐日ソ聯通商部と共販外アウトサイダーの日本鈑株式會社と交渉中のところ愈々商談成立し、會社側では先づ見本的に二千噸を輸入することになり、九月中旬南露オデッサ港出荷、十月末橫濱着の豫定である、成約條件左の如し

一、數量 二千噸
一、品位 一號品
一、價格 橫濱噸當り四十圓五十錢(稅噸六圓、買主負擔)
一、支拂條件 信用狀但し二千噸の八割は橫濱着と同時に支拂、殘二割は計量後支拂
一、使銑途 自家、製造用
一、受渡期 十月末

尚ほ今、ソ聯邦に於ける昨年の銑鐵生產能力は六百二十萬噸といはれてゐるが、本年六月の日產三萬二千噸あつた對外輸出は昨年初めて開始されたのでその數量は未だ極めて微々たるもので同國外國貿易人民委員部發表の統計によれば左の如し(單位噸及び留)

一九三二年	八七	三六,〇〇〇
一九三三年	五	四〇〇
一九三四年一月—五月	三,三九九	四二,〇〇〇

右契約につき駐日ソ聯通商部では一切の言明をさけてゐるが、これは銑鐵共販との對立から其の取引が極めて微妙な關係にあることを考慮せるあらはれと見られてゐる

右ロシア銑鐵の成約につき銑鐵共販では左の通り觀測してゐる

日本における銑鐵の需要は約百二十萬噸で自給自足計畫で進んでゐるが、まだ二十萬噸は輸入してゐる、專ら日本の投資關係にある印度から供給されてゐるロシア銑鐵は當方では必要なしとして拒絶したのだが、金瓦會社の輸入程度では大した影響はあるまい

滿洲石油理事 兩少將來連

滿洲石油會社理事豫備海軍少將本田敬太郎氏、同豫備陸軍少將内田三郎の兩氏は二十一日大連において行はれる同社株主總會列席のため二十一日入港扶桑丸で來連したが船中つとめて質問をさけ次の如く語る

會社の方で用事が出來たから來いといふのでやつて來た、ほんの四、五日滯在して歸るつもりだ、北滿石油の輸送問題?まだ話しする時期ではない(寫眞向つて右本田少將、左内田少將)

關稅調査委員會 近く初會議

九月初旬開かれん

【東京二十一日發國通】通商擁護法を基礎とする關稅調査委員會は委員の任命が終つたので大藏省では九月初旬右初會議を行ひ當面の問題を自由に討議する豫定であるが日蘭會商その他各方面に亘り意見の交換が行はれる模樣である

滿洲苹果の禁輸に 果然内面暴露

滿洲側當業者憤慨

苹果禁輸令撤回運動のため上京中の田邊、鈴木、野田、千葉の各代表は連日各關係要路を歴訪、目的貫徹に邁進、一方急遽上京した田中關東廳農林課長は滯京中の水谷文書課長と共に側面より各省を歴訪その撤回につき奔走中であるが二十日夜全滿果樹栽培業者臨時聯合會への上京委員の

情報 によれば農林當局では當初の姫心喰蟲の禁止理由が絶對的なるものでなく、その眞の目的は當初當地當業者の豫想したるが如く滿洲苹果の脅威に對し内地の生產商の利益擁護に出づることが暴露し苹果禁輸問題は從來より一段と解決難を思はせるものあり當業者は今更の如く農林當局の矛盾せる態度に憤激、事務的解決困難ならば政治問題として解決せんと

一段 と結束を鞏固にし目的貫徹を期することとなつた、二十日夜入電した上京委員の報告左の通り

今日(二十日)岡田拓相に會見陳情したるところ「次官及び秘書官より委細聞取りの上よく取りはからふ」旨明答せられたり總理大臣と會見前秘書官には精しく説明盡力方依賴したるに秘書官は非常によく諒解し時期を見て大臣に充分説明し置くことを約されたり(中略)今朝田中農林課長、水谷文書課長兩人にて農林當局と會見したるが農林省は青森、長野方面の農村窮迫事情を述べこれが保護の爲にも外地苹果の侵入を防止する必要ありと洩らされたる由にて禁止的態度は依然強硬なり

國際錫委員會で 生產一割減を決定

相場の急落による自然現象

本月十三日ロンドンに開催した國際錫委員會は來る十月一日より十二月末迄三ケ月間の錫生產割當額を現行率より一割減額する事に決定した、現行率は標準生產高の五割となつてゐるもので、これを四割に減らさうといふのである、錫の生產割當協定が最初に出來たのは一九三一年三月、この協定が昨年末の國際委員會で改訂せられその時には新協定の存續期間を一九三四年一月一日より向ふ三ケ年間とする事、割當は三ケ月毎に更改する事等が定められ、且つ所謂標準生產高を左の通り定めたのである(單位噸)

マレイ	七一、九四〇
ニゼリア	一〇、八九〇
ボリヴィア	四六、四九〇
蘭領東インド	三六、三三〇
△小計	一六五、六五〇
シヤム	九、八〇〇
△合計	一七五、四五〇

而して本年一月から三月迄の各生產國の生產割當額はそれ〲の國の前記標準生產高の四割とし、ただシヤムに限り、その標準生產高の全額を生產し得ることに定められた、また標準生產高の四分見當な生產し得ることに定め、合計四割四分の生產が許可せられたのである、然るに五月に至つて第二期及び第三期の生產割當を定めるに當り割當額を標準生產高の五割に增加し今日に至つた、從つて今回減額決定を見たのは協定更改後最初のことである。

◇

然しこの減額は最近當業者間において當然來るべきものと豫想せられてゐた、それはアメリカ及び中部ヨーロッパ諸國の錫買入れが減退の兆を示し、ために錫相場も急落してゐたからである、例へばロンドンにおける標準錫の相場を見るに本年四月には一噸に付き二四三磅八分七と一九二八年二月以來の高値に達したものが、その後漸落、八月に入つてからは二三〇磅臺をすら割つてゐる。

◇

この相場低落の原因となつた引渡高(需要額)の減少を實際の數字に徴するに、ロンドンのガートセン氏の調査によれば左の如きものがある

本年一月	六、一五〇
同二月	六、一二一
同三月	八、〇八〇
同四月	八、五五六
同五月	七、五六四
同六月	七、四四四
同七月	七、〇〇五

即ち本年五月を絶頂としてその後漸次下り阪にあることが實證される、一方供給高は增加し、七月末の世界總供給高は二萬五百五十五噸と見積られ、六月末の二萬六十六噸に比し四百八十九噸の增加を示してゐるのである、斯くの如きは一九三二年七月以來の事だといふ。

◇

以上の如き錫界の近狀より國際委員會が生產割當減額を決定したのは寧ろ理の當然と言ふべく、國際錫委員會が斯くの如く統制そのよろしきを得てゐる事こそ、昨年來の各國需要の增進と相俟つて錫界の恢復を助長するに與つて力があつたとされてゐる、見方によつては今回の決定は國際錫委員會がその統制力を大いに發揮して將來の惡化を未前に防止したものとも見られ、現に錫界の前途を悲觀するのは尙早に過ぎるとの見解も行はれてゐる、而して錫界の近狀が斯くの如く生產割當減額を必要としたとしても、これを世界における消費統計に就て見るに本年五月頃迄の情勢は左の如く著るしき改善を示してゐた事も注意すべきである(單位千噸)(毎年五月を以つて終る一年間)

	一九三二年	一九三三年	一九三四年
アメリカ	四八	三八	五八
イギリス	二一	一八	二〇
ドイツ	一〇	九	一一
フランス	九	一〇	一〇
イタリー	三	四	四
ロシア	六	三	五
英領インド	三	二	二
以上小計	一〇〇	八四	一一〇
世界合計	一二一	一〇三	一三〇

銀の輸出禁止せず

孔財政部長の聲明

【上海特電二十一日發】米國の銀國有により上海からロンドンその他への現銀流出多く、八月に入り既に二千三百萬元に達したので、これが對策が問題になつてゐるが孔財政部長は銀の禁輸乃至は銀の輸出稅引上等の意圖なく他に適當の方法を講ずと聲明し金融界に非常な衝動を與へてゐる

内地現業員收容所

大連、奉天、新京に設置

滿洲土建協會に依る内地現業員收容所の計畫は着々進捗中であるがその計畫案によれば收容所は新京、奉天、大連の三ケ所に設置し大連に收容所本部を設け本部に主事及び書記各一名各收容所に書記一名をおき主事は各收容所の事務諸般を統轄することになつてをり設立經費は官公署その他起業者有志の寄附に仰ぎ經常費は收容者より使用料を徴收して之に充つることになつてゐる

同案は愈々近く委員會を開催議の上これが具體化を見ることになつた、なほ同協會への來電によれば第三回目の内地より輸入の勞務者諸職工左官十一名鐵工四名土工一名計十六名は日滿勞務協會の募集により二十三日着連直に大倉土木の奉天方面の施工現場に赴くことになつてゐると

旅順輸組理事

旅順輸入組合理事宮田仁吉氏は同地に輸入組合創立當初より理事として組合員の指導と同市商工業の發展に盡力しつゝあつたが、今回任期滿了を機に後進に道を拓くため勇退を決意し、聯合會を通じ滿鐵に承認を求めつゝあつたが、辭意固く滿鐵でも遂に後任を物色中のところ大連輸入組合首席書記澤田治三郎氏を拔擢起用することに内定、廿一日午後三時より開かれた同組合定時總會に附議した結果正式に宮田仁吉氏の辭任及澤田治三郎氏の新理事就任を可決した

澤田新理事は大連輸入組合創立當初より書記として活躍、現在同組合の首席書記として組合員間にも多大の信認を受けてゐただけに榮轉とは謂ひながら大連組合を離れることをいたく惜まれてゐる

定時總會 旅順輸入組合では二十一日午後三時より定時株主總會を開催八年度營業報告收支決算、剰餘金處分案を附議可決、任期滿了の理事宮田仁吉氏辭任の件は氏の心情を諒としてこれを可決後任として澤田治三郎氏を滿場一致可決した

滿洲の實狀調査

農林省の兩技師來滿

苹果禁輸問題に關し農林當局では在滿果樹園業者の反對陳情善後策のため尾上、上遠の兩技師を現地に派遣實情調査に決定、兩技師は二十三日入港あめりか丸にて關東廳近藤技師と共に來連する旨二十日夜果樹栽培業者臨時聯合會宛入報あり同組合では滿洲國、關東廳と連絡して種々調査上の便宜を圖ると共に兩技師を通じて至急解禁方を促し、當業者の對策を具陳する筈である

平漢鐵路修築 借款交渉進捗

【北平二十一日發國通】支那紙によれば鐵道部長顧孟餘氏の來平を機とし鐵道部では中國銀行團に對して平漢鐵路修築並に沿線開發費として三千萬元の借款を申込み銀行團代表周作民、顧孟餘兩氏との間に交渉を續けてゐたが最近右草案が出來上つたので近く顧氏これを携へて歸京する筈である

交通銀行の 業態復興策

【奉天電話】交通銀行奉天總行にては今回滿洲における業態の復興を圖るため上海總本店より新貸金百萬元の融通を受けこれを營口四平街の兩營業所に各三十萬元、開原、洮南の兩營業所に各二十萬元宛分配して營業を督勵することゝなつた

蘭印側不一致

【バタヴィヤ廿日發國通】未晒綿布問題に關し蘭商は依然として制限令を必要とするとの主張をつゞけこの點では蘭商と蘭印代表間に意見不一致がある模樣である

社線と提携

下旬輸送計畫

【新京二十日發國通】新京鐵路局では管内主要貨物たる木材は天候安定し土建工事も增大の結果荷動き進展、一方吉林以西の大豆も歐洲方面の買氣挽回、大連に於ける在庫品減少等の好材料から相場活況を呈する見込で、八月下旬の輸送計畫を左の通り樹立して社線と提携輸送の圓滑を期することとなつた(單位車)

	(上り)	(下り)
圖們、朝陽川	二六	二九
朝陽川、敦化間	一五	三八
敦化、蛟河	四一	一〇五
蛟河、吉林	一八九	一一〇
吉林、新京	二三四	二〇
奉吉線	一〇	[illegible]
朝開線	四	六四

拉濱線 滯貨一掃努力

【新京二十日發國通】拉濱線は濱江、三棵樹の接續大豆三萬噸滯貨化の爲め前線中央より列車增發輸送に努めた結果、最近の新站仕立は百二十車程度に達し下旬も持續の狀態にある

黄塵

◇…山崎農相が抱持してゐるといふ軍需工業利得稅の設定は、もし增稅するとすれば國防費の膨脹による經費は勿論國民の負擔であるが、その膨脹に伴ふ軍需工業の殷盛によつての利得者がその利得の中から幾分の納稅をすることは當然なはなしだ。

◇…大藏省は昨今この基礎調査に專念してるやうだが、軍需工業と他工業との限界制定が六ケしいこともあつて可なり綿密な調査を餘儀なくされる模樣だ、何れにしても實現を期すべきものではある。

◇…アメリカの銀國有から銀流出を極度に恐れてる支那政府が百方對策に腐心してるが、また輸出禁止は實施しない、ばかり[illegible]現銀の輸出入は國際貿易上普通なことだ、中外の投機者流に誤られぬやうせよ〃と孔財政部長が新聞に語つてる、この言明りすれば先づ當分は[illegible]の對策に止めるかも知れぬ

市況(廿一日)

特産

賣物旺盛に 大豆低落

今朝の定期は奧地筋及油坊筋の賣も効かず低落し豆粕は人氣なく閑散區々保合豆油も大豆安に軟調を辿り高低落を告げた

[The commodity and market quotation tables in the lower part of the page (定期前場, 現物前場, 豆, 銀, 株, 錢鈔, 為替相場, 奥地相場, 上海為替情報, 綿糸反撥, 市場電報, 大阪株式, 東京株式, 大阪期米, 神戸期米, 東京期米, 大阪綿糸, 大阪棉花, 橫濱生糸, 印度麻袋 etc.) are printed in very small type and are illegible at this scan resolution.]

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部賣金五錢 一ヶ月金一圓二十錢 郵税金十五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

北鐵交涉經過(外務省公表)
遂に解決の時期なし
ソ聯の理由なき遷延策

外務省は北鐵交涉經過に關し二十一日午後六時左の如く公表した

【東京二十一日發國通】客年六月二十六日帝國政府斡旋の下に開始せられたる北鐵交涉に於いて當初ソ代表は二億五千萬金留卽ちソ政府の所謂公定相場によれば**邦貨約六億二千五百萬圓に達する價額**を提議すると共に北鐵從業員に對する退職金は全部滿洲國において負擔すべき旨を主張したるに對し滿洲國代表は北鐵が滿ソ兩國の共同經營の下にあること並に滿洲國鐵道建設事業進展の現狀などに鑑み**讓渡代償額として五千萬圓を提議**せり、その後ソ聯側は五千萬金留の値下をなし來れるも會議は各種の抽象的議論に終始して進展せず更に同年十月ソ聯側は日滿兩國の北鐵奪取計畫ありと宣傳したるため交涉停頓するに至りたるも本年二月再開の運びとなりソ政府代表は廣田外相に對しソ側の北鐵賣却新値段として紙幣留二億圓を提示且つ我方の照會に對しソ聯側は從業員に對する退職金邦貨約三千萬圓並に本年一月一日現在に於ける北鐵貸借表を通報せり、依つて四月二十六日の中間會商に於いて滿洲國代表は交涉の圓滿なる解決を希望するの主旨により

一、北鐵一切の債權及びソ側提示の貸借表記載の債務を滿洲國に於いて引繼ぐべく

二、退職金は賣主の負擔すべきこと當然なるに依り從業員の退職金はソ側に於いて支拂ふべし

等の條件の下に更に提案したる代償額五千萬圓を**一億圓に引上ぐべき事を提議**したり

然るにソ側代表は漸く五月二十五日に至り一千萬圓を減額すべき旨申出で來れるのみにて交涉進展せず再び停頓の外なき狀況に陷らんとしたるを以て**廣田外相はソ大使に對し試案として北鐵値段は一億圓としソ側從業員の退職金は滿洲國が負擔する事として解決方を勸告せり**、ソ側は之に對し價額を二千萬圓減額して一億七千萬圓となす可き事を申出でたるも未だ滿ソ間價額に大なる開きあり、交涉進捗の見込みつかざりしを以て**七月二十三日廣田外相より**ソ大使に對し日滿ソ三國間國交の大局に着眼し問題の圓滿解決を期するため仲介者として公正妥當と信ずる値段を提議すべしとて**價額一億二千萬圓退職金は別に滿洲國側負擔**とするの案を提示しこと同時に、鐵道讓受に關するその他の枝葉條件に就き滿洲國側の主張を傳達したり、然るに**ソ政府は七月三十日右仲介案を拒絕し、代案として一億六千萬圓案**(退職金は滿洲國側負擔)**を提示**すると共に右價額の支拂條件中現金支拂につき所謂ゴールドクローズを設け商品に依る支拂に就き商品の價格を讓渡協定と同時に決定すべし等の新條件をも附加し來れり、玆に於いて廣田外相はソ側の愼重再考を求めたるがソ側はこれを拒絕したるに依りこの上は滿ソ直接交涉を勸告せり、

次いで大橋滿洲國代表は八月十三日ソ大使を訪問ソ側の深甚なる反省を求めこの儘にては自分の滯京も無用につき東京を引揚ぐべく尤も右は交涉を決裂せしめんとする主旨にあらざる旨を述べて引取りたる趣なり、斯くて同代表は退京したるが丁首席代表は依然東京に在り、帝國政府は調停者として常に誠意を披瀝し本交涉の成立に多大の努力を傾倒せる次第なるが、ソ政府は近來廣田外相仲介案を目して最後通牒的なりとし、又近時北鐵東部線上に頻發せる列車被害事件に伴ふ檢擧を以て何等か讓渡交涉と關係ある旨宣傳し居るところ帝國外務大臣は北鐵交涉に於ける仲介者たるに止まるを以て最後通牒案を提出するの地位にあらざる事は廣田外相よりソ大使に特に說明を加へおきたる儀にしてソ側が前記仲介案を拒絕したるに對しては廣田外相は滿ソ間直接交涉を勸告したるのみ、若しそれ列車被害事件に至りては本年二、三月以來頻發せる軍用列車顚覆の陰謀に對する司直事件にして何等本件交涉に關係無き事は極めて明白なり、尙ソ側は春にその讓歩大なりしを說述するも、ソ側當初の提案たる二億五千萬金留又は二億金留は(邦貨二億圓乃至一億六千萬圓)に對し本年二月以來ソ側の申出たる讓渡價額(邦貨二...)にしてその如何に荒唐無稽なる掛値に外ならざりしかを告白せるに過ぎず抑々ソ側の北鐵讓渡提議に對してはソ政府の眞意如何に就き若干種々の觀測行はれたり曰くソ聯邦はあらはに平和交涉を裝ふと雖反面帝國が近く國際危局に遭遇する事あるべきを想定しその際まで交涉の遷延を策せんとするものあり從つて若しソ側の眞意果して斯の如しとせば帝國政府に於て如何に斡旋に奔命するも右は畢竟徒勞に歸すべきのみならず事態は極めて重大なりと云ふべしと、然るに帝國政府は當時兩國間の意見接近を圖るに努めこの段階に到達したるにし北鐵の根本的解決を平和交涉により遂行するの意思あることを實證せり、由來北鐵交涉の根本目的は鐵道の讓渡により現場における紛議を除去し以つて日滿ソ三國關係の平和的發展を期するにありて隨時發生する現場の紛議を理由として交涉を遷延せしめんとするに於いては交涉は遂に解決の時なかるべし、若しそれソ聯政府にして眞に讓渡の意思を有し且つ成るべく速にこれを實行するの希望あるにおいては必ずやこれに對應する適當の意思表示あるべきなり

來るを待つ
わが外務省の見解

【東京二十一日發國通】外務省は北鐵交涉經過を發表し同時に日本側としていはんとする點をいひ盡したのでこの上は果してソ聯側が之に對して誠意ある應答をなすや否やを注視するのみであるとなしてゐるが外務當局としては之によつてソ聯側が日本の國際關係の進展を見極めるまで交涉を遷延せんとするものであるか無いかの肚を確めることは出來ると期待してゐる、從つてソ聯が責任を日滿に轉嫁する態度を相變らず持續するに於いては交涉は現狀のまゝ休止する一方日滿ソの關係は極度に惡化し險惡なる情勢を誘致するも已むを得ない、結局交涉が再開され北鐵讓渡が實現するのは何等かの ... [illegible]

外交部當局談

【新京電話】滿洲國政府では讓渡交涉に關して去る十九日大橋外交部次長の歸京以來東京における交涉の經過並に讓渡價格及び條件今回引揚げるに至つた事情の詳細なる報告を受けたので各首腦部では愼重なる協議を遂げつゝあるが飽まで ソ聯が不誠意なる態度に出で特に國際信義を無視せる數々の逆宣傳をなすに於いては滿洲國當局としても斷乎たる態度を以て臨む外なく今後ソ聯側が協同精神に基き協調的提案をなさざる限り ... [illegible]

北鐵へリットン調査團
ソ聯の國際聯盟加入の魂膽
英モーニングポスト紙の所論

【ロンドン二十日發國通】モーニングポスト紙は二十日の紙上で北鐵讓渡交涉と日蘇兩國關係に關し次の如く論じてゐる ... [illegible]

在滿機關改革問題(四)
外、拓務兩案の檢討
兩案の內容と相違點

[illegible]

"尙早論"は尙早
附屬地返還は準備時代のみ
滿洲國當局の見解

【新京電話】大連商工會議所及び附屬地 ... [illegible]

舊弊を打破する起居規程
張燕卿氏

[illegible]

謝禮は受けたが瀆職にはならぬ
三土氏の事件關係

[illegible]

陸軍委任經理積立金
取上げ論起る

[illegible]

自重する關東廳職員
一時盛報に緊張

[illegible]

旅順市の態度

[illegible]

大連商工會議所陳情
機構改革問題

[illegible]

奉天月曜會陳情

[illegible]

奉天聯合町內會々合
附屬地問題協議

[illegible]

アリゾナ排日
加州に波及か
檢事局の不法壓迫

[illegible]

文部辭令

[illegible]

社說

大連市民大會と使館當局談

二十日夜言論機關の主催にて大連市民大會が開かれた。宣言案、決議案議決の後、各辯士の熱辯あり、宣言、決議は各要路に電報された。要旨は在滿統治機構を外交機關により統一されるに反對し、附屬地行政權の即時滿洲國移管を不可となし、駐滿全權下の政務總長によりて行政權の整備されんことを希求するのである。各辯士の所論には、附屬地に於ける行政權を滿洲國に移讓するに反對を强調する點多く、殊に課税權移讓の反對論が强かつた。蓋し近時問題になつてゐる在滿日本機關改革問題、並びに之れに關聯する治外法權撤去、附屬地返還問題が現地の利害に聯關する所深刻なるが故に、その進展と共に此種現地の言論は益々熾烈に赴くべしと思はれる。而して此種の現地言論は、要路に問題の考察點を與へ、事の決定に資する所あるべきはいふまでもない。

◇

滿洲國の獨立を尊重し、その獨立を確立せしめねばならないのは當然だが、外務省の考へ方が、餘りに此原則に囚はれてゐるのでないかとは吾人も曾つて指摘した所であつた。吾人は此點に於いて機構改革の外務案に稍不滿を感ずるが、それも輿論の聲と省內の研究とによつて追々と是正されさうである。而して新京二十日發特電として本紙に記載された我大使館當局の談によるに、治外法權、附屬地に關する考へ方は吾人の考へ方と格別の扞格もないやうである。即ち其談によるに、治外法權に就ては、準備出來次第に之れを撤廢すべきである。今はその準備を急いでゐるといふにある。一體治外法權は支那に對してでも、相當の準備さへ出來れば撤去すべきであつて、況んや滿洲國に對しては問題ではない。只その準備如何が問題であるだけだ。市民大會でも、その準備が未だ出來てゐないことが强調された。要は準備を整へるにある。

◇

附屬地の返還に關しても、民間で時期尚早といふのは當然だと、大使館當局の談にもある。吾人は曾つて、治外法權の撤去と附屬地の廢止とは同日に論ずべきでない。附屬地返還の爲めの準備は、治外法權の爲の準備とは比較にならない程、複雜多端で、決して容易ではないと說いた。大使館でも、附屬地返還には多くの準備と研究が必要で實現に至るまでには相當の長年月を要すと見てゐると明言してゐる。

◇

尚大使館當局談中に重要な事項がある。それは、附屬地返還と云へば在住邦人の既得權益は直に消失するものと考へてゐる者が相當あるやうだが、實は行政權を返還するので、主として警察權に關する。他の諸權益は保留さるゝものであるといふのだ。此の點に關しても吾人は先日聊か論及しておいた。治外法權撤去の理論は附屬地を返還せねば一貫しない。（本來別種のものではあるが密接に關聯す）併し多年の附屬地制度によりて發生發育して來た諸種の關係の內容（課税、警察、取引、金融等）は容易に解消すべからざるものがある。是は既に既得權益となり既得權に類した權益となつてゐる。これを急に改めんとすることは、これを猥りに破壞することになり、邦人に甚だしき損失を蒙らせる。故に附屬地返附の爲めには、此等の損失を防止する準備を必要となし、防止し得べからざる部分につきては緩和か補償かの方法が講ぜられねばならぬといふのが吾人の意見である。最も重要視される課税權の如きも同樣に論ぜられる。日滿の特殊關係と獨立關係とが十分に考量されて、理論は理論として行はれねばならぬが、それと共に實際問題を閑却してはならない。大使館當局の談にも此點は認めてゐるやうだ。

◇

日を同じくして出された、市民大會の言論と大使館當局談とは、偶然にも相對應するもので恰かも大使館が市民大會に答へたかの感がある。尤も當局談は大會に比し時間的には以前であるが、市民大會に主張されてゐる內容は以前に知悉されてゐることであるから、大使館當局談は實際に於てそれに答ふるものたるに相違ない。而してその答ふる所は現地住民の利害に關する點に就ては、市民大會の要求する所と甚しき撞着はない。只在滿機構の大局論に至つては中央問題であるから大使館當局談は之れに觸れてゐない。尚當局が此問題を實際化するに際して如何なる程度に現地人現存の利益を考慮するかは、絶えず注意を要する。

"早速辦法を"と 山崎農相言明
苹果四代表の活動

【東京特電二十一日發】苹果代表四氏は二十一日午後關東廳の御厨外事課長田中農林課長（二十日上京）仙波代議士等と打揃ひ農林省當局を訪ひ先づ守屋政務次官、森參與官と會見、詳細陳情し次いで山崎農相と官邸で會見、各代表より現地の狀態を述べこの禁輸が他の輸出方面に及ぼす影響と現地の値段が既に下落してゐる事情を詳說し省令撤廢が遲れる場合は當面の應急對策が先づ講ぜられたしと要請した、これに對し農相は何分にもよく知らずに判を捺したやうに思ふが農林省は決して外地關係を無視するものでなく當業者の苦痛に對しては出來得る限り適當の方法を執りたいと述べ、早速方法を講ずべしと言明した、また守屋次官の意見では兎に角拓務省が主管省だからその方面から積極的に運動して貰ひたいといふので、二十二日には更に代表が顏を揃へて拓務省に岡田拓相、田中政務次官を訪ひ懇談する筈である、なほ農林省は二十日大連に向つた上遠農林省技師と尾上農事試驗場技師の報告をまち至急調査を進める筈

苹果解禁陳情 商議役員會決定

大連商工會議所では二十一日午後三時四十分より役員會を開催、過般開かれた民國懇談會の經過報告を聽取した後

一、關東州苹果の內地輸入禁止即時撤廢方解除要望に關する陳情

一、在滿政治機構改革問題につき大連商議の態度を協議それぞれ各關係要路に陳情書を提出することに決定した

日鮮人虐殺か
天津より警察官急行

【天津二十一日發國通】遷安縣における日鮮人六名虐殺說に對し本日當地總領事館では警部補一名巡査一名並に特務巡捕數名を現地に急行せしめた一行は灤州において現場より辛くも逃げ歸つた鮮人より事件の槪要を聽取の上現地に赴く筈である

ソ聯の滿洲領侵略
不法越境事件の續出

【新京電話】ソ聯の滿洲國領土不法侵入が頻發し滿ソ國境に一大暗影を投げて居る折柄東部國境方面に於てソ聯の惡辣なる領土侵略が暴露され由々しき大問題を惹起せんとしつゝある、發生地はポグラニチナヤから黑龍江に沿ふ烏蛇滿河の沿岸東寧を距る三四十里の地點、滿ソ國境に於いて本年四月頃同地に二十五年來居住して居る山東人農夫叙興起の住家にゲ・ペ・ウの隊員が來り此處はソ聯の領土であるから即時立退き方を嚴命したが叙は滿洲國の領土なる事を認識して居つたゝめ依然として農業を續けて居ると再びゲ・ペ・ウの下士官七、八名が來り三日以內に立退かなければソ領に引致し强制勞働に從事せしめるから覺悟せよと云つたので叙は之に驚き本年七月頃烏蛇滿部落に引揚げ前記の事情を同地の自衞團長に報告したので滿洲國官憲が現場に赴き取調べの結果叙の居住して居た地點にはコルホーズが移住して居たので早速撤退を嚴命したところコルホーズは渋々撤退した事件があり滿洲國側では極度に憤慨して居る

林陸相報告
滿ソ國境の諸事件

林陸相語る

【東京二十一日發國通】閣議散會後林陸相は左の如く語つた

今日滿蘇國境の事件を報告したのは最近餘り頻發するのでその內容を報告したものであつてこれに對して如何なる方法を執るかといふことは今日の閣議では話はなかつたけれども此の事實に對しては陸軍省として積極的にどうといふことは考へてゐないが外務省から何かすることがあるかも知れない

【東京廿一日發國通】二十一日の定例閣議は午前十時三十分より開會、林陸相は最近滿ソ國境に於いて種々の事件が頻發し憂ふべき情勢に置かれてゐるから何とか打開して行かねばならぬと考へてゐるので最近に起つた事件の內容と情況とを綜合的に報告したいと前提し、左の如く報告した

滿ソ國境に於いては最近數ケ月の間に二十四件の事件が發生した、之を地方別にして見ると東部國境で十五件、黑龍江方面五件、西部國境で四件といふ狀況である、勿論事件の內容は大して重要性を持つてゐるものではないが斯くの如く問題が頻發する事は兩國國交上に惡影響を齎す惧れが充分あるから誠に困つた事である

次いで之に關聯して大角海相より滿ソ國境に於ける事件の頻發は誠に困つた事であるがカムチヤツカ方面に於ける漁場は例年に比して極めて平穩である旨報告した

市場移轉協議
改善委員會

大連市營中央卸賣市場改善委員會は二十一日午後三時半小川市長、岡野助役、丸山產業課長、森本市場長、有馬、高橋、西田、熊谷、芦刈、許各委員出席して開會

市場移轉先は早急に決定するを要するも重大問題につき大連市の將來を考慮して愼重に位置、廣さ等を決定すべく滿鐵、民政署等に交渉することを申合せ五時過ぎ散會

技術的に見た"北鐵"の決裂
ソ聯のため利あることなし

【東京二十一日發國通】ソ聯の自發的提唱にかゝる北鐵讓渡の交渉は昨年六月二十六日東京に於ける兩國代表者間の第一回會合以來茲に一年二ケ月餘文字通り紆餘曲折の限りを盡した後去る十四日大橋次長一行の東京引揚げを以つて遂に停頓狀態を現出するに至つた、滿洲國側が多大の犧牲を忍びつゝも所謂廣田仲介最後案を受諾するに支持する以上局面の打開は一に懸つてソ聯側の愼重反省、廣田仲介最後案の再檢討そのものでありソ聯が北鐵讓渡の交渉を提唱せし當時の意氣込み即ち「極東の平和達成は北鐵の滿洲讓渡にあり」とせる程の誠意と決意とを今日尚眞實保持し居るならば難澁化せる決裂一歩前の現狀も極東の平和達成の窮極的目的のためには必ずしも悲觀すべきものとは觀念せられない

北鐵讓渡の交渉が事實上白紙狀態に歸り、其の進展の將來性について多大の疑問を孕しつゝある現在に於ても北鐵は現に運行し更に北鐵がその軌道を敷く滿洲國は新興躍進の一途を辿つてゐる、今北鐵讓渡を繞る日滿ソ三國の國際政治關係より眼を脫し北鐵を繞る技術的問題即ち滿洲國に於いて計畫され現に運行せられつゝある北鐵平行線又は橫斷線を一覽して見ることは北鐵問題の將來に於いて之に決定的要素を與へる實質的問題として極めて興味がある

一、先づ鐵路に於いて大滿洲の富源を海洋に運ぶ北鐵東部線の平行線としてウラジオストックの海港としての死命を制したのは新京、吉林、敦化、會寧、清津を結ぶ京圖線の完成であり將來は敦賀、新京を結ぶ國際幹線としてその重要性を豫約せられてゐる

一、黑龍江省の大寶庫地方、呼蘭、綏化、海倫、通北、克山、泰安鎭、チチハルの諸都市を結んで同地方生產物たる大豆、小麥、煙草、羊毛の大量貨物を一方はハルビンに輸送し一方はチチハルより更に延びて昂々溪より洮安、洮南、鄭家屯、四平街と連結して滿鐵本線に結合する北鐵橫斷線の完成は完全に北滿農產物の南方輸送に成功し北鐵貨物の大部分を奪取し盡した

一、更に近來急速に發達し來つた滿洲航空會社は北鐵に平行して齊々哈爾—滿洲里間（每週水、金二往復）哈爾濱—東寧間（每週日曜を除き一往復）新京—圖們間（每週火、木、土三往復）の三航空路を運行して旅客の運輸に努め更に北鐵を橫斷して齊々哈爾—大黑河間（每週月一往復）哈爾濱—大黑河間（每週火、木、土三往復）哈爾濱—富錦間（每週月、水二往復）の同樣三航空路を完成し事實上北鐵を包圍し盡した觀がある

單に眼界を北鐵の技術的問題に限るにせよ北鐵將來の進展に就いては樂觀より多く悲觀的材料が滿洲國側から提供されてゐる、新興の勢ひ、滿洲國が更に新線を敷設して北鐵讓渡決裂の日に備へる事は必然であり北鐵現在の窮狀に見識を有する者は等しく讓渡の時期、現在を措いて無しと信じてゐる、而してかゝる見解に立つてこそ北鐵東部線の列車妨害北鐵武力回收の逆宣傳等々のソ聯邦自身の執れる窮中の窮策から解放せられ遙かに自由なる地位に立つことが出來るのである、鐵は熱きに打つべしソ聯はこの際毅然踵をかへして考へ直すべきであらう

日英同盟復活說
蘭印紙記者のヨタ報道

【東京二十一日發國通】外國使臣や外人記者等は避暑季節にも拘らず日英經濟提携說に驚かされて東京に踏り活動中であるが新協定說は蘭領印度記者（ピアス君の流布したものでその要點は

一、中央亞細亞と東部亞細亞に於ける日英の利益を尊重し合ふ

一、英國は滿洲國を承認し北支に於ける日本の自由行動を是認し南支那では協調的態度をとる事

一、日本は英領印度や馬來半島の不侵略を確約する

一、東部亞細亞で日本が中央亞細亞で英國がソ聯と衝突の際は日英間は好意的中立を保つ事

等である右報道は信ず可き筋の聞込と稱されて居り日英同盟廢棄以來の十三年間が英國にとり不利だつた事、日本品との競爭には友好關係復歸は最良策なりと英保守黨が信じてゐる事、米國すら比律賓から手を退かんとする始末なる事等を擧げてゐるが我外務省は日英間に政治的交渉進行してゐないと打消して居り英國の經濟團體の滿洲訪問も政治的意味は無からうといつてゐる

國務院會議

【新京電話】第二十六次國務院會議に上程の議案は左の如くである

一、各省の法令及び税率統一の件

二、特任官に對する特別手當支給に關する件

三、農事試驗場增設並に既設農事試驗場の充實を計るため農事試驗場官制中改正の件

米、聯盟に傾く
國際勞働機關參加

【ワシントン二十日發國通】ル大統領は二十日國際勞働機關參加に關する國際聯盟の要請を受諾した米國政府の國際勞働機關參加決議案は去る六月十六日議會に於いて採擇されてゐるので大統領今回の受諾に依り米國政府は茲に正式に國際勞働機關に參加したわけである、右決定は國際聯盟關係の義務負擔とは直接何等關係が無いが擲手からする米國政府の聯盟加入とも見られる

墺首相伊國訪問
ムツソリーニ首相と會談

【ウイン二十日發國通】オーストリー首相シュスニッグ氏は二十日ウイン出發飛行機でフローレンスに向つた、愈々ムツソリーニ首相と會談の段取りだが、シュスニッグ首相イタリー滯在中の日程は總てフローレンス到着後決定される見込みである

護謨製品組合 商工省の認可

【東京廿一日發國通】商工省では日本護謨製品輸出組合を認可した

滿洲國と支那以外向けの護謨靴其の他各種製品の輸出統制を目的とし組合員への數量割當や最低價格決定の外市場調査や販路開拓もなす筈

首相局部長と懇談 招待午餐會

【東京二十一日發國通】岡田首相は從來行はれなかつた各省局長と總理大臣との直接接觸の機會を設け面識を深くする一方各省局長より種々抱負經綸を聽取し、一致結束國難克服に邁進すべく先づ二十二日正午外務省の桑島東亞局長を始め各局部長全部を招待し午餐を共にしながら懇談を交すが、之を手始めに二十五日內務省二十七日大藏省二十九日陸軍省の順でそれぞれ午餐會を開く豫定で他の省も引續き招待する筈である、而して岡田首相の今回の企ては從來必要を痛感しながら行はれなかつたもので新例を開いたわけである

岡田拓相招宴

【東京二十一日發國通】岡田首相は兼任拓相としての事務圓滑を圖るため二十一日午後五時三十分より首相官邸に拓務省坪上次官田中政務次官始め各局長以下三十七名を招待河田書記官長も出席晩餐を共にした後所管事務に就いて種々說明を聽取同八時散會

滿鐵ダイヤ改正案
きのふ重役會議可決

滿鐵定例重役會議は二十一日午前十時から正副總裁以下山西、竹中、河本、山崎、佐々木、宇佐美の各理事、石本總務、市川經理各部長清水鐵道部次長等參集のうへ開かれ午前は滿鐵のダイヤ改正案を可決のうへ午後二時から會議を續開社宅增築の件その他を可決して同四時三十分散會した

中間驛に七十戶
滿鐵社宅增築

在滿邦人の人口增加に伴ひ大連、新京、奉天等の主要地に住宅難を來しつゝあることの現象は從來空家が多くて持て餘してゐた中間驛附屬地にまで漸次波及し、最近では各地とも全然空家札を見ないといふ前例のない狀態となつた、この結果滿鐵も沿線社宅に窮しながらも借家を手に入れることが出來ず現在では遼陽に多少の調節家屋と稱する萬一の場合に備へる空家を有する以外に全然餘裕を失つてしまつた、これがため昭和九年度社宅計畫は二回まで更正追加したが最近超スピード列車の運轉その他の列車運轉回數增加に伴ふ機關區員および保線區員の定員增のため三度九年度新築計畫の擴張に迫られるに至つた、然るに本年度の滿鐵事業費豫算は滿鐵創業以來の巨額に達したので絶對に追加豫算を認めざる建前をとり各部に嚴達してゐる手前、ひとり社宅のみに追加豫算を認むべきや否やが問題となつたが沿線從業員の住宅がない事は殆ど絶對的であるとして廿一日午後の重役會議に於いて經費三十萬圓の豫算で獨身宿舍一棟（四十人收容）社宅七十戶を次のごとく建設することに決定した

	獨身宿舍	社宅
大石橋	—	一六
瓦房店	一	—
蘇家屯	—	二〇
雞冠山	—	一四
安東	—	二〇
計	一	七〇

なほこの追加社宅は結氷期までに完成の豫定なので二十一日重役會議後直に關係各事務所に對して建築命令を發した

藤根氏歡迎會

滿洲技術協會では來連中の藤根壽吉氏の歡迎懇談會を二十三日午後六時より催すが、出席希望者は技術協會電三五三〇番まで申込みを、會費三圓五十錢當日持參

宇佐美中將

【新京二十一日發國通】赫々たる武勳を殘し今回騎兵監に榮轉した宇佐美中將は二十一日午後四時半發列車で多數の見送裡に新京發大連經由凱旋の途についた

本日廳報を添ふ

八相 驛と電車　希望生

◇驛の改築設計はどう、場所はどこに、大大連市は滿蒙の表玄關だ、體面上今のざまでは等々、話題になつてから何年か何十年か、作りかけては捨てたりして今日に至つた。

◇理想的な驛を建てるゝ話を聞くとうれしい、うれしかつたがいつも實現しなかつた。

◇私達は理想的な立派な驛がほしいが何年待てば出來ることやらそんな嬉しがらせを待つてゐるゝやうなのんきさがなくなつた、現在今日の問題だ。

◇傷病兵の出迎へに夏家河子の海水浴にあの日本橋を渡る每に不便な驛だなあと思はぬことがない、驛にゆく人々の心の中は誰しもさう思ふことだらう。

◇靜ケ浦の海岸に電車が出來た一年のうち二、三十日しか使用し得ぬところにさへあの通り便利に出來るのに、寒い冬、暑い夏を通して旅行者の不便な繋る驛にどうして電車が通ぜぬのか不思議でならない。

◇大連驛前に電車が通ぜぬなら沙河口驛前にでも通して見たらわかる大連の大部分の人は便利な驛から昇降するとになるだらう

◇今の大連驛前に電車を通するか、又は信濃町の電車に近く驛の假プラットホームを作るか、沙河口驛に電車を通するか、何とかもつとみんなが便利になるやうに一日もはやく實行して戴きたい。

投書歡迎　五十行以內

後場市況（廿一日）

株式　諸株弱保合

內地後場諸株共ボンヤリを入れ五品新豆一、二十錢安、新東二十錢安日產三十錢安土木四十錢安に大引

◇定期（單位十錢）

銘柄		當限	先限
五品	寄	一三一九	一二三二
	中		一二三二
	引	一三一九	一二三二

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三一九	一三二〇	一三一九	—
新豆	一二三三	一二三三	一二三〇	—
錢鈔	一三〇七	一三〇七	一三〇七	—
氷新	三三六	三三六	三三六	三三六
大新	九四三	九四三	九四三	—
東新	一四八〇	一四八〇	一四七九	一四七九
鐘新	一三一〇	一三一〇	一三一〇	—
滿鐵新	—	六六四	六六四	—
滿鐵二新	一八五	一八五	一八五	—
日產	一二〇〇	一二〇〇	一二〇〇	一二〇〇
土木	三三五	三三六	三三二	三三二
電々	一七七	一七七	一七七	—
電乙	一四六	一四六	一四六	—
朝取	三六五	三六五	三六五	—

◇鞘取引

銘柄		
滿興	二七二	
撫順窯業	一四八	一五〇

鈔票保合

後場材料薄で氣乘らず閑散裡の保合であつた

◇定期（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	二六九〇	二六九五	二六九〇	二六九五

出來高 七十八萬圓

◇現物（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	二六九五	一三六四五	一二四三五
二時	二六九〇	一三六五	一二四三五

出來高（銀對金 二十三萬五千圓／銀對洋 一萬三千圓）

商品

商品後場 出來不申

奧地市況

奉天奉票對金票	三四〇〇	二一、四四
奉天國幣對金票	二一、五〇	二一、五〇
同　先限	八九、七〇	八九、七五
奉天國幣對鈔票	一〇七、一〇	一〇七、〇〇
新京國幣對金票（休み）		
哈爾濱國幣對金票	二一、六〇	二一、六〇
安東鎭平銀（當限／先限）	一、九五一	一、九五一
哈爾濱大豆（九月／十一月）	七三五	七三五
哈爾濱小麥（九月／十一月）	一、二〇〇	一、二四〇

市場電報

株式（單位十錢）

大阪（長期）

銘柄	寄値	引値	銘柄	寄値	引値
大株	一〇一〇	一〇一九	大新	九七〇	九七九
鐘紡	二三四〇	二三三五	鐘新	一四六二	一四六一
日糖	—	—	滿鐵	—	六六二
滿新	—	一八六	東新	一四九八	一四九三

大阪（短期）

銘柄	寄値	引値	高値	安値
大新	九四〇	九九九	九四三	九三七
東新	一四八二	一四七九	一四八三	一四七六
鐘紡	一三一九	一三一八	一三一〇	一三一八
日產	一三〇三	一三〇三	一三〇五	一三〇九
帝人	七七六	七七五	七七九	七七三
滿鐵	—	—	—	—

東京（長期）

銘柄	寄値	引値	銘柄	寄値	引値
東株	一三二二	一三二二	東新	一三〇〇	一四九九
新豆（當／中／先）	一三一一	—			

東京（短期）

銘柄	寄値	引値	高値	安値
東新	一四八〇	一四七九	一四八三	一四七六
鐘新	—	—	一三一〇	一三一八
日產	一三〇三	一三〇三	一三〇七	一三〇〇
滿鐵二新	—	—	六六五	六六四

期米

		當限	中限	先限
大阪	寄値	二七七五	二七七三	二七七二
	引値	二七六七	二七七〇	二七七五
神戶	寄値	二六九五	二六九三	二六九八
	引値	二六九三	二六九〇	二六九九
東京	寄値	二七一八	二七〇七	二七〇八
	引値	二七六六	二七六六	二七六五

大阪綿糸（單位十錢）

	寄値	引値		寄値	引値
八月	二三三九	二三二一	十二月	二二九二	二二八六
九月	二三三三	二三二八	一月	二二八六	二二八六
十月	二三〇一	二三〇一	二月	二二九九	二二九五
十一月	二二九五	二二八六			

橫濱生糸（單位十錢）

	一節	二節		一節	二節
八月	四四八〇	四四八〇	十二月	四四八〇	四四八〇
九月	四四八〇	四四八〇	十一月	四四八〇	四四八〇
十月	四四八〇	四四八〇	一月	四四八〇	四四八〇

神戶特產

	現物	先物
大豆	六三〇	五三〇
豆粕	一六六	一六六
滿洲小麥	六六五	六六五

修羅場に描く苦闘 殊勳の現業員ら
慘狀目擊の邦人乘客 忽ち集つた涙ぐましい義金

安東にて 今村特派員發

水害の特殊性

先づ今回の水害は非常に電光的な速かさに特徴が在る、從來も此の地方には突發的な小水害は屢々あつたと聞くが、其の大さにおいて日本人の滿洲發展史初まつて以來最初の事である、十八日午前六時頃より降り初めた雨は瀧の如き豪雨となつて十一時過ぎまで降り續いた、蛤蟆塘河の增水を見かけたのは午前九時頃からで同十一時頃は最高五米に達し漸次減水を始めたのである畑、家屋、鐵道線路等凡ゆるものを水浸しとし午後三時には路線が現れる程に減水し午後六時頃には河川の部分にのみ減水してしまつたのである、此の增水減水のテムポの速かさは古今未曾有と云つてい、位で實に一種の神秘をさへ感ずるのである、增水の最高潮に於ては並木、人畜、家屋電柱、畑作物等地上の總てのものを押し倒し押し流したものが、時間の後には嵐の後の靜けさそのまゝに濁流が悠々と河面を流れて居るのであつた、其處には押し倒された河岸の老柳樹、畑作物電柱等の殘骸が横はつて居り一方山の緑が雨後にクッキリ浮き立ち濁流は暗雲低迷する天空と奇妙な對照をなし、緑の太い一幅の畫を思はせるものがあつた

眼を蔽ふ慘狀

鐵道復舊工事その他應急修理に要する人夫は十八日中は百數十名しか得る事が出來なかつた、十九日午前一時頃に至つて漸く三百名位の補給を安東方面よりする外、本溪湖方面からも數十名の補給をなし十九日は約五百名を動員する事が出來た、この人夫補給が意外に遲れた事が延いては復舊を遲らせたと見られる原因に安東自身の水害が數へられて居る、安東自身も人夫を多數必要とした、又この復舊工事の苦心は從事員の食料缺乏といふ事に現はれた、安東からの補給充分ならず滿人農家を廻つて粗末な食糧品によつて充てねばならない狀態であり係員の努力奮闘は實に涙ぐましいものがあつた、これについて滿鐵神谷保線區長、八町安東保線助役は語るのである

第四橋梁が惡くなつた時直に救援列車を編成すればよかつたのだ、それが少し遲れたため土砂が線路を埋め急救材料補給の道が斷たれた事は今度の重大な失敗であつた、これ等はこの安東附近の事情を充分知らなかつたといふ事から來たものである、今回の天災によつて我々は敎へられるところが非常に多かつた

單にこれのみでなく十八日第五列車の立往生事件によつて知られた蛤蟆塘驛には別な濃かい挿話を生んだ、失敗と共に卽ち五列車は出來るだけ前進せしめよとの方針の下に蛤蟆塘まで來たもの、これより先の蛤蟆龍第四橋梁の傾倒によつて前進不可能となり安東へ引返さんとした時は、安東より約七キロ附近に土砂崩潰路線上に大山を築き後退不能となつたものだ、水勢は益々增し車輪を浸するに至り遂に一面濁流の海と化した、時に乘客三百餘、小出驛長以下の心勞は尋常でない、食料の給與其の他に忙殺される、一方宿舍の浸水激しく妻子の危機さへ考へらる狀勢に在つた、濁流に浮ぶ滿人家屋は無數だ、屋上には救ひを求むる滿人！之等を見た立往生車中の人は讀賣新聞主催滿鮮視察團百名を主體に讀賣中島興七、安東刀劍商高橋龍童氏を中心に救恤金が募られ、忽ちにして百八十圓、この上に東京下谷區「紫子供會」より二圓出されるなど涙ぐましい義捐が行はれた、悲慘事を目前にして日本人の美しい民族性が滿人への深い同情となつて發露したのだ、斯くて無事午前八時よりの立往生も午後十時三十分安東へ引返すことが出來たのである

殊勳の現業員

驛員は當時の模樣を述懐して語る

◇……◇……◇

附近三十戸の滿人農家はアク〳〵浮き漂れるし一方列車の立往生について責任は重い、然し只一つ三百の同胞と此の急難に共に居るといふ事は何となく強味を感じた、そして妻子の水害危機を考へなかつた事は今思へば不思議な位であるといふ、古く強く見ゆる安奉線の路床が脆くも餘りに多く崩潰して居る慘狀には意外の感に打たれたが、一に地盤が砂地である事と未曾有の洪水だつた事に由るものと考へらる、然し今回の如き大事故が一晝夜と少しを以て不完全とは云へ列車運轉を見るに至つた事は、一に安奉線の重大使命をそれを自覺せる滿鐵當局並に從事員の獻身的努力によるものである事は明かである

之を京圖線の水害事故による久しき不通に比べると、其の交通量の多少に拘らず、使命の同じき鐵路として復舊日時の遲かつた事は其の原因追求を要するものと考へられる、技術水準の低い事その他色々原因はあらうが安奉線蛤龍第四號橋梁の破損を見た時「復舊十九日午後三時の豫定」を信ずる事が出來ない程慘澹たるものであつた、それが豫定通り運轉開始の運びに至つたことは當局者の自信を再確認するに値すると考へられる

（寫眞は安東領事館における水害救濟會議）

寫眞 上 六道溝水源地の應急修理工事 下 流失した六道溝通り桃源橋

匪賊討伐に新戰法 遊擊隊の組織成る
海城縣の工作一進展

【大石橋】海城縣公署においては直面する高粱繁茂期大小匪賊橫行の季節に鑑み治安の確立民心の安撫福利增進の天業に向ひ鋭意對策を講じつゝあるが最近縣內匪賊討伐の新戰法として縣遊擊隊の組織を見縣下を縱橫に疾驅しつゝあり民心をして彈が上に平靜樂業につかしめつゝあり遊擊隊は騎馬、自動車隊、トラック隊、オートバイ隊、步隊を以つて編成され警務局藤田指導官を初めとし池島、櫪井中平各指導官各々分掌指揮に任じ大活動を開始した、之れが爲め萬一を慮つた全縣下より城內に陸續として避難しつゝありたる農民は避難を中止したるのみならず反對に陸續として歸村し安心農業期收穫戰に邁進すると云ふ好光を呈してゐる、民衆の噂を綜合すれば高粱の繁茂期に策動を開始せんと計畫したる大小匪賊共精銳にして實力ある遊擊隊の活動に恐怖し先を爭う縣外に逃走した

三勇士の記念碑
近日中に工事に着手

【四平街】昭和七年十月十七日より十九日に亘る下三臺に蟠居せし匪賊掃蕩の際壯烈なる名譽の戰死を遂げた故北原憲兵曹長、米谷步兵上等兵、溫自警團員の偉大なる功績を讃へこれを末世に傳ふべく當地時局後援會、在鄕軍人分會並に梨樹縣公署發起となり豫算一千二百圓を以て現地に記念碑建立を企て目下寄附金募集中であるが既に應募金豫定の大半に達したるを以て當地田中政吉氏請負の下に近日中に着工、十月上旬工事落成、十九日の三週忌に當り盛大なる除幕式を擧行する豫定であると

因に右記念碑建立は既に昨年一週忌の追悼會當日各關係者の諒解を得て決定せるもので之れが經費も北原曹長に對する弔慰金縣公署の二百圓と憲兵隊關係の百五十圓、合計三百五十圓は既に積立てあり後八百五十圓の內三百圓を縣公署並に滿洲街附屬地兩商務會より五百五十圓を一般市民の寄附に仰ぐものである

妓女檢黴實施
九月一日と決定 二十日協議會の結果

【奉天】亡國病と稱せられる花柳病傳染防止のため、瀋陽縣警察廳衞生科では奉天全市（附屬地を除く）に散在する滿人妓樓の妓女に對し檢黴制度を實施すべく、既報の如く市政公署はじめ關係各衙所と相謀り考究する一方、各滿人樓主代表を招き懇議の結果、何れも快諾を得たので愈々最後的具體案を練り、二十日午前九時より同廳に於て開催された定例會議にかけ協議の結果愈々來る九月一日より右制度を實施することに決定した

右は九月一日から北市場、南市場、工業區に在住する一九六三名の妓女に對し當分毎月二回左記醫院に託して施行するもので彼女達に正しき認識を與へるため、當分は嚴重なる取締りをなさず、漸次診斷の回數も增加する方針である

然して最も問題とする之に要する費用は、現在市政公署においても公費補助の準備もなく、婦人病院の設けもないので、合議の結果妓女及樓主の負擔を最少限度に切詰め樓主は一ヶ月一圓、妓女は一回の診斷費二十錢（一ヶ月當分四十錢）とすることになつた、而して診斷の結果不良なるものはその輕重により通院と入院に別け、その間は一切當該妓女の營業停止を命じ監視をする筈で入院者は業者の希望によりて定めた左記病院の何れかに夫々入院治療せしめるが、其の費用は一日一元（食費二回、治療費を含む）とし特に高價なる注射料、手術料等は一般患者に比し半額とすることになつたが治療費は樓主六分、妓女四分の割合である

右制度は奉天市と相前後して瀋陽縣下各地においても近く實施する筈であるが、何分にも何百年來の傳統を破つて初めて實施されるものだけに、妓女の中には極度にこれを嫌ひ、晝間他人の前に恥を曝す位なら廢業か、沿線各地に仕替へしたいと異議を申し立てるものも相當あり、之等は勿論自前の者のみであるが、借金を有するものは仕方がないと諦めてゐる模樣で異狀なく實施されるものとみられてる

何診斷場所並びに醫師は左の如く決定

北市場松岡醫院（松岡信七氏）
南市場秋農醫院（苗秀新氏）
工業區新生醫院（女醫侯立純氏）

可愛い誠心
銀紙運動愈々白熱化

【大石橋】我滿洲日報が全滿各地一の可憐なる少年少女達に呼び掛けて國防獻金を爲すべく毎日捨てられ行く煙草やチヨコレート類の銀紙蒐集を敢行しつゝあるが其の成績は輝かしい銀光を放つて到る所の銀紙箱に充滿しつゝあり、大石橋に於ては本社支局事務所前憲兵隊前通りに設置したが毎日可憐な少年少女、坊ちやん孃ちやん迄が毎日一度は入れれば承知出來ぬ眞劍振りを見せて居る、小學校開校と共に小學校々庭、中央通り驛前等にも設置して少年少女達の便宜を計るべく計畫してゐるが支局前の箱は今日で二はい目と云ふ素晴らしい成績である、子供への宣傳は又父兄に迄傳はり某氏の如きはわざ〳〵劇場ハネ時刻を待つて捨てられたる銀紙を集め明日の子供の行事を應援して居る事實もある（寫眞は大石橋銀紙箱）

滿鐵都市對抗野球 奉天以南豫選
二日間瓦房店で開く

【瓦房店】本社主催九月中旬大連滿俱球場において開催すべき全滿鐵都市對抗軟式野球大會に出場すべきチーム奉天以南豫選試合大會は瓦房店小學校グラウンドにおいて三日間

開催

決戰する豫定であつたが三日間開催すると各地の選手は往復日數を加へて四日間を費す事になる斯くては社業に支障を來す虞ありとて二十六七の兩日決行する事に變更した

廿六日は午前七時半小學校々庭奉安庫前に選手一同約一百名整列君が代合唱裡に國旗揭揚式を嚴肅に行い少年團の團杖を潛つて武運の長久を祈り公學校の音樂隊を先頭に隊伍を整へ威風堂々グラウンドに入場、ダイヤモンドを一周本壘前に整列、中根會長より訓詞を受け會長の始球式に始まり直ちに試合に移る豫定となつてゐる

今回の競技は全滿に興味の中心となつてゐるだけに各都市共に粒撰の精鋭を網羅した花形揃ひ晴れの檜舞臺の榮冠果して何所が獲得するか地元瓦房店各チームに於ても

必勝

を誓ひ炎天を征伏して高鳴る血潮手に汗を握りユニホーム姿勇ましく猛練習を續けているが、當日は各地の各チームの應援物凄く大激戰を演ずる模樣にて瓦房店始まつて未曾有の競技、觀衆山を築く盛會が豫想されてゐる

都市對抗野球 大石橋チーム

【大石橋】滿鐵運動部の持つスポーツ中全滿的に人氣の焦點となるものは全滿都市對抗の軟式野球試合で今や近づく檜舞臺の爭霸目差して各箇所各チーム毎に猛練習が續けられて居る、來る二十六、七兩日に亘りては南部（奉天、遼陽鞍山、大石橋、營口、瓦房店、普蘭店、大連）の選手チーム豫選戰を瓦房店に於いて開始すると云ふが大石橋の出場チーム顏觸れ左の如く本日發表された

代表伊東正、監督三田泰吉、主將五百崎敏夫、1道具政雄（機）、2鈴木日吉（消）、3若林新一、4池田嘉二（列）、5森永宗一郎、6橫關夏夫（機）、7五百崎敏夫（機）、8勝原絆夫（機）、9大迫繁雄（驛）、補缺廣兼、津田、菊田迫田、川口、原

掃匪部隊歸鐵

【鐵嶺】去る十六日縣下第八區大臺村に於いて匪賊と遭遇、激烈な戰鬪を交へてこれを擊退したる中村智全指導官以下の警察隊はその後も第八區管內各所を掃匪しつゝ十九日歸鐵したるが大臺村激戰匪賊の逃走後附近一帶搜査の結果死體八、多數の武器彈藥を發見鹵獲して來たと

誘拐男捕はる

【奉天】香川縣丸龜市生れ畑中大吉（二四）は去る五日朝鮮慶尙南道居昌郡料亭さつまや藝妓玉千代こと松田しづえ（二〇）を言葉巧に誘拐し奉天方面へ逃走したのを居昌警察からの移牒により奉天署で搜査中加茂町十六岡本清方に潜伏中を手島刑事に取押へられ身柄は二十日午後二時四十分新義州署へ押送された

又畑中に言葉巧みに連れ出され前借六百圓を踏み倒した松田しづえは京釜線龜浦向島土木請負業宮田方に居住してゐる事を自白した

壯年勝つ
營口青壯庭球

【營口】營口庭球協會の年中行事の一つである青年對壯年者の對抗試合は十九日午後一時から旭公園コートで行はれた、來る二十六日は既報の通り選手權大會を控へたる事とて當日の試合の物凄い事互に妙技を發揮して戰ひ結果第四回戰にて壯年組の勝利に歸した

第一回戰

青年		壯年
福井・磯田	4—0	杉崎・濱高家
渡邊・高木	4—3	長島・大橋
飛永・佐賀	4—1	樋口・藤崎
飯島・大竹	1—4	西方・青山
薗田・口羽	0—0	石元・海野
石森・野本	4—3	河野・片田
飯谷・曾我	0—4	計良・齋藤

第二回戰

水尾・金木	0—4	小井澤・飛永
下山・野本	2—4	村木・長倉
佐賀・坂井	0—4	藤永・松島
福井・磯田	4—0	西方・青山
渡邊・高木	4—1	石元・河野
飛永・小佐賀	棄權	計良・齋藤
石森・野本	2—4	小井澤・飛永
不戰勝		村木・長倉
		藤永・松島

第三回戰

福井・磯田	2—4	小井澤・飛永
渡邊・高木	4—0	村木・長倉
飛永・小佐賀	1—4	藤永・松島

第四回戰

渡邊・高木	2—4	小井澤・飛永
不戰勝		藤永・松島

壯年一組を殘して午後六時終了した（寫眞は選手一同）

遼陽軍優勝
州外軟式野球

【遼陽】奉天日日新聞主催の州外軟式野球大會に遼陽軍は松原、瀧正副監督、小倉、樺山正副主將引率で應援團と共に十九日朝遼陽發列車で出場したが第一回戰に全蘇家屯軍を血祭りに第二回戰は鞍山軍を破つて準優勝戰の資格を獲得撫順古城子と戰つて決勝戰となつたが對手は醫大グラウンドで優勝した全撫順軍であつたが六對四のスコアーで遼陽軍に凱歌揚り主催者より優勝旗、メダル、賞品を授與され同夜十時十二分着列車で歸遼、驛頭には多數ファンの出迎へあり、翌二十日午後六時より應援團主催で滿鐵社員倶樂部において選手の慰勞會が催された

リーグ戰順延

【營口】營口滿日支局主催の滿實滿三巴の野球リーグ戰は十九日の豪雨でグランドが水浸りこれを乾燥すべく人夫を入れて排水し手配をなして居る其の爲め二十一日の滿實試合は二十二日行ふ事になつた尙これも降雨のない限りで萬一降雨の場合に改めて試合日を決定することとなつた

使ひ込み監督

【奉天】原籍東京生れ松島町十二土木請負業開林今朝太郎方通稱康之事川合金三（四〇）は昨年の五月より開林方現場監督として働いてゐる中、いつしか柳町橘乃家抱へ醜婦マサ江に現を抜かし取引先からの集金一千四百圓を横領マサ江につぎこんでゐたが、うつり易い男心で藤浪町カフエー愛月女給スマ子事尾崎スマ子（二〇）と親くなり、政江から五十圓の金を借り今度はスマ子に入れあげてゐたのを届け出に依り搜査中、金三はスマ子をカフエーから退かせ信濃町五にて愛の巣をかまへてゐた事を探知され十九日午前十一時奉天署津田刑事に發見逮捕された餘罪を取調中である

對學生劍道戰
州內聯合を組織

【奉天】學生劍道聯盟の猛者三十名を迎へて武德會奉天支部では來る二十四日萩町滿鐵道場に於いて對抗試合を擧行するが、奉天軍は州外の雄遼陽、蘇家屯、鞍山、本溪湖、鐵嶺の各聯合軍を組織これに對する事となり、目下選手銓衡中であるが、學生聯盟に對し州外軍が何處迄喰ひ込むかゞ興味の中心とされてゐる

營口の豪雨
坪當り六斗四升

【營口】十九日は早朝から曇天定まらず焦熱を感じ殘暑の値打が十分であつた午後九時頃から沛然として降りしきり雨量三十五粍三、坪當り六斗四升の降雨で雨洩り浸水は相當あつた模樣で營口近郊の田畠は一面の水田と化し農作物に多少の損害を與へた

大石橋署定召

【大石橋】大石橋警察においては二十日午前九時より管內各派出所を網羅して本署に定期召集を催した定刻點檢操練に始まり振武館において左記警察官に對し關東廳精勤證書の授與式をなし終りて三浦署長より直面せる高粱繁茂期に對する警備警戒の細目に亘る指示があつた精勤證書を授與されたる者左の如し

巡查西澤茂富、巡查白石武夫、巡捕趙松年、巡捕于長江、巡捕朱英其、巡捕申富龍、巡捕安昌奎、巡捕鄭贊順

會と催し

◇旅順市長招待市會議員慰勞會 二十日午後七時から瓢亭で
◇公主嶺滿鐵家庭慰安映畫の夕 十八日午後七時から公會堂で
◇鐵嶺縣商務會長嚴佐臣氏母堂葬儀 二十一日北門裡の自宅で

各地人事

▲執行兼穂氏（新任鐵嶺郵便局長）二十日午後四時はさて着任
▲下山恭次郎氏（鐵嶺輪組理事）家族同伴歸省中のところ二十日歸鐵
▲大塚良治氏（鐵嶺電燈局長）北滿出張中のところ十九日歸任
▲沖彌作氏（遼陽地方事務所長）赴連中の處十九日午後歸遼
▲讀賣新聞社主催觀光團百二十名二十二日來旅
▲下關中學校生徒七十名 同上
▲門田實氏（關東廳衞生課勤務警部補）十八日警部に昇進、新京署勤務となり近く赴任の筈
▲小林慶三氏（警部補）門田氏の後任に決定
▲石井忠一氏（大石橋驛長）羽田前鐵道部長見送りのため十八日大連出張中のところ二十日歸任
▲川西重作氏（同機關區長）同上
▲林惣太郎氏（同保線區長）同上
▲愛甲直剛氏（大石橋電燈專務兼瓦房店電燈專務）社務打合せのため二十一日瓦房店へ引續き大連本社へ出張二十四日頃歸任の豫定
▲井上中佐（獨步第〇〇隊長）事務打合せのため出奉中のところ十九日大石橋歸任
▲丹波瀨基氏（步兵中佐新任旅順工大服務）二十日大石橋着二十二日はさて任地に向ふ筈
▲坂口芳之助氏（步兵少佐新任獨步〇〇隊附）同上はさて任地へ
▲鈴木謙三氏（步兵少佐、新任大連一中服務）同上はさて大石橋發任地へ
▲飯島重助氏（步兵中佐、新任南滿工專服務）同上

家庭

〃辯護士をめざす〃女性闘士〃に
健氣な抱負を聽く
わが國で最初の「女法學士」
神明高女出身の 赤羽美智子さん

日本で最初の女法學士であり現に母校東北帝大の法文學部助手として刑法の研究に專心してゐる赤羽美智子女史（二十六歳）は大連神明高女の第十回卒業生で、夏休みを利用して久方振りにその兩親や弟妹たちの住む大連へ歸省中です。一日記者は赤羽女史を攝津町大連消防本署隣のお宅に訪れました。お手製らしい木綿格子縞のワンピース姿でいとも氣輕に取次に出たふくよかな若い娘さん——その人こそ、いかめしい理智一點張りのインテリ女性を想像してゐた當の美智子女史であつたことに記者は先づ驚きとよろこばしさを感じたのです。（カットは赤羽美智子さん）

無知な同性のため
待ち遠しい 辯護士法改正

女學 校時代は別に何という目標も無かつたんです。目白の英文科へ入つて英文學を學ぶ時分から漠然と法律を一通り學び度い希望を持つやうになり卒業すると東北大學の英法科へ入りました。當時東北大學は同期の女生が七名もありましたが皆文科の方で法科は私一人。全く最初の女法科生だつたものですから先生方から唯物好きだ位に扱はれましたけれど、私が本氣で法律を勉強するのだとおわかりになつてから特別に親切に便宜を許つて頂いたりして、どうやら男の方並に卒業させて頂いたばかりでなく一昨年卒業同時に研究室に殘つて好きな研究をつゞけることの出來るのを非常に感謝してゐます。でも

専門 に法律をやるやうになつて見ますとどうしてどうしてなか／＼部門が廣くて、何も彼も深くなんてことは夢にも望めないことだつていふことがわかりました。私の希望としては將來出來るならば辯護士になつて少しでも同性の方のお力になりたいと思つてをります。しかし婦人關係の刑事問題なんていふものは純然たる刑法の分野に屬するものは極く稀で兎角民法と交錯した問題が多いのです。一般婦人方の幸福や權利等を確保するにも民法上の知識が一番緊要なやうですから研究室では刑法が專攻ですけれど

民法 の方面も出來るだけ勉強したいと思つてゐます。女の辯護士ですか？アメリカやドイツには大分多數ゐるやうですが大抵は同じ女性として同性の爲になる分よい仕事をしてゐるらしいのです。日本では未だ女の辯護士といふものは法律で許されてゐませんが昭和十一年度には辯護士法が改正されて女もいよ／＼なれさうですが十一年の實施期が來なければ辯護士試驗を受けやうにも受けられません。隨分待ち遠しいことです。現在女で法學士の稱號を持つてゐるのは二人だけですが最近明大の法科あたりにも大分女の方が入つていらつしやるさうですし、いよ／＼辯護士法でも改正される時分には相當女辯護士の

志望 者も多いことでせう。女だからつて別に男の仕事の領分に入つていけないといふことはありませんが、矢張り殺伐な沖仲仕の騷動や坑夫のストライキなどを扱ふより、同性として、殊に現在男性に比し遙かに不利な立場にある女性、又殆ど法律上の知識の無い爲にさんでもない犯罪をおかしたり、あがきのとれない不幸の淵に陷らうとする無知な女性のために、有力な女の辯護士がどん／＼出て下すつたらと願つてゐます。

ガラスびんのふた ガラスびんの堅くしつかりしてあるふたを取らうとする時には手がつるつるすべつてなかなかうまくされないものですが、紙やすり（サンド・ペーパー）でおさへて開けてご覽なさい。

三四年・秋の洋髪二種
華かな装と輕装に

◇…おなじお若い方の洋髪でも訪問着などを召す場合と、湯上り程度の輕装とではやはり幾分趣きが變つて欲しうございます。さういふ意味から三四年の初秋にふさはしい涼しげな、しかし落着きを持つた新鮮な洋髪二種を考案して見ました。一つは華やかな装ひにふさはしくウエーヴを相當派手に片耳をかくし髷は大きく上目につけてえり脚をスッキリ見せました

◇…もう一つはウエーヴもごくゆるやかに全體を頭の地に添うてチンマリと形をとり兩耳とも出してしまつた極く輕い氣分のごふだんのおぐしです。その代りに無雑作に束ねた髷をグッと下目に持つて來て落着きを見せました。髷が低いのですからお衿は多少抜き加減にゆつたりと召して頂いた方が恰好がつきます（井尻やす枝氏）

〃無〃軌〃道〃的天候
今年の雨量例年の約四倍！
〃濕度〃と人體の異變

滿洲の各地を暴れ廻つた今年の無軌道的な天候は遂に安東方面にあの慘狀を描き出したが、大連若草山觀測所の發表するところによれば、一、二、三、四、五の五ケ月間は

平年 と殆ど變りのない天候で雨量等にもさしたる特異性がなかつた、だが六月に入つてからは全く狂ひ出して平年四四・二ミリの降雨量しか見ないのに今年は一七七・八ミリといふ降り方、七月は一四五ミリ、八月は十九日までで既に九十一ミリ降つてゐる。今年は内地、滿洲ともに平年のやうな氣壓の配置にならず、内地では一足飛びに梅雨期にもかゝはらず梅雨明けのやうな配置になつてしまつたために各地で空梅雨の狀態を演出してしまつた、日本内地の梅雨に大きな影響を持つてゐる揚子江の低氣壓が殆ど發生せず、却て

黄河 の流域には六月になつてから度々低氣壓が起りそれが滿洲を襲つて、平年ならば五日位しか雨天は無いのに實に十二回にも亘つて激しい降雨があつた、これが總計においては平年の約四倍に相當して居り二十ミリ以上降つた日がその中五日もあつた、鏡ケ池に死體を流し出した日なぞは五〇・二ミリも降つて居り、これは大正五年六月五日の六十九ミリ以來の降り方で單時間に降つた點から言へばこの六月五日のレコードをも超過してゐた、大正五年六月五日の一番多く降つた時間四時間と本年六月二十七日の

最高 降雨時間四時間とを比較すれば三六・一ミリ對三七・四ミリで今年の方が一ミリ餘多かつたわけである、七月は平年より稍少かつたが八月に入つてからは月の半までの狀態では又遙かに平年を超過してゐる、ところでこんなに激しく雨の降つた年には人間の體に一つの異變を起させるが今年の雨と密接な關係で殖えた病氣にリウマチスがあるが、その數は平年の約二倍に達してゐるとは驚いた現象である、降雨が人體にまで影響する譯は大氣中の濕度が降雨によつて非常に高まるからで今年の濕度は五、六、七月とも平年の濕度よりも十パーセント以上も高くなつてゐる。

家庭顧問
家庭の平和のために 避姙の良法はありませんか？

【問】子供數名を殘して妻に先立たれ、此度後妻として迎へた女は十年ばかり前他に嫁づき不幸夫に死別した女で一度も姙娠したことがありません。私はもうこの上子供は要りませんし、妻も子供が出來て將來家庭の圓滿を缺くやうでは面白くないから子供は要らないと申します。藥品とかコンドームとかを使用せず全然姙娠を避けるよい方法はありませんでせうか（一讀者）

國法に於ても許されぬ 御再考を願ふ

【答】我國の現狀としては人口過剩なるが故に人口增加を調節せよといふ時代では決してありません。況んや病氣以外のために避姙法を行ふなどとは以ての外です。產めよ！殖えよ！全世界の表面をわが崇高なる大和民族を以て覆ひ度いものではありませんか。病者でない限り一人でも多く產んでお互の子孫の繁榮、卽ち皇國の隆昌を計つて頂き度い。國法に於ても御希望のやうな事は許されてゐませぬ。從つて私共も家庭の事情などによつて施術する事は禁じられてゐます。願はくばお子樣をもうけられてもしかも家庭圓滿の御考慮ありたいものです。自分の產んだ子は可愛くて先の子は可愛くないなどとは餘りに狹量で現代の日本にはそんな利己的な狹い考へ方は既に／＼廢りました。貰ひ子でもいゝ、一人でも多く育て、大和民族の繁榮、邦家の隆昌をこそ望んでゐるのです。御再考を願ひます（岩男其二郎）

●果物のしみ 果物やシロップのしみは直ぐなら水洗ひで取れますが古くなつたのは酒石酸茶匙一杯を熱湯一合でといてさめたらしみの部分に塗り後水洗ひする。

●ねぎのあさ ねぎを食べたあとは口が臭くて人に逢ふのに困りますが、酢につけたパセリを少し嚙んで置く。

學藝

美術時評
〃美〃術〃界の紛〃糾〃（上）
横川毅一郎

美術界では、今春以來最近まで既成美術團體の人事紛糾が、特に著しく表面化してゐる事實を見遁せない。人事の紛糾と云つても、夫々の團體の性格、環境によつて、いづれも其性質を異にしてゐるが、紛糾の根本が、公明な藝術鬪爭に出發せず、多く黨派的な私鬪から繰り出されてゐるやうである。表面に現れた事態は如何にも公明な鬪爭のやうに見えても、一皮むけば多くは私鬪である。私鬪を巧に扮飾して、公明な鬪爭のやうに見せかけてゐる。これが最近における美術團體の人事的紛糾の共通性である。

ところで、この美術團體の人事紛糾に對して、世人がかつてあつたやうな昂奮と興味とを感じなくなつた傾向がある。これらの紛糾は、當然一應はサロンのトピックにはなるに相違ない。然し、それは紅茶を飲み序の、ほんの輕い興味以上には出てゐない。眞劍な氣持で、紛糾事態の本質を探求し、分析し、批判するといふやうな積極的な心理の動きが全く見られなくなつた。美術ジャーナリズムの如きが、本來ならばジャーナリズムの最も「お好きな」題目に向つて、少しも積極的に其の食指を動かさなくなつてゐるのを見ても此の傾向の著しさは想像されよう。又批評家の大部分も、ジャーナリズムを通じて、進んで解析し批判し指導しようと云ふ積極的な熱意を失つてゐる。ジャーナリズムの表面に現れるものは、さういふ輿論の結晶ではなくて、人事の紛糾を釀し出した、當事者同志の主張や抗議が、どちらも尤もらしい理由を強調して、どちらも正義を主張し合つてゐるに過ぎない。そこには第三者の嚴正な批判といふものが決して現れてゐないのである。

この現象は一體何を語つてゐるであらうか。第一には、既に指摘したやうに、最近の人事的紛糾が社會的興味を失なつてゐる事である。それは、既成美術團體それ自體が既に社會的興味から逸脫してゐるからであつて、さういふ社會的興味の圏外にある團體の消長が社會的興味を喚起しなくなつて行く事は如何にも必然的な事柄である。第二には、多くは最近惹起する人事の紛糾は、黨派的な鬪爭かであつて「私」に出發した係爭であつて公明な藝術鬪爭でない、從つて紛糾を構成する要素が明確に表面に現はれず、紛糾の事態が極めて複雜化してゐる。隨つて第三者がうかつに此中に飛び込めない性質のものである。つまり表面化された過程を對象にしては、さうそう充分に批判し得ないのである。既に、いかなる艱難を排しても、其本質を探求し、解析し、批判しようといふ積極的意志と興味と熱とを缺いてゐるのであるから、此私鬪的な複雜な紛糾の中へ敢へて飛び込んでまでそれを批判しようといふ行動は起つて來ない。最近の美術團體の紛糾に第三者の批判が表はれないのは、かうした大理由に依るところが多い。事の紛糾が、藝術鬪爭から完全に離脫した人事の紛糾が、茶飲話の話柄にしか値しなくなるのは當然である。衰頽期の既成美術團體は、も早新しいムーヴマンの母胎たり得ない事を豫約されてゐるかに見える、かう云ふ客觀的事態の中に置かれた美術團體の、藝術鬪爭を離れたトラブルが、社會的影響力を失つてゆくのは餘りにも自然ではなからうか。

シエクスピアの豐富な暗示

シエクスピアは未だに多くの劇作家にとつてインスピレーションたることを失はない、そして最近はシエクスピアが夢想だにもしなかつた、スクーリーンの世界に豐富な暗示を與へてゐる、最近の例が聖林の劇作家コバートロード氏の「レノの陽氣な女房たち」がそれ（シエクスピアに「ウインザアの陽氣な女房たち」がある、それにレノが離婚の都である）當のロード氏はいつてゐる、「此の作は明かにシエクスピアのインスピレーションを受けたものだ、レノとウインザーと何の關係があるかつて？暗示は次から次と子を生むもので僕の作のプロットは必ずしもシエクスピアのそれと特別に似てゐるといふことはないが少くともそのテムポと雰圍氣とは似通ふものがあると信ずる、なほレノが映畫の背景に使はれたのは今度が初めてだ、シエクスピアだつて恐らく今日生きてゐたらレノを背景に必ずや素晴らしい作を物にしたに相違ない」

學藝消息

◇近江帆三氏 去る十七日着連、十九日新京に向つた

◇洋畫綜合展 本社講堂で開催中のわが社後援東都洋畫綜合展覽會は、いよいよ明廿三日まで

新刊紹介

日本文學史表覽（沼澤龍雄編）著者は第一高等學校教授の文學士、國文學專攻をもつて篤學の譽高く、既に十餘年の歳月を閲して日本文學大年表の編纂に精進してゐるが本書はその中樞をなすもの、主として上代より昭和の今日に至るまでの日本文學の重要な作品、作者を簡明に一覽し得て、しかもその各種文學の發生、隆替、變移の跡を明かならしむるやう細心の工夫を凝らしてゐる。全篇を通じて本冊と別冊とし別冊には年表、各種一覽表等を新案特許の装釘を用ひて集載し、本冊と對照閲覽するに極めて便である。本書は國文學に關心をもつ人にとつては、たゞに座右の好伴侶たるに止まらず實に唯一の指導標であろ、しかしてまた、その收錄範圍が宗教、藝術、風俗等にも及んでゐる點から宗教家、藝術家はもちろんのこと、一般に常識をひろめんとする人々にとつて無二の大智囊といふべきである、敢て江湖に推奬をおしまぬものだ（發行所東京神田區錦町一ノ一〇明治書院、價四圓五十錢）

株式投資の話（横義衛著）ジャーナリズムの通性圏内を離れ忠實に現在の株の動きを示さんと務む（發行所東京京橋區銀座西二ノ一立命館出版部、價一圓五十錢）

續モダン社交ダンス（玉置眞吉著）新しきダンスのフイギュアーを求むる人のために變型フイガ集として各種の新型紹介（發行所東京神田區神保町一四六書院、價一圓五十錢）

●神道の友（九月號）發行所東京澁谷區穩田一ノ一四四双人社、價二十錢

●旅行とサービス（八月號）發行所東京澁谷區幡ケ谷本町一ノ一四其社、價十錢

●婦選（八月號）發行所東京麹町二ノ三ノ三婦選獲得同盟、價十錢

●法律新報（八月五日號）發行所東京麹町區丸ノ内三ノ一二其社、價二十錢

●法律時報（八月一日號）發行所大連播磨町一〇五其社、價二十錢

名畫レッスン
〃防戰〃 ◇ドラクロア作（一七九八—一八六三）

◇フリーヂヤ型の帽子を冠り、左に小銃を、右に三色旗を携へた防禦戰中の女勇士は自由の女神の象徴である。死骸を越え民衆が躍進して續く。一八三〇年パリ人がチャルス十世を排斥し、其從弟オルレアン侯フイリップを王位に就かしめんとする革命市街戰を描いた別名「民衆を導く自由」として有名なこの作品は、現實の一片であり、又理想の體現そのものである。サロンに出品されるや官憲は革命を煽動し動亂をプロパガンダする繪として當惑した。然し藝術上の優秀さは否定出來ず、少なからず困却の揚句結局政府で買上げ裏返しに陳列した傑作である。シルヴエストル曰くドラクロアは彼の描いたシオの虐殺の繪にある小さな馬の樣に火と焔との呼吸をする。ロマンチックの獅子と呼ばれ新しい色彩の取扱ひは活々として輝き渡り、振ひ動いて來た。文學を好み、詩作、劇、音樂にも教養を擴げ、冷靜で明快な批評を以て聞え、かの浪漫派の大樂人ショパン、豔麗な女詩人ジョーン・サンドと共にロマンチックの確固たる氣風を築き、太陽と夢の國モロッコに遊び、東方的装飾藝術をにほはした。

◇彼の處女作ダンテとヴアジルは其の題材から十分ロマンチックで詩的な華やかな、そして威勢のいゝ想像的なものであり得可からざる面白さをあり得可く表現するといふロマンチシズムの眞髓に觸れてゐる。この繪は更にロマンチズムの新傾向を開き事件を忠實にしかし劇的に描寫しやうとしたもので、ゼリコーの筏の如き場面でなく、もつと社會性を帶びたものを描いた。これは理想主義が現實主義へ傾かんとする好例であるが浪漫派たるの所以がある。今にして彼の製作を見ると古典主義の拘束と硬澁とを脫したといへど、思想にも色調にも作爲技巧の跡多く、まだ現實の生活に迫るものではない、まして傳統的題材に興味を感じ、やゝもすればこけおどしとなるがたゞ、その積極的活躍の奔放さは鮮麗にして新味ある色調テクニックと共に現代に多大なサーヴイスをなしてゐる。（河野想）

スポーツ

上海遠征軍戰記（後報）【下】

滿鐵庭球部　太田生

八月十三日 晴　渡邊の熱四十度を上下す、本日太田對鄭の第二回戰がある、今日こそ彼の粘りを打ち碎いてやらうと意氣込んでコートに行つたが生憎の俄雨に見舞はれ左記のゲームだけにて中止となり復仇のチャンスを逸す

小寺　六―四、五―六（中止）　鄭兆佳
志賀・鵜田　六―二、一―二（中止）　陳・郭

八月十四日 晴　午前十一時より內外綿に招かれ廣大な工場の見學後同コートにてフレンドリイマッチを擧行した。これよりフレンチクラブに馳けつけ三セットづゝのダブルス・マッチを行ふ眼のまわる忙しさだ。

太田・小寺　六―二、二―六、二―六　ダッフ（カナダデ杯選手）・ベネビッチ
吉田・落合　三―六、四―六、四―六　ペリンス・クレーフ
志賀・鵜飼　六―二、六―三、六―二　ゴーメイ・ターナ
伊藤・山口　四―六、五―七、四―六　ソーセイ・ヅラーデル

此のマッチはセットの總數によつて定める筈だつたので八―四の敗戰となつた。

八月十五日 晴　最後の日だ。今日はアン・ツ・カ（砂に似た特別製の材料にて作つたフランス國專賣特許のコート）のコートだ。林寶華のホームコートのこととて彼は太田に復仇せんものと決心の色が見えた。支那の觀衆もこれを期待してスタンドを埋めた。先づ小寺對鄭兆佳は二人のテニスがよく合ふので美技續出。スタンドの拍手鳴り止ます。第一セットに小寺セットポイントを逸してより鄭の球勢定り、此の點が嶮となつて小寺は勝利から見放された。

小寺　六―八、三―六　鄭兆佳

太田對林は眞に一進一退の白熱試合で互にチャンスあり、ベースラインよりの強襲と林のネットワークに最後まで息づまる樣な攻防を續けたが夕暗の爲に一セットオールにて中止となす。

太田　八―十、八―六　林寶華

連日の試合は殆ど豫定の通りすんだ。滿鐵軍の戰跡はスコアの上から見れば決して成功とは言はれぬ然し乍ら、船の難航酷暑、始めての草のコート及び副將渡邊君の病氣等の大きなハンデキャップを負ひ更に全支のデイヴィスカッププレイヤにダフ（カナダのデ杯選手）其の他此の地の一流外人を加へた强チームを向ふにまはして戰つたのであるから、此の點から見れば相當の善戰と言ふべく、恐らく內地の大學チームをもつてしてもこれ以上の結果は確實に豫想することは出來まい。氣候の激變はプレイヤに最も大きなハンデキャップを與へ、勝敗の上に重要な役割を演ずる。此點から見て滿鐵チームは僕の豫期以上の健鬪をなした。

なほ吾々に對する支那人、西洋人の好感は實に素晴らしいもので、特に極東大會の後のこととて、觀衆の態度等も氣遣はれたが、いさゝかの遺憾の點もなく、彼等はプレイヤと共に一球一打に悲喜交々の有樣であつた。特に觀衆の中に女の多かつたのは近來の支那女性の一つの動向を物語るものである。

上海の日本人について特に羨ましく感じたのは、老年の人々も若いもの以上に戶外運動によつて生活を樂しみ、體をきたへてゐる事でこれは外人の影響もあることゝ乍ら大連には見られぬことであつた、運動とか、體の鍛練と言ふことは學生の專賣の樣に考へ學校にゐる間はやかましく外からも氣をつけてくれるが、果して學校出のものに氣をつけてくれるものがあらうか？むしろ運動する者は上からにらまれる位だ、だから日本人は學生時代は斷然體力的にも學生を壓してゐ乍ら、サラリーマンとなると急に老込んでしまふのだ。「良く働き良く遊ぶ」と言ふことは小中學生にばかり必要な文句ではない。近代の樣に仕事が體力、能力を要し、且つ能率的になり、卽座の判斷力、決斷力を必要とする時代に於ては特にスポーツによる心身の練磨が大切だ。これには若いものを考へ込ませない樣に、また自から體の爲にも上に立つ老年の人々が、恰度海外にゐる日本人の樣に進んでスポーツ場に乘りだし若いものと朗かな心持で大いに話し大いに遊んでもらひ度いものである。さうしたら吾々の最も嫌ふ陰鬱な氣分等大空に吹つとんでしまふだらう。

八月十七日 青島での試合は雨の爲中止。

八月十八日 病める渡邊君と看護の落合君を殘して大連に上陸する。

特別高段棋戰【其八】

平手　先　七段　宮松關三郎
　　　　　七段　小泉兼吉

【圖は六四歩迄の局面】

小泉氏持駒　飛角銀歩歩歩

△五三銀　▲三三玉
△四四金　▲同歩
△同銀　▲同玉
△四五香　▲三三玉
△四四金打迄

宮松氏持駒　金金金銀香歩

合計九十七手にて宮松氏の勝

土居八段總評　小泉君は序盤に於て種々策を廻して居たが宮松君が堂々と相懸り戰を用ひた爲め小泉君も勢ひ居飛車で對抗することゝなつた、中盤の形勢を窺ふに、小泉君は敵の一六歩を逆用して七筋より攻勢を執つた、その時宮松君は巧に應戰して桂を交換して攻防に努めたので、小泉君としては騎虎の勢ひで七筋より飽くまで攻擊を圖り、九四角と打つて敵陣へ迫つた、此の時宮松君は、穩かに六八桂と打つて凌いで置けば敵は多分指し切り模樣となるのを無謀なる六七金の防手を指し、敵に成角を造らるゝ結果となつて悲境に陷つた、故に小泉君は勝算歷々であつたのを逸し、必勝の局面を敗軍したのは不出來の棋戰であつた。

萩原七段解說　宮松氏の五三銀は同玉なら五二龍、四四玉、四五金、三三玉、三四金、同玉、三二龍の順で詰となる、五三銀で五二龍、三三玉、四四銀、同歩、四三金、同金、三二金、二四玉、一五金でも詰で、この順になつては手駒が多い故色々な詰の手順がある。

日本棋院　春季大手合戰譜（十二局）

先　初段　松林茂比古
　　三段　蒲原繁治

制限時間各七時間（但し一分以內は切捨）

—【5】—

●八一ちノ四
●八五にノ十（11分）
●八九かノ六（5分）
●九三ちノ八（4分）
●九七ほノ十二
○八二ちノ二
○八六はノ十一（13分）
○九〇わノ七（5分）
○九四へノ十（9分）
○九八ちノ九（10分）
●八三とノ五（6分）
●八七ほノ九（1分）
●九一ちノ七（3分）
●九五にノ十一（3分）
●九九りノ九
○八四りノ二（1分）
○八八とノ七（3分）
○九二とノ八（8分）
○九六にノ十二（1分）
○一〇〇ち十

所要時間累計（白三時三十一分　黑二時十分）

對局者の言葉　（白）八十二で（へ五）とトビ出すのは、黑（へ四）白（と四）黑八十三と離に切つて來られる事になつて（黑）然し白八十六では九十五とハネられる方がいやでした、（に九）と引けば白（ほ十二）とノビは白七十四以下の打込みも大した事はないやうに思はれますが―（白）八十六は三十に石があるのでかう引くのが形なのですて來られるし（ほ十）とノビれば白八十七と突張つて來られます、譜の八十七となつたのはうまいかと思つた（白）八十八は（へ五）のツケコシの狙ひなどの含みですが（ち六）に押へ黑（と六）白九十三とトンで行くものでしたか（黑）八十九は此處で一寸白の應手を見たのです―白若し（わ六）の押へならば九十と切つて一戰を試みる積りでした（黑）九十一で（へ七）からツケて居る氣にもなれなかつたが、此の九十一、九十三も相當危險な手のやうです、かう押しては見たものゝ白九十四と輕妙に外されて閉口しました（黑）九十七のハネは（ほ十三）の押しを含んだのですが―（白）九十八、百とハネノビる事になつては、形が整つて來たやうです

戰の跡　◇白八十四まで黑地を荒して實利を得たもの、七十、七十二のポン拔きなどのある所へ連絡したといふ點に些か不滿がある、それに黑八十五と先手を取られては白七十四以下の打込も黑に打擊を與へたとも思はれないでもない◇白八十六の引きは三十に石のある場合は形とされて居る、九十五とハネるのは筋違ひの意味がないとばの如く（ち六）から打つのが穩當ではあるが、之に對し黑から急にきびしい攻めがないとすると此の深入りを咎め立てする理由も見當らない◇白九十二は九十三にハネて惡いとは思へない、其時黑九十二の切り違へは白（ちた）とハネて行くし、黑（り七）のノビは白（と六）と突張つて行くし、黑（ち六）の引きは追打ちにくい◇黑九十五の押しは執拗過ぎる、首にトンで打つ方が面白い◇白九十八はとにかく（ほ十三）と曲つてゐたい筋、黑も一寸應手に困る辛い形だから―◇白九十八、百と黑から此處を押されるのは可なり辛い形、ハネノビられては實利に差が出來ない形になつた

ラヂオ　廿二日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・〇〇　ラヂオ體操
六・三〇　ラヂオ體操
八・〇五（東京より臨時）經濟市況
一〇・四〇（東京より臨時）經濟市況
一一・〇〇　經濟市況、公設市場値段

午後の部

〇・〇〇（東京より臨時）時報、經濟市況、ニュース、レコード
二・五〇（東京より臨時）經濟市況
三・三〇　經濟市況、ニュース
四・〇〇　野球試合實況＝中央公園內滿俱球場より中繼＝（三回戰ある場合）橫濱高商對滿俱（アナウンサー美濃谷）
六・〇〇　ニュース、職業紹介事項
六・三〇　子供の時間一、コドモノシンブン二、子供の爲の音樂（レコード）解說村岡樂童一、森の水車二、森の蛙三、時計の店四、驚かさず其の他
七・〇〇（東京より）新內「傾城三度笠」（新口村の段）鶴澤吉之助
七・二〇（東京より）浪花節週間（第三日）「稻妻お玉」木村重友
八・〇〇（東京より）青年特別講座「現下の世界事情と日本の地位」東京帝國大學教授橫田喜三郎
八・三〇（東京より）時報
八・三一　ニュース、氣象通報
八・五〇　趣味講話「趣味としての舞踊」若柳吉兵衛

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・二〇（新京より）ラヂオ體操
六・四〇（新京より）滿語講座、（滿語）
七・〇〇（新京より）日語講座、高宮篤逸
八・〇五（東京より）經濟市況、植松金枝
九・〇〇　料理獻立、福島有榮尾
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一一・四〇（東京より）ニュース
一一・五九　時報

午後の部

〇・〇五　經濟市況（日滿語）
〇・三〇　ニュース
一・〇〇（新京より）演藝（滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況（日滿語）
四・〇〇　公示事項、ニュース（日滿語）
四・五〇（新京より）ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間（滿語）「關於兒童學校生活」奉天大同學院實樂掌
五・三〇（新京より）講演（滿語）
五・五五　氣象豫報、番組豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニュース
六・三〇（東京）管絃樂一、歌劇「賣られた花嫁」序曲スメタナ作曲二、歌劇「マルーフ」舞踊音樂ラボー作曲＝新交響樂團練習所より中繼＝日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット
七・〇〇（東京より）新內「傾城三度笠」（新口村の段）鶴賀吉之助
七・二〇（東京より）浪花節週間（第三日）「稻妻お玉」木村重友
八・〇〇（東京より）青年特別講座「現下の世界事情と日本の地位」東京帝國大學教授橫田喜三郎
八・三〇（東京より）時報、全國ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇（新京より）演藝（滿語）
【新京・京城プロ未着】

スポーツ通信

普通乘用自動車の天井に櫓を設け、徐々と走りつゝある後にランニングの選手を追はしむる樣に、後から驅さして此の櫓の上に立つて居るコーチャーが、名前を指示してその驅け方の監督をする事をアメリカにおいて行つて居るが、この高さから見れば缺點がよく見えるので、コーチとしては極めて成績良好であるといふ事である。

ラヂオで小說異變

濠洲生れの英國短篇小說作家デール・コリンス氏は目下生れ故鄕の濠洲を訪問中だが氏は將來の小說の形態に關して左の如き意見を發表した「將來の文學は研究の材料として讀む人に限られるであらう、その他の所謂享樂の爲めに讀まれる種類の小說は恐らく昔の口を以てするといふ形態に復歸するであらう、唯將來のそれはラヂオを通じて行はれる點に相異點があるだけだ、此の結果下手な作家でも美聲の持主は流行し好い作家でも聲の惡いものは賣れッ子になれないといふ珍現象が出現するであらう、何しろトーキーの發明は映畫界からサイレント時代の一流スターを失墜させた、恰度それと同じやうにラヂオの發明は小說界にも異變を生ずるわけで、文明の進步も一長一短だ」

夏と鹽の不足

夏は汗と一緖に多量に鹽を體內から出してしまふので自然身體に鹽氣が足りなくなつてゐます。鹽氣が不足すると何となく衰弱し精力が減退しますから必ず相當鹽をおぎなふ必要があります。それにはむぎ湯や番茶等へ鹽で味付けをなし、これを常に飮用すると美味しくもあり鹽分もされます。

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規
一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名　大連市東公園町滿洲日報社內「ラヂオ相談係」

昭和九年八月　滿洲日報社

祝創刊第壹万號並ニ三十周年記念

10000

"海の勇者"聯合艦隊

舳艫相啣んで堂々 九月十八日來連

准士官以上八百名滿洲國視察 同國訪問編隊飛行をも決行す

日滿人の便乘見學許可

【新京電話】在滿日滿人待望の吾等が海の勇者聯合艦隊は愈々九月十七日裏長山列島を出發、滿洲國訪問の壯途につくこととなつた

右艦隊 は十八日正午頃大連に到着し十八日より二十三日まで五日間大連に碇泊、第二艦隊は二十四日、第一艦隊は二十五日何れも大連發旅順に向ひ二十六日旅順に碇泊、二十七日揃つて旅順を發航青島に向ふ豫定である、これよりさき十七日には水上飛行機約○○機は安東方面訪問飛行をなし二十日より二十四日まで艦上飛行機○○機をもつて

滿洲國 訪問飛行を行ひ大連より新京、ハルビン(吉林上空經由)を一氣に飛び、歸途ハルビンより新京に着陸、奉天に向ひ奉天に一泊の後大連に向ひ一方水上機の一部は二十一日及び二十四日大連、ハルビン間飛行を行ふ(松花江下流着水)筈である各艦隊は大連在泊中一般官民の艦隊觀覽を許可し艦隊准士官以上約八百名は上陸して滿洲國の實狀視察をなし一部は奉天撫順方面又はハルビン附近に向ふ

豫定で 艦隊の大連より旅順に回航の際には滿洲國及び關東州官民有力者、學生、各團體などの便乘を許可し、艦隊諸作業を見學せしめることゝなつてゐる、また二十五日及び二十七日金剛艦上においてアットホームを開催し滿洲國及び關東州日滿官民を招待する豫定である

なほ末次聯合艦隊司令長官の一行は十八日大連において地方官民との交驩を行ひ十九日大連神社、忠靈塔に參拜した後大連發新京に向ひ二十日滿洲國皇帝陛下に拜謁その夜は地方官民との

交驩を 行つた後二十一日新京を出發ハルビンに向ひ地方官民との交驩を行つて二十三日奉天發湯崗子に到着、二十四日同地發大連に歸還することになつてゐる、第二艦隊司令長官以下は廿三日右一行と別れ奉天より大連に直行する筈である(これらの一行は新京、奉天ではヤマトホテルに宿泊する豫定で一行約三十名)

滿洲國の實狀を 觀察せしめること

右の如く聯合艦隊の今次滿洲國訪問は艦隊准士官以上八百名をして滿洲國官民の便乘見學を許したこと、更に艦隊飛行機をもつて滿洲國内の各地訪問飛行を爲さしめることにおいて從來曾て見なかつたもので劃期的壯擧とみられてゐる

駐滿海軍部當局談

聯合艦隊の滿洲國訪問の大壯擧に關し、駐滿海軍部當局では左の如く語る

今回の如く聯合艦隊乘組員八百餘名の滿洲國訪問は最初のことである、抑も海軍は過去においては海ばかり研究してゐたため陸に對しては認識不足の點があつた、しかし今や滿洲國も堅實なる發達を遂げ益々基礎鞏固になりつゝある折柄、是非滿洲國の實狀を視察し陸に對する新知識を深めることが必要になつて來てゐる、今回の渡滿は實にこの點において有意義なものであると思ふ、滿洲國要人を始め滿洲國の各團體の參觀便乘を許すことゝなつたのも今回が初めてでこれまたあらゆる方面に有意義な結果をもたらすものと思ふ海軍としても滿洲國要人及び各團體の參觀は極力希望してゐるところである

幹部職員

聯合艦隊幹部職員名次の如し

職	階級	氏名
聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官	大將	末次信正
第二艦隊司令長官	中將	高橋三吉
第六戰隊司令官	少將	後藤章
第一戰隊司令官	同	阿武清
第二潜水戰隊司令官	同	和波豊一
第七戰隊司令官	同	濱田吉治郎
聯合艦隊參謀長兼第一艦隊參謀長	少將	豊田副武
第二艦隊參謀長	同	有地十五郎
第一航空戰隊司令官	同	和田秀穗
第一潜水戰隊司令官	同	平田昇
第一水雷戰隊司令官	大佐	町田進一郎
金剛艦長	同	三木太市
扶桑艦長	同	荒木貞亮
日向艦長	同	澤本頼雄

小野教授着任

奈良女高師教授より今般旅順工大豫科教授並びに同主事に轉任の小野新太郎氏は家族同伴、二十一日入港の扶桑丸にて來連、直に旅順に赴いた

送水開始の見込 的確に立たず

困難な水源池復舊工事

【安東電話】水源池の復舊工事は湧出する水と流れ集まる山水とで決潰口から奔流する水勢烈しく作業困難を極め送水パイプの据附を終り送水を開始し得る的確な見込はまだ立たない模様である、從つて現在の飲料水配給は送水開始の遲速は別問題として萬全を期すべく一日一千噸の飲料水配給を目標に計畫を進めて居るが滿鐵本社からのトラック十臺、奉天二、新京一、撫順一の撒水車の到着を待つて二十三日以後は一日一千噸を配給し得る見込みである

尚二十日の飲料水配給は撒水車百五十噸、井戸水四百噸計五百五十噸である

郡山理事一行 安東各方面歷訪

【新京電話】郡山滿鐵理事、多田地方課長一行は二十一日午後零時三十分着安、地方事務所において一般の水害狀況を聽取した後領事館、憲兵分隊、守備隊、警察署、商工會議所、鄉軍分會、國粹會、縣公署、新義州平北道廳、警察廳等を訪問見舞と謝辭を述べ、水源池、製紙會社等被害地を視察した奉天の關屋地方事務所長、鹽尻地方委員議長、西卷居留民會副會長等の慰問團も同車來安した

郡山理事談

【安東電話】安東に着いた郡山理事は語る

私は正副總裁の名代として安東市民にお見舞申し上げ、新義州側官民にお禮を述べるために來ました、安東市民にお贈りする十萬圓の見舞金も持參して來ました、今後どれだけの金が要るかわかりませんが應急費は惜みなく出すつもりです、復舊費は地方事務所の希望、技術者の意見を參酌して決めることになりませう

尚は同理事は二十二日新義州から旅客機で歸連する

本村本社代表 安東地方へ出張

安東地方の水害に對し本社はその慘害狀況を速報すると共に實相の調査及び對策講究中であつたが、協議の結果本社代表として本村營業局長を同地に特派し慰問旁々罹災者救濟及び復舊施設を視察せしめることゝなり、本村氏は二十一日午後九時大連發二十二日午後零時半安東に到着する豫定である

菱刈長官の見舞金一封

未曾有の水災に見舞はれた安東の罹災民に對し菱刈長官は二十一日見舞金一封を贈つたが關東廳全職員も各若干の醵金をなし近く罹災者に對して贈ることゝなつた

2A―1 滿倶再敗

對横濱高商野球戰

横濱高商對滿倶野球第二回戰は二十一日午後四時十分より滿倶球場において鈴木(球審)松木、安藤(塁審)三氏審判滿倶先攻で開始八回まで一對一の同點となり補回戰に入るかと思はれたが今井の一打に形勢逆轉二A對一で横濱高商再勝す閉戰五時五十五分

滿倶 001 000 000 ＝1
横濱 100 000 001A ＝2A

經過 ◇一回 滿倶汐崎二飛、濱崎兄四球本田中飛、杉谷右飛▲横濱牟田口四球に出で久保三前バント一塁惡投に牟田口一塁還り久保二三進、平田二飛、五十嵐三振高橋四球に續いたが山元投匍

◇二回 滿倶小池二匍、宇佐美遊匍高投に出でたが梅本の一直飛に併殺▼横濱渡邊遊匍、高志死球今井四球に出で續く牟田口の遊匍に今井二塁封殺この間高志三進久保打者の時牟田口二盗を企て捕手これを刺さんとして二塁送球この間三塁走者本塁を衝いたが遊撃手の送球に高志本塁に刺さる

◇三回 滿倶濱崎弟三前ゴロ柴原左中間單打に出で汐崎右前單打に柴原二進濱崎兄中飛後本田の左中間單打に柴原一塁還り球の本投される間に汐崎三進本田も二進したが杉谷右飛▼横濱久保四球に出で平田三振の時二盗更に三盗したが五十嵐四球に出で二盗に刺され高橋投匍

◇四回 滿倶小池三振、宇佐美一匍失に出で梅本の二匍に宇佐美二塁に封殺され野手併殺せんとして一塁に惡投し梅本二進濱崎弟四球に續いたが柴原一匍▼横濱山元三振、渡邊中飛、高志二匍

◇五回 滿倶汐崎右飛濱崎兄三振本田一匍▼横濱今井遊匍、牟田口右飛久保二匍

◇六回 滿倶杉谷投匍、小池右飛宇佐美三匍▼横濱平田三振、五十嵐遊匍、高橋三塁ベース上を抜く單打に出で山元の右前單打に二進渡邊四球に二死滿塁となつたが高志遊直飛

◇七回 滿倶梅本中前單打に出で濱崎弟の投前バントに二塁封殺柴原一邪飛、汐崎三匍▼横濱今井遊撃トンネルに出でたが牟田口の三前バントに封殺、久保中飛、平田捕邪飛

◇八回 滿倶濱崎兄右飛、本田二直飛杉谷三飛失に出でたが小池中飛▼横濱五十嵐左飛、高橋三匍、山元左飛

◇九回 滿倶宇佐美二飛、梅本三振、濱崎弟右中間單打に出でたが柴原三匍▼横濱渡邊三振、高志四球に出て今井の右中間三塁打に高志還り勝敗決す

(滿倶)	打數	得點	安打	犠打	盜塁	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8 汐崎	4	0	1	0	0	0	0	2	0	0
1 濱崎兄	3	0	0	0	0	1	1	0	2	0
6 本田	4	0	1	0	0	0	0	2	5	1
4 杉谷	4	0	0	0	0	0	0	3	2	0
3 小池	4	0	0	0	0	1	0	8	0	0
2 宇佐美	4	0	0	0	0	0	0	7	1	0
7 梅本	4	0	1	0	0	1	0	2	0	0
5 濱崎弟	3	0	1	0	0	0	1	0	2	1
9 柴原	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0
計	34	1	5	0	0	3	2	25	12	2

(横濱)	打數	得點	安打	犠打	盜塁	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6 牟田口	3	1	0	0	0	0	1	1	1	2
4 久保	2	0	0	1	2	0	1	4	1	1
2 平田	4	0	0	0	0	2	0	3	0	0
1 五十嵐	3	0	0	0	0	1	1	0	2	0
3 高橋	3	0	1	0	0	0	1	11	0	1
9 山元	4	0	1	0	0	1	0	4	0	0
7 渡邊	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0
5 高志	2	1	0	0	0	0	2	0	4	0
8 今井	3	0	1	0	0	0	1	4	0	0
計	27	2	3	1	2	5	8	27	8	4

▲三塁打—今井▲與へし死球—濱崎1(高志)▲併殺—横濱1(高橋)▲試合時間—1時間45分

"仲よくして呉れて大へん嬉しい"

尊く重い使命果して 可憐な兒童使節來連

日滿親善三重縣兒童使節として滿洲國兒童との純眞な握手を志して訪れた宇治山田市進修尋常高等小學校尋常六年多氣和夫君(十二)津市泰和尋常高等小學校尋常六年小笠原清子さん(十二)三重縣師範學校附屬小學校高等一年小倉基弘君(十四)の愛らしき三使節は既報の如く滿洲國の少年少女に

送る 手紙及「社頭の曉」と題する日本畫と四尺に六尺の滿洲國旗を土産に携へて來滿、奉天、撫順、新京各地で使命を果して二十日鄭國務總理への挨拶を濟まして二十一日午後七時半、大連の兒童代表として日本橋小學校兒童他多數の出迎へを受け來連したが車中元氣一杯で

今までの旅で一番印象に殘つたことは滿洲國の兒童達が大變仲よくして呉れたことです、僕達は言葉はよく分りませんが、先方はよく日本語を話すし、お互ひに名前を書いて渡したり、滿洲の樣子を聞いてみたりすることが出來て大變うれしく思ひました

と語り「大きくなつたら滿洲に來て働く氣持がありますか」と問へば躊躇なく「あります、きつと來ます」と

眞劍 な面持で心強い第二國民ぶりを示した、一行の引率者伊勢新聞社常務取締役三井康秀氏は語る

各地で非常な歡迎を受けて深謝して居ります、旅程が短いので子供も多少疲れ氣味、今のところ印象もまとまりかねてゐるかも知れませんが、歸國して縣二十萬の兒童に對し充分な報告をするだけの成果は擧げ得たと信じます、滿洲國兒童とも親しく膝を交へて歡談する機會を屢々持ち、子供同士の心は言葉の不通を越えてしつかり握手し合つたと信じ得たことは大きな喜びです

一行は同夜遼東ホテルで旅の疲れを休め、二十二日大連の各公學堂小學校兒童の歡迎會に

臨み 市中見學、翌日旅順見學を濟まして二十四日のあめりか丸で歸國の豫定である

—寫眞は着連した三使節(前方)と歡迎の人波—

綜合展へ 諸名士の入場

二十一日蓋明けと共に空前の盛況を呈しつゝある東都洋畫綜合展は朝來珍しくも諸名士の入場を見た、午前中は宇佐美理事を始め滿鐵の幹部どころの姿が見え、午後には枝原要港部司令官、十河前滿鐵理事、田村豆信専務、楊井正隆常務、入江滿電專務等のお歷々が參觀したが初日の觀衆八百を數へ乾燥無味の滿洲に時ならぬ美的オアシスを出現した(寫眞は會場に於ける諸名士の觀賞ぶり、右から枝原司令官、村田本社長、田村豆信専務、十河前滿鐵理事、二十三日迄本社講堂にて會費二十錢、學生五錢)

凱歌つひに全臺灣に揚る

對全大連軟式庭球戰

全臺灣鐵道軍對全大連の對抗軟式庭球戰は二十一日午後一時半より北公園滿鐵テニスコートにおいて擧行第一回戰において全鐵道軍先鋒組好調で二勝リードしたが、全大連軍徐々に挽回して全大連軍優勝四組、全臺灣軍優退三組、全大連軍優勢で優退戰に入る、然るに全臺灣軍原、張兩組敗れたが、鬪將耳井、辛組は好調子で先づ全大連軍大將組の因藤組を屠り、更に餘勢を驅つて孤軍奮戰、遂に川久保、森川兩組をも一蹴し優退一組を殘して全臺灣に凱歌揚がる、閉戰六時五分戰績左の如し

◇第一回戰（全臺灣軍 全大連軍）

○耳井、辛(4—0)兩部、岡見 兩部昨日の當り出でずアウト多く耳井の試合巧者に零敗を喫す

○原、岡(4—2)青木、野中 青木、カットサーブに一ゲームを先取し爾後好ゲームを續けたが後半原の元氣に押されて拔く能はず全大連二敗となる

西尾、宇治田(1—4)泉、因藤○ 泉は緩急兩球を交へて好打し因藤もまたよくポイントを決めて樂に勝つ

○張、杉原(4—3)元吉、吉田 元吉好調、最初より敵を壓迫しそのまゝ押し切るかと思はれたが、吉田ポイントを逸がし漸次張組に挽回されて敗退す

淺野、尼子(0—4)工藤、楠○ 工藤ロップに敵陣を攪亂すれば淺野の打球亂れてアウト多く遂にストレートで工藤組快勝す

津田、村田(1—4)森川、津島○ 森川の好打に對して津田コントロールなく簡單に大連勝つ

近藤、竹之内(0—4)川久保、内倉○ 近藤の打球荒きに反し川久保よく打つて快勝

◇優退戰

○平井、辛(4—3)泉、因藤 兩軍鬪將の鉢合せ、接戰また接戰、近來稀な白熱戰を演じ3—3のジユースとなり觀衆をして手に汗を握らせたが辛のボーレー見事に決つて泉組斃る

原、岡(2—4)工藤、楠○ 原組元氣一ぱいに戰つたが工藤の當り冴え敵の虚を衝いて辛勝す

張、杉原(3—4)森川、津島○ 森川敵のアウトライン深く衝く猛球で攻め立て敵大將張組を破る

○耳井、辛(4—2)川久保、内倉 川久保組奮戰したが耳井組の好コンビに2ゲームを得たのみ

○耳井、辛(4—1)工藤、楠 工藤、強サーブに度々得點したが辛の活躍目覺しく屢々美技を見せたるに反し楠のミス多く僅かに1ゲームを得たるのみ

○耳井、辛(4—0)森川、津島 大將組張組を殘した森川組の當りを期待されたが森川元氣なくこれに反し辛、益々好調、ストレートでこれを一蹴す

關大野球部の大連試合日程

二十一日着連した關西大學野球部の大連に於ける試合日程左の如し

二十三日四時十分對實業一回戰
二十四日四時十分對實業二回戰(決勝の場合は二十六日擧行の豫定)
二十六日四時對滿倶一回戰(實業決勝戰の場合は爾後の日程繰り下げ)
二十七日四時對滿倶二回戰(決勝の場合は二十九日四時より擧行の豫定)

尚は横濱高商野球部一行は來る二十三日出帆の扶桑丸で離連の筈

匪賊に襲はれ 邦人婦女ら五名即死

【奉天電話】二十一日午前六時山城鎭を出發した國道建設局の自動車二臺に便乘した吉川組の

邦人 四名滿人十數名は柳河に向ふ途中盤道嶺附近において匪首不明百數十名の匪團の襲撃を受け邦人女車野某外一名と滿人四名は即死し負傷者二名を出したが匪團は吉川組の現場監督外一名と滿人數名を人質として拉致、急報により山城鎭、柳河より警官隊が

討伐 に出動した、尚山城鎭滿海自動車會社では自動車を現場に派遣し死者並に負傷者の收容をなす事となつた

扶桑丸に疑似赤痢

二十一日入港扶桑丸船客中二等九號室にあつた小野禮一(二〇)は乘船中より腸カタルの傾向があつたが上陸と共に大連醫院に診察を乞うたところ同午後一時疑似赤痢と決定、水上署では通報に接し海務局眞榮平課長立會の下に同船室その他の消毒を行ふところあつた

尚小野禮一君は同船で來連した新任工大豫科主事小野新太郎氏の令息に當る

此花の泥棒捕はる

既報大山通〃此花〃佐藤才次郎方の盜難につき大連署ではさきに同店を解雇されたボーイ邵名養(二〇)の行動に不審を抱き逮捕取調べた處包み切れず自白した

邵は昭和七年〃此花〃の開店と共に住み込み實直に働いてゐたが、去る十六日朋輩と喧嘩解雇されたもので、翌十七日同店に遊びに行き、惡心を起し現金二十五圓を盜んだのを手始めに十八日には百三圓、十九日には八百六十圓、合計九百八十八圓の現金を盜み洋服、帽子を新調高飛びの準備をしてゐたことが判明した

大波多氏遺骨着連

札幌憲兵隊通譯官大波多五郎氏の遺骨は二十一日午後四時四十分着列車で實兄其一氏に護られ官民多數出迎への裡に歸連した、本葬は二十二日午後四時より西本願寺にて執行される

・・・・・オリエンタル開業 來る二十四日より開店する浪速町の喫茶食堂オリエンタルでは二十一日午後六時より知名士を招待開店披露試食會を催した

けふのメモ

・・・はるびん丸 二十一日午後二時大連港外着豫定

△東都洋畫綜合展 二十三日まで本社三階に於て
△三重縣學童使節歡迎會 午前十時半より大廣場小學校に於て
△日滿實協評議員會 午前九時より大連商工會議所に於いて開催

訂正

二十二日附夕刊二面「滿鐵改正ダイヤ決定」の記事中、大連發下り急行列車の四番目、二二、〇〇とあるのは二〇、〇〇(午後八時)の誤につき訂正

安樂椅子

終端驛につきもの、忘れ物 大連驛でも御多分に漏れず殊に夏期避暑列車の增發につれ驛の遺失物臺帳はヂヤン〳〵頁數を增し一日平均十數件から二十件の記入を見てゐる。

◇

この遺失物中約半數は濡れ物袋と風呂敷包、次が帽子にステッキ、ハンカチ等々で二三年前までは褌の忘れ物が澤山あつたが今年は殆どない。

◇

驛の助役さん達この事實を解釋して「緊褌一番といふ言葉もあり、非常時なればこそ褌を緊め忘れるものもゐないのだらう」と言つてゐるが、非常時も變なところまで徹底したものだ。

由比正雪 （7）

悟道軒圓玉 演
武田一路 畫

敵の手がかり

庄次郎に八藏は茶店を立ち去りし其の人々を見送り、

「これ〳〵親爺」

呼ばれて茶店の主人が、

「ハイ。何ぞ御用でございますか」

「今あの人々が話して居つた軍學の先生は何と申す者だな」

「高松半兵衛様と申しまして。元は江戸の方ださうですが、四年ばかり前に此の宿に來て正大寺村といふ所に住んで居りますハイ、さやうさもう年齢は五十を越えて居りますかな、養子の與四郎さんと二人暮しで志のある人に劍術や學問を教へて居ります」

庄次郎これを聞いてそれこそ尋ぬる敵菊池源右衛門かと思ひ、

「其の正大寺村と申すは茲よりの方向は」

「西の方にいらしつて北に切れると石の橋がございます、それを渡ると赤く塗つた門の寺がありますが、それは妙光寺と申して法華宗でございまして和尚が道樂坊主で駿府の女郎におツ溜つて寶物を賣り其の上御本尊の日蓮様の像を古金屋に賣つて一昨年の暮のえらい雪の降つた晩に逃げ出しました、其後此の和尚が」

「コレ待て、その和尚の事を訊くではない」

「成る程さうだ、妙光寺を抜けると田甫道へ出ますが其の向ふに森があつて此の森を抜けると高松様の御宅でございます」

「さうか、それではこれから参る事にいたす」

茶代を置いて僕の八藏を伴れて教へられた如くその道を通り、森を抜けると木槿の生垣をした一軒の藁家がある、茲であらうと近寄つて見ると古き冠木門に子昂の筆法で高松寓と記した標札が掲げてある是を入ると右の方に桔梗の井戸があつて前の垣の下に山吹が咲き亂れ八ツ下りの陽が映じて一層花が美しく見える、此時母家の後でコケッコーと鶏が時刻をつくつた。庄次郎は玄關に來て案内を乞ふとそれへ出て來たは十八九歳の色の白い上品な若者、

「何れからお越しなされました」

問はれて庄次郎は膝を屈め、

「自分事は肥後熊本の藩士にて大澤熊次郎と申す者でございますが高松先生の御高名を承りお手元にて修業仕り度此の事宜しくお傳へ下さい」

これを聞くとその若者はニヤ〳〵笑ひ、

「肥後の熊本からお出でになりましたか、高松半兵衛は私の親父でありますが、九州まで名の知れる程の人物ではないやうです、併しお尋ねになつたさあらばこれへお通り下さい、今日親父は江尻の名主の許へ論語を抱へてむづかしい講釋に行きました、イヤモウ世の中が末になりますと孔子を賣物にしたり、又兵學では孫子呉子の言つた事を賣物にいたします」

これを聞いて庄次郎の大澤熊次郎が此の人は口が惡いと思つた。

茲で二人は草鞋を脱いで奥へ通る、やがて若者は茶を侑め、

「手前は高松の伜で與四郎と申します」

と言つたが、此の與四郎が後の由比正雪、國事犯の玉子です。與四郎は庄次郎主從をジロ〳〵見て居たが、

「全く肥後の熊本の親父の名をお聞きになりましたか」

「イヤ、江戸に修業にまゐる途中由井の宿の茶店にて先生のお名前を承りました」

「さうでせう、九州まで名の轟く程の親父は人物ではないと思つて居ります、さりとて平凡の人物でもありますまい、まア何うやら武士の資格は備へて居ります、然しこんな所で兵法を學ばず共江戸にお出でになれば文武共に傑れた者が居ります」

「イヤ先生の教へを受けたく存じ推參いたしました」

「それではお會になつて、どれ程の人物か叩いて御覽なさい」

と斯んな事を言つてゐる、其所へ高松半兵衛が戻りました。

滿洲日報
八月廿一日發行
發行人 鈴木喜代治　編輯人 橋本武盛　印刷人 村本昇
大連市東公園町三十一番地　發行所 株式會社滿洲日報社

海軍令【東京二十日發國通】
淺間艦長 海軍大佐 太田泰治　補軍令部出仕 海軍省出仕
海軍砲術學校教頭 海軍大佐 大川内傳七　補淺間艦長

三土前鐵相召喚さる
大藏事件に關し けさ東京檢事局に

【東京特電二十一日發】前齋藤内閣の鐵相たりし三土忠造氏に對しては大藏省疑獄事件突發以來兎角の説が傳へられたが廿一日午前七時、湘南辻堂の別邸に避暑中の同氏に對し東京地方檢事局から召喚發せられたので氏は任意出頭の形式で卽時上京し九時過東京地方檢事局に入り主任檢事の訊問を受けたが夕刻までには歸宅を許される模樣である（寫眞は三土氏）

參考人として取調か
黑田氏と密接なる關係上

【東京特電廿一日發】三土前鐵相の身邊に關しては前議會以來臺銀の帝人株處分事件に關聯して兎角の批判が行はれ黑田前大藏次官が收容さるゝに至つて、從來の公私の關係上三土氏の喚問は不可避と見られるに至つた、ただ司法當局は政局に及ぼす影響の重大を恐れて最も愼重の態度を執りつゝ今日に至つたものであるが黑田氏に對する取調の進捗に伴ひ此に喚問の必要を生じたのであらう、事件に對する三土氏の關聯は黑田氏と密接な交渉のあつた關係上、帝人株處分の認可に際して何等か斡旋をしたものではないか、又金錢の收受がなかつたかといふ點にあるが、畢竟重要參考人の程度であると推測するものが多い

……閣と軍部間に嚴重申合せがあつたに拘らず下條賞勳局總裁は御裁可を仰ぐに先ちその内容を一部に漏洩したといふ事實がある、陸軍省は之を不當として文書を以て内閣に對し責任調査を要求して來たので横溝書記官が眞相調査中であるが下條氏の行爲は官紀紊亂と目されるので進退問題を惹起するものと見られる（寫眞は下條總裁）

我外務當局も今夕 北鐵交涉經緯發表
蘇聯側に嚴重警告

【東京二十一日發國通】北鐵交渉の經過、殊に讓渡價格及び條件等について發表せずとの公約的双方の諒解を無視して、ソ聯政府が之を發表し自國の有利なる宣傳に供するに至つたに對し我外務省はソ聯の國際信義破棄の事實を指摘し嚴重警告を發することゝなつたが他方ソ聯の一方的聲明のみ世界に流布されるにおいては日滿兩國の立場につき諒渉せぬ誤解を各方面に與へる惧れあるに鑑み、ソ聯政府に對する抗議的警告とは別に仲介者としての立場より右交渉の經緯一切を外務省聲明として二十一日夕刻中外に發表するに決定したが、外務省は右聲明において北鐵交渉今日までの經緯を具體的に詳述すると共に、ソ聯政府が虚構なる宣傳をやめ北鐵交渉を成立せしめんとする誠意を披瀝してその最後案を提示し來るならば仲介者として引續き斡旋の勞を執るに吝さかでない點にも言及しソ聯側の猛省を促す筈である

行賞漏洩問題の責任調査を要求

【東京特電二十一日發】過日行はれた上海事變の論功行賞に際し内……

日滿紹介附錄 ロンドン紙發行

【東京二十一日發國通】ロンドン來電＝廿日のデリー・テレグラフ（保守黨機關紙）は「日本と滿洲國」と題する二十頁の豐富な寫眞入り附錄を發行した、右は日本の全貌を詳細に紹介した日滿兩國權威者の所論を掲げ、特に日英兩國の協調不離を賞讃してゐる

滿鐵事業費要求額 五千五、六百萬圓見當
結局四千萬圓程度に査定か

滿鐵の昭和十年度事業費豫算は八月末日までに經理部に提出することになつて居り、目下各部の經理箇所において査定中であるが、各部とも大體完了を見たので、九年度追加豫算とかち合つてや、遲れる社宅計畫（總務部）を除いては各部とも期限通り今月末までには經理部に出揃ふ事になつた、各部の

要求總額 はその上でないと判然しないが、大體五千五、六百萬圓見當と豫想されてゐる、しかし經理部はさきに豫算作成方を通告した際、十年度事業費豫算は三千萬圓を最高額とする方針なる旨を聲明してゐたので、この殆ど倍額に達する各部豫算を如何に捌くか興味を以つて見られて居り、殊に各部とも昨今の滿鐵財政が裕で社内保留金が四千萬圓を超えてゐる事實を知つてゐるので自己の部の事業費要求貫徹について極めて强硬であり、若し經理部が三千萬圓の關門を固執すれば昨年同樣に重役會議に持出されることにならう、然る

大部分の 費目が重役會議に持出されると、經理部擔當理事は一名なるに、他の事業費箇所の擔當理事は七名あり、夫々自己の部の豫算を主張するので自然經理部の主張は通らず、昨年度のごとき七千萬圓を超える創立以來の大事業費豫算が出來上る傾きがある、從つて經理部としては出來得るかぎり經理部と各部との折衝において各部の豫算中やむを得ざるものは承認し、重役會議に持出す分を最少限度にとゞめんとするらしく、この結果は當然三千萬圓を超過し、少くとも四千萬圓見當の事業費が最後に査定される事になるものと豫想されてゐる

伯國大使に 澤田氏を起用

【東京二十一日發國通】ブラジル大使に澤田節藏氏を起用するに決しブラジル政府に對し要請中のア……

大連市政擴充 問題協議

大連市會同志俱樂部では二十三日午後一時、市役所にて「在滿政治機構改組に關聯し大連市政擴張に關する件」を協議する筈であるが恐らく緊急市會を開き市政擴張の目的を貫徹すべしとの決議をなして市長を鞭撻することを申合すべく、一方革新俱樂部においても同樣の議が行はれてゐる

秘境の滿蘇國境を往く
⑥ 南里本社特派員發

哈府を中心とする 蘇聯側の軍備擴充
壓迫に苦しむ農民

蘇 聯の極東司令官ブルッヘルはハバロフスクの中央セルウイセルスカヤの宏壯な司令部内二階の官舍にゐるが、彼が極東司令官就任後ハバロフスクのみに設備した軍備だけでも驚くべきものがある

ブラゴウエスチエンスクの第十七狙擊隊本部に對してハバロフスクには第十九狙擊隊本部を設置し、大製裝な軍需品工場、彈藥庫、工兵大隊、ラヂオ局、軍用製粉工場、發電所の新增設、黑龍江艦隊根據地の擴充、極東一の飛行場、樺太原油を材料とする製油工場、軍事專用電話局農具製造工場等々全ハ市は純然たる軍國都市と化し、更に問題の三角洲には水上飛行場及び陸上飛行場、工兵隊架橋部隊、高射砲、探照燈等の化學兵器を縱橫に設備し同飛行場には支那人六十三名が使役されてゐると

こ の大製裝な極東軍事擴充は國内第二次五ケ年計畫達成に對する農民の反感を抑へるためとか、或は國外逃亡者を未然に防ぐためとか、共產赤化宣傳の强化とかの對內策からでなく積極的對外政策から割出された既定の方針に基いたものであることは國境視察者の總てが容易に感得し得る處であらう、奇蹟的に國外逃亡を安全に成功した三家族十六名の農民の語る蘇聯國近狀は驚ろく慘憺な通り越した壓制下にあり、聽く者をして泣かせるものであるが日蘇開戰説は彼等農民間に最も信ぜられ、その開戰の日の一日も早からんことを熱望してゐるといふ

而して已むを得ず共產黨員に加入して生活の安定と生命の保障を得てゐる階級者及び農、工、職民の大部分は開戰と同時に暴動化し共產政治を顚覆せしめることは明かである、この事實を感知してゐる官憲は益々その彈壓を加へ强制的に農民の居住地を入替へ、個人的國内の移動、旅行に對する査證の檢閲を嚴重にし一方日蘇開戰の浮説、蘇聯の軍備は他國に絶對賦をさらぬ、滿洲國へ逃亡しても滿洲國は直にその逃亡者を捕へて蘇聯に引渡す、引渡された者は卽座に銃殺する等々宣傳に努めつゝあるも、一般人には滿蘇間の密貿易者により日本軍の强いこと、逃亡者が滿洲國々民から非常に優遇されること、金品食料衣類の惠與は勿論職業まで與へられてゐる等々が眞相として傳へられ官憲の宣傳は一笑に附せられてゐる

七 月二十八日午前五時半記者は無名地の江上假泊點を出帆した、天氣晴朗晩秋の候を思はせる、アルゲンスキーからウスリー鐵道ウイリナ驛には軍用電話が架設されてある、このウイリナから東方沿海州の樹海と稱せられる大森林に向け森林鐵道が昨年十二月より架設され三百露里（百邦里）を開通し寶庫開拓にその第一歩を染めた模樣である、コックレバー、スウオボーイの小部落におけるゲ・ペ・ウの監視を他所に眺めながら午前八時海靑鎭に投錨上陸した、江岸に沿うた一筋町、人口百七十名ほかに鮮人三十三名、露人五名（女のみで滿人の妻となつてゐる）鮭漁業には未だ時期は早いが對岸スウオボーイは飛べば越せさうに近い、時折のゲ・ペ・ウが江岸を走つてゐる、牛……なは彼等十六名（三夫婦、一靑年、三、四歳から七、八歳の子供九名、一婦人の如きは姙娠十ケ月である）の逃亡苦心談は血のにじむものがあり監視の眼を盗み得たこの女子供連れが九死に一命を拾つた幸運は慥かに神の加護があつたらうことを信ぜられる

……が悠々と江邊に水を呑んでゐる、素足の子供が七、八名柳の下に遊んでゐる、實に平和な點景だ、兩岸とも平野で身長を沒する草原の濕地である

ウ スリー江岸の冬はハルピン方面に比し更に寒いといふが兩岸ともその住宅は木造であり、また木造に土を塗りつぶした粗末な家で越冬されることが不思議に思はれる位だ、然し薪の燃料が豐富であるため辛うじて越冬し得ると稱してゐる、目下兩岸はその準備として薪が山のやうに積まれつゝある、午前九時五分海靑鎭出帆、監視汽艇を追ひ越しながら三十滿里の上流クウケレオ（駐屯兵三十名）アメコーフ（駐屯兵八十名）ウエニコフ（同三十名）を通過午後三時四十五分國富鎭に到着、對岸はウ・ニコフである、戶數約百四五十戶あれど不思議にも餘り人の影を見ない、蘇聯ではウスリー江の蘇聯側は滿洲國側部落に比し戶數は多くても人の住む氣配は少いやうである

この附近から上流東安鎭對岸にかけての沿海州側は……遠く及ばない大森林であり大樹海である、江岸近くの樹木は楢楓等の雜木が千古斧鉞を入れないまゝの姿を見せ、ウスリー流域隨一の風光が旅情を慰めて哭れる、本年は氣候の關係から夏がなく春と秋だ、百花は爛漫と咲き亂れ紅葉は濃綠の間に燃え大鷲、靑鷺、鴨などと想像を許さないこの大自然に抱かれ幸福そのものゝやうに思はれる（寫眞は同江）

ソ聯聯盟加入 佛政府の斡旋

【ジユネーヴ二十日國通】確聞する所によればソ聯政府は聯盟に對し「九月より聯盟に加入する用意がある」旨非公式に通告した、右通告を爲すに先だちフランス斡旋の下に聯盟とソ聯政府との間に豫備的交渉が行はれたと傳へられてゐる

極東情勢說明 陸相けふ閣議で

【東京二十一日發國通】林陸相は二十一日定例閣議で雜談的に陸軍の觀たる最近の極東諸情勢につき說明をなす筈である

號外發行

二十一日三土前鐵相召喚に關し號外を發行しました

蛇角

◇ 大藏疑獄の火の手が遂に三土前鐵相に廻つた。類燒かどうか判らないが焦げ臭い匂ひだけはする。

◇ 國策審議會はどうやら流產の噂り。生れぬ前から評判の惡い子なら先づ生れぬ方がましだらう。

◇ 民政黨と床次派、山道派の合從連衡、若し成功しても世間では「何に足輕か？」以上に高くは買ふまい。

◇ 關東廳が縮小するなら大連市政は擴張しやう、小川市長のその意氣に買つてやつてもよい。

◇ 三井家の相續稅、勿驚タッタ二千二百萬圓、同じ國には明日の糧さへもない農民が數百萬も居る。

◇ ニユートンはリンゴ落下で眞理を發見し、農林省はリンゴ禁輸で在滿苹果業を見殺しにする。

◇ 近頃明るい話、埠頭の硝子トンネルと、濱町の電燈トンネル。

對滿事務審議會設置
首相直屬の諮問機關として
拓務省案の一部變更

【東京二十一日發國通】拓務省では在滿機構改革に伴ひ内閣に關係各省間の事務連絡に關する委員會を設置するところ既定方針を變更し、陸、海軍、外務、大藏、拓務の外、内閣資源局の各關係官を網羅する對滿事務審議會を設置し首相直屬の諮問機關とする方針に決定、この旨二十日陸外兩省に通達するところあつた

自案の成立を期す
在滿機關案と拓務省

【東京特電二十一日發】在滿機關改正に關する拓務省の具體案は二十日内閣へ提出され、いよ〳〵三省案を基礎に審議開始の段階に達したが、拓務省案は既報の如く軍事と文治機關とを明日に區分し軍部から政治經濟を引離すことを目的とし唯だ暫定的に大使と軍司令官との兼任を以て當面の調和を計り、將來その兼任を解き大使の下に文治機關の完成を圖るものである、又關東州に知事を置き一地方廳とするも附屬地その他の特殊行政と共に大使の管下に監督し政務總長により行政と外交とを綜合して二位一體の機關とした又中央の命令系統は財政、拓務の二者なるも現地機構は軍事以外統一され、最高指導機關は内閣總理大臣の統督の下に審議會を設けるといふのであつて多少の修正があつてもこの案を堅持しその成立を期するといふ

内蒙旗民の歡心に努力 南京政府の方針

【新京電話】某所着報によれば察哈爾省内各旗王は曩に自己の誠意を披瀝せんと關東軍及び滿洲國皇帝に蒙古馬を献上せんと申出て來たが、去る七月上旬同省内駐在の各機關は極秘裡に種々打合せたる蒙古馬百八十餘頭を秘に南京政府に献納した模樣で、南京政府の内蒙古各旗に對する政策は緩和され蒙古自治辦法を制定し旗民の歡心を得ることに努力しつゝある模樣である

豫備會商提案 陸軍大藏も參畫

【東京二十一日發國通】十月再開の海軍豫備會商對案に關しては目下外務、海軍兩當局間で鋭意考究中だが、大體九月上旬には外務、海軍が完全に一致の對案を得る見込みに至つたので、引續き陸軍及び大藏を加へ關係四省にまで擴大し軍縮對策委員會を開催し事務當局案決定の上閣議に附し最後の決定を行ふ事となつた

……グレマンは二十日到着したので、外務省としては林大使の歸朝を許可すると同時に九月上旬正式に任命する事にならう

あめりか丸船客

【門司特電二十一日發】二十三日大連入港のあめりか丸主なる船客 農林省技師尾上鐵之助、同上遠章、宗像建築事務所長宗像主一自動車運輸業吉野實、樂器製造業川合幸一、橋野秀敏

人事

▲大里甚三郎氏（鐵路總局人事課長）二十一日午前七時四十分着列車で來連
▲白井喜一氏（滿鐵奉天鐵道事務所長）二十一日午前九時發はとで歸任
▲山田博愛氏（日大工學部教授）同上北行
▲高谷大次郎氏（滿洲國財政部吉黑榷運署總務科長）同上歸任
▲川路守正氏（滿洲工廠顧問）同上
▲宇都宮金一氏（實業家）同上
▲出口好衛氏（エムコンコフ商會理事）同上
▲本田敬太郎氏（豫備海軍少將、滿洲石油理事）二十一日扶桑丸にて來連
▲内田三郎氏（豫備陸軍少將、滿洲石油理事）同上
▲時目清少佐（旅順要塞司令部附）同上
▲佐々木吉雄中尉（旅順重砲隊附）同上
▲小野新太郎氏（旅順工大豫科教授）同上
▲金原誠氏（同）同上
▲西川虎吉氏（九大名譽教授）同上
▲小倉彦四郎氏（小倉石油重役）同上
▲若柳吉兵衛氏（日本舞踊學校校長）同上
▲彦坂萬次郎氏（福島紡績社員）同上
▲中野慶治氏（會社員）同上
▲樋野權一郎氏（同）同上
▲加納安藏氏（同）同上
▲荒川正太郎氏（同）同上
▲關西大學野球部金政卯一氏外二十二名同上

七寶の柱 (94)
小島政二郎　岩田專太郎畫

樣と別れて――(六)

ドアを明けると、リーンとベルが尾を引いて家中に鳴り響いた。

「あら、入らつしやいまし」

丸髷に結つた、まだ初々しい細君が、柔かい感じの顔に、滿面の笑みを浮べて小走りに迎へに出て來た。

「あの昨日電話でお願ひして置きました中村ですが――」

丸髷を一目見た瞬間、お梅はギクリと胸を刺された。思はず柱に縋まつて目をつぶつて、ゴクリと唾を呑み込んだが、次の瞬間、さあらぬ體でさう云つた。

「お待ち申してをりました。さあどうぞ――」

主婦は、全身で愛想よくお梅を迎へた。

その時の山岡の顔が見て遣りたかつた。それだけの興味で、お梅は導かれるまゝに二階のスタヂオ（寫眞室）へ上つた。

「いゝ陽氣になりまして――」

お茶を勸めながら、客あしらひに懸命な主婦の住さを見てゐると、しかし、お梅は身につまされて――こんな平和な家庭を、自分故に亂すことの恐ろしさを、また反省するのだつた。

「どうぞ暫くお待ちなすつて――只今すぐ參りますから」

かう云つて、細君は淑かにスタヂオを出て行つた。と、聞き覺えのある聲で

「靜江――」

後は、何と云つてゐるのか聞き取れなかつたが、絶えて久しい山岡の聲を聞いて、流石にお梅の心……

……もなかつた。人の氣も知らないであんな可愛らしい奧さんを迎へたりして、――さう思ふと、山岡が無上に恨めしかつた。戀しく、逢つたら手に取り縋るつもりで來たお梅は、あべこべに恨み辛みのありッたけを云つてやりたくなつた。

（いつそ、このまゝ歸つてしまはうかしら？）

お梅は拗れて一旦はさう思つた。實際、もうこの世に何の望みもなくなつてしまつたやうな果敢ない氣持がした。

お梅はもう自棄だつた。

（突然あの人の前に私が姿を現したら、どんな顔をするだらう？）

……色の淺黒いまゝに血色のいゝ、髪の毛をモシャ〳〵にした、オットリとした――しかし、どこと云へないが、やはりどこかに老けたところが仄見えて來てゐた。

「……」

その氣もなく、お梅は我知らず彈かれたやうに長椅子から立ち上つてゐた。

「あッ」

と云つた感じで、山岡もその場に棒立ちになつた。二人は目と目と見合せたまゝ、立ち竦んだ。

が、細君がうしろに立つてゐる手前、二人は何と言葉の交しやうもなかつた。しかし、二人の目には懷しさの色が柔かく溢れてゐた。

「どうぞ――」

山岡はやつと氣を取り直したら……

吹晒しから救ふ 大連埠頭の渡橋
兩側を一面のガラス張り 冬來るまでに完成

壯を誇る大連港之關口より埠頭待合所までの高架渡橋は大連埠頭の一偉觀として渡滿者の目をまづ奪ふものであるが、今日迄「あの高架渡橋を冬の吹きさらしから救つてくれ」の聲は殆ど輿論の流れとなつて色々な形で論議され滿鐵當局としてもこれが對策につき種々意見が交換されてゐた、ところが今回急速に話が進展してあの高架渡橋左右兩側を一面の硝子張りとする事に殆ど決定、冬來る迄に完成し埠頭を中心に出入する市民の利便に供することゝなつた

同渡橋が冬期凍結して吹雪と結氷に惱まされ市民の歡送迎の出足をにぶらし或ひは上陸第一歩の渡滿者に惡印象を殘した事は事實で、心あるものに何とかしなくてはならぬの感を深く抱かしてゐたものである、しかるに滿鐵が愈々その點に留意、硝子張工事施行に取りかゝるは全く時期を得たものと云はれてゐる、この硝子高廊竣工と共に冬期氷の花がその兩側にパッと咲いた硝子のトンネルをくゞる氣持はいかにも滿洲らしいローカルカラーが出たものと想像される尚ほ工事費は約一萬圓、近く工事に着手の豫定である、しかもこの硝子張工事を率先發意しこの實施方促進に贊意を表したのは林滿鐵總裁で過日內地より歸任の際、多數乘客がビシヨぬれになるのをマザ〳〵目の邊り見せつけられそれがこのよき意味の鶴の一聲となつたものであるといふ

列車を增發して 全的に高速化
滿鐵改正ダイヤ決定

滿鐵鐵道部が今年秋から實施する旅客列車の改正ダイヤは二十一日の重役會議でいよ〳〵最後的決定を見たが、結果は特急「はと」の上りを沙河口驛に停車せしめることゝなつたほか全部鐵道部原案通り確定した、而して今回改正の要點は最近の旅客激增に伴ひ全線的に列車の增發を行ひかつ超特急の運轉開始に伴ひ全面的にスピード・アップを行つたことで、滿鐵としては劃期的の時刻改正であり、そのうち特に主なる點をあぐれば先づ大連新京間に超特急行一本、奉天大連間、奉天新京間（光の延長）に各急行一本、日滿直通急行增加による安奉線急行一本、奉天新京間普通直通一本の各增發等で主なる列車時刻は左の如くである

▲下り急行列車

	大連發	奉天着	新京着
新特急	九、〇〇	一三、四〇	一七、三〇
はと	一三、〇〇	一七、五四	二三、三〇
急行	一六、五〇	二三、五〇	奉天止り
急行	二三、〇〇	一三、一〇	八、五〇

	安東發	奉天着	新京着
光	一一、〇〇	一六、一〇	二一、〇〇
急行	二三、三〇	六、四〇	

▲上り急行

	新京發	奉天着	大連着
新特急	一〇、〇〇	一三、三六	一八、三〇
はと	一三、〇〇	一八、〇八	二三、三〇
急行	二〇、〇〇		七、三〇發

	新京發	奉天着	安東着
光	七、〇〇	一一、三〇	一七、一〇
急行		二三、〇〇發	四、三〇

▲普通直通列車

大連發	奉天着	新京着
二一、〇〇	六、三〇	一四、〇〇

新京發	奉天着	大連着
一三、〇〇	二三、一〇	八、〇〇
二三、〇〇	八、一〇	一六、三〇

▲奉天發北安行列車

奉天發	四平街着	同發
一九、〇〇	二三、一〇	二三、四〇

四平街着	同發	奉天着
六、一〇	六、四〇	一〇、五〇

卽ち以上の改正時刻において特美な點は奉天の乘客を考慮外において大連新京間の急行を一本置き、その代りに大連奉天、奉天新京間に各急行一本を增發し、また現在の大連發吉林行およびチチハル行の直通列車を廢してそれ〲奉天打切りとし、新たに奉天發北安行直通車を組成した點等で、これ等國線との連絡については總局において充分考慮することになつてをり何れにしても鐵道部苦心の跡を歷然と現はしてゐる

〝美術の秋〟の序曲

けふから 東都洋畫綜合展
枯淡と絢麗のシンホニー
詰かける觀衆讚歎

美術の秋の前奏として愈々本日より開かれた東都洋畫綜合展は各方面に多大の話題を提供しつゝ朝來入場者續々詰めかけ、各派各流の名作の前に讚歎の聲を聞き、優麗枯淡の色彩シムフオニーの前には瞠目賞美の姿を見せてゐる、總じて老大家側の努力大作目立ち岡田三郎助、藤島武二氏の氣のきいた裸婦、有島生馬氏の湖上驟雨の色彩感、梅原龍三郎氏の版畫效果による感覺的バラ、安井曾太郎氏大作裸婦の物凄き量感、川島理一郎氏の童詩的巴里祭、人氣作家側では中村研一氏のおなじみのモデルによる光りの巧妙な扱ひ、伊原宇三郎氏のハイカラな瀧町風景、小磯良平氏の落付いて同時にシヤレた卓上畫、牧野虎夫氏の文學的けし畑、白瀧幾之助氏の新クラシズム精神の花小品、伊藤廉氏のひらめきとマチエールの靜物畫――このラーヂ・ヴアラエテの洋畫家群總動員は滿洲最初の質的大展覽會として盛大な美術展情緒をかもし出してゐる（會期は二十一日より二十三日まで本社講堂、寫眞は會場の觀衆）

鶴田義行選手
滿鐵を退社す

日本水泳界の代表選手たる滿鐵勤務の鶴田義行選手は父君重態のため名古屋に歸省中のところ二十一日入港の扶桑丸で歸連したが、今回一身上の都合で滿鐵を退社し名古屋市役所に勤務することゝなつた

舞踊を通じ 日滿親善
若柳氏一行來連

舞踊を通じて日滿親善を圖らうと日本舞踊學校々長若柳吉兵衞氏一行四名が廿一日入港の扶桑丸で來連花屋ホテルに投じた、船中語る
大連には今月中滯在、それから全滿をハルビン方面まで舞踊行脚をするつもりです、はじめてですからどうぞ宜しく願ひます

滿鮮遠征の……
關大野球部來る
せはしい試合の旅

關西球界の雄關大野球部滿鮮遠征軍金政監督以下一行二十二名は實滿兩軍選手の出迎へを受け二十一日入港扶桑丸で來滿、東旅館に投宿したが金政監督は語る
春のリーグ戰には聯盟側と紛糾を生じ脫退しました、秋に復歸するかどうか今のところ云へません、チームの今年度の成績は五割位で早慶明法立と戰ひ慶應に敗れ他は一勝一敗でした、當地の試合終了後京城で三回程試合をする豫定です、何分慶應、ハーバード大學との試合の關係上九月五日迄に歸阪せなければなりませんのでいそがしい遠征です

尙一行のメムバー左の如し
▲監督金政▲マネーヂヤー石井中川▲投手西村、北井、田上▲捕手北浦、岡本▲一壘村上、中村▲二壘橋本、辻▲三壘來島、土屋▲遊擊大橋、今井▲外野手稻若、加茂、浮田、黑澤、御園生（寫眞は遠征軍の一行）

官廳案を一蹴 既定方針で進む
大型タク料金問題

大型タクシー營業者は去る十八日關東廳に大和田保安課長を訪問し出願中の改正料金認可方を懇願するところあつたが、その際官廳案として
一區料金を四十錢に値下げし而して歸り車の一區三十錢制度は流し車の防止策とし、車庫乘込みも歸り車同樣に見做し三十錢以下に値下げの餘地なくなば車庫乘込みも歸り車同樣に見做すことは營業の根本に變革を來す憂へあり
といふ意見から遂に官廳案を容るゝに至らず、目下出願中の改正料金を以て當初の方針通り關東廳に對し認可の運動を續けることを申合せた、この結果關東廳が果して如何なる態度に出るか注目されてゐるが右に就き長川大連署保安主任は語る
關東廳としてはどの案を實施しようと差しつかへないが、要するに最も市民に利益になる方を執りたいと考へてゐるから種々營業者側と折衝してゐる譯である、臨時總會の結果どこまでも既定方針で進みたいといふなれば又改めて考究することになるであらう
で走るやうにしたら如何と妥協的に改正料金を提示した、よつて大型組合では二十日午後一時から臨時總會を開き、右の官廳案に基き最後的協議を行つたがその結果
最も需要多き二區以上の郊外料金は一割乃至二割の値下げとなつてゐるので、一區料金は五十

怨みは二十錢
浪速町で友人を刺す

二十日午後十一時三十分ごろ市內浪速町一丁目貴金屬商近江洋行河合美雄氏三男早大專門部二年後次君（二）が暑中休暇で歸省して來たのを訪れて來た大連商業學校同窓生滿鐵埠頭事務所勤務市內櫻花臺一二〇遠藤昌敏（二）と二人で浪速ブラに出で同町派出所橫に差しかゝつたところこれも大商同窓生（四年中途退學）であるヨタモン伊勢町一〇七番地篠山滿喜（二）と篠山の友人で去月末大阪から來連した中田吉雄（一九）の二人と出會した篠山は遠藤に向ひ「濟まんが二十錢貸して呉れ」と無心を吹きかけたのを「金を持つてならぬ」と態よく拒絕し二人は喫茶店梅園でコーヒーを飮んでから浪速町三丁目大阪屋號前に來たところ尾行して來た篠山等は二人を呼び止め「金を持たぬのに喫茶店に入るとは何事だ」と遠藤に挑りかゝつたので河合君が仲裁に入ると中田は「第三者は默つてをれ」と叫び懷中のドスを拔いて河合の心臟上部を目がけて突き刺し鮮血にまみれて昏倒するや二人は姿を晦ました
所轄大連署司法係では直ちに刑事召集を行ひ被害者を小柳醫院に收容應急手當を加へ一方犯人搜査の結果、今曉一時三十分伊勢町自宅に潛伏中の二人を河野吉岡兩刑事が取押へた
河合君を刺した中田は大阪市內で自動車修繕工をしてゐたが去月二十一日篠山を頼つて來連、同家に身を寄せてゐたものであるが篠山と共に大阪の盛場を荒し廻つてゐた不良少年であり篠山も當夜は廻轉式五連發を懷中してゐたヨタモンで引續き餘罪を取調中
なほ被害者は心臟上部に深さ三センチの傷を受け出血多量で重態である

鮮魚を格安に
水產會オミットの計畫
漁業者間に渦紋

奧地の發展に目をつけ、新鮮な生魚を安くふんだんに送り込まうといふ計畫が、水產會を拔きにして着々準備が整へられてゐる、卽ち從來
水產會 では水揚料なる名目のもとに一定の手數料を漁獲高から差引いてゐたため自然市民の口にはそれだけの負擔がかゝつてゐたが、その急所を見拔いて個人の手で網を引き揚げた漁獲物は格安に市中並びに奧地に送り込もうと云ふプランでそのバックには入江琴治氏が當つてゐる、特定の漁船繫留場を作り漁獲物をソックりそのまゝ揚げて了ふもので既に
民政署 並に滿鐵に西埠頭の一部借受運動が行はれつゝある、從つて右計畫は全然從來の水產會とは對立的なものになるわけで萬一それによつて相場の攪亂でも行はれたとしたら面白くない結果を招來すると懸念され漁業關係者間に一石投じた事となり成行注目されてゐる、同時に果して
滿鐵が 輕々しく漁船繫留場を貸付けるや否やは疑問とされいづれにしても同計畫の表面化と共に水產會當局との間に物議が生ずるものと見られてゐる

切々、五十男に 若い女の思慕
妻子を振り捨てた男と
淡路から大連へ

滿洲の新天地に愛の巢を營まうとして內地から戀の逃避行としやれ込んだ親子の樣な男女が內地からの手配で小崗子署の取調べを受けてゐた
男は原籍兵庫縣洲本町市內大黑町六二大野新二郎（五一）といひ女瀧谷スギ（二二）とは原籍地洲本で二、三十間程離れた所に住んでゐたのでかれて顔見知りの間柄であつたがスギは當時叔父に當る山下某と同居してゐたが虐待されるのを大野が同情し慰めてゐるうち戀となり大野は妻子をすてゝ七月上旬スギとの愛の巢を大連に營むべく渡滿したものである
男の就職がきまるまでと小崗子奈良屋に仲居勤めをしてゐるスギは保安係の呼出で一應保護留置されたが
「どうしても男とは別れることは出來ません」
と父の樣な男をしたふ小娘のあつい所を見せてゐた

死傷・行方不明者 三百餘に上る
安東水上署管內の鴨綠江上の被害

滿鐵本社に入電せる安東水上署の調査せる同署管內鴨綠江上における被害は左の如く死者及び行方不明を合せて三百二十名に上り、物資損害額は實に百六十二萬六千三百圓の莫大な額に上つてゐる、人畜被害の內譯は次の如くである
▲死者三〇、負傷者二六、行方不明二九〇
物資損害額內譯は次の如くである
▲家畜流失豚四六、鷄二〇、橋梁流失二ケ所、以上損害見積額三千二百圓
▲家屋流失五、同崩壞一一、同浸水二九、右損害見積額四千六百圓
▲筏流失一一六臺、右損害見積額五十四萬一千圓
▲堤防破壞損害八千五百圓
▲船舶流失一、〇二〇、損害額三十四萬六千百圓
▲積荷流失損害七十二萬三千圓
以上損害額合計百六十二萬六千四百圓

慰問使を派遣し
實情調査の上で對策
滿鐵社員會と安東の水災

滿鐵社員會では二十日午後三時半から開催の役員會で安東水災慰問方法その他三案について協議したが左の如く決議した
一、安東水災對策 粕谷宣傳部長並びに甲斐編輯局員を慰問のため派遣し實情調査のうへ對策を講ず
一、夏期大學講演集出版に關する件 地方部に交涉のうへ成る可く出版することにする
一、幹事會開催に關する件 九月十五日開催の豫定
一、精神作興運動實行の件 十月中旬精神作興週間を設けて目的貫徹に努力すること

滿鐵々道部では安東罹災民の飮料水補給のためさきに五臺の水槽車を安東に急送したが更に二十二日中に新京から一臺、大連から四臺の水槽車を送ることゝなり、大連からの分は鐵道工場で二十一日中に發送準備を終る事になつてゐる

奉天から慰問

【奉天電話】水難の安東市に對し日滿各機關において救濟策を考究中であるが被害地の各機關を心から慰問すべく奉天より市民代表として野口民會長、關屋地方事務所長、皆川聯合町內會長、鹽尻地方委員議長の諸氏が二十一日午前七時發ひかりにて赴安した

遞信局救護班
急遽安東へ出發

關東廳遞信局では今回の安東における水災に對し同地方一萬有餘の保險加入者及び一般傷病者の應急救護に當らしめるため保險係山口書記健康相談所阪口醫師及び看護婦二名より成る救護班を組織し藥品材料を携行十九日午後四時二十分急遽出發せしめた

水饑饉から 安東市民免る
貯水池の應急修理
明日中には完成

水害のため安東市民六萬三千の命の糧たる飮料水を奪はれた安東では淨水の供給を最大急務として應急處置に狂奔してゐたが安東地方事務所において二十日朝より安東平常の家庭使用淨水二千三百噸の約半量の一千餘噸の給水計畫を立てトラック、撒水車等にて市內四十餘ケ所の給水所から飮料水の配給を開始した、卽ち當分の給水計畫は次の如し
新義州上水から五百噸供給、市內井戶給水三百噸、鐵道タンク車給水二百餘噸
で一千餘噸に上りこのほか濾化器を使用して飮料水を補給してゐるので既に二十日より日常飮料水ほか使用水には間に合ふことゝなつたなほ貯水池は目下派遣技師が中心となつて晝夜兼行にて修理中で二十二日中には應急修理が完成する筈

無料診療開始

安東水災地救濟のため滿鐵本社衞生課では嚢に村川博士が醫師二名を伴ひ急行せるほか更に二十二日救療班三班を現地に派遣し安東市內において救療所を開設し病者、負傷者の無料救療を行ふことゝなつた
救療班の組織は醫師一名、看護婦二名、助手一名、滿人助手二名より成り醫大その他滿鐵病院それ〲派遣される

時目工兵少佐

事變前國民黨顧問將校として支那本土にて活躍、今般旭川工兵第七大隊附より旅順要塞司令部附に榮轉の時目濟工兵少佐は二十一日入港の扶桑丸で家族同伴來連直に赴旅した、船中語る
國民黨の方は事變勃發と同時に辭して長らく故山に引込んでゐた、滿洲も隨分變つたやうだし確つかり勉强して期待に副ひたいと思ふ

炭疽病遂に 苦力侵す
總局、對策協議

北黑線の炭疽病はその後ますます猖獗を極め二十日滿鐵建設局への入電によれば既に馬匹一千頭同病に冒されうち七百頭斃死、ほかに苦力四名の罹病者を出したので、急報を受けた滿洲醫大から滿人醫師一名五百名分の治療用血淸を携行二十日現地に急行したが、何分同病は極めて傳染の激しいものであるため建設局では二十一日關係者集合今後の對策を打合せするところあつた

慶應小川捕手
脚氣のため退部

【東京二十一日發國通】慶應大學野球部の名捕手並に强打者として鳴らした小川年安君は今春來脚氣で活動思はしからず部長に退部を申出たが部長も此の程已むを得ずとして退部を許可した

水の用意を
老虎灘方面の水道今夜斷水

大連民政署水道課では本二十一日午後八時より十二時迄、左記老虎灘方面の水道鐵管本管の工事をなすので一時斷水又は溷濁を見るやも知れず、同方面の市民は使用の水を豫め用意して置かれたいと
秀月臺、淸見町、小波町、靜浦町、香月臺、春陽臺、轉山屯、老虎灘

社員家族の 地方部運動會

滿鐵地方部では來る九月十六日午前九時より南滿工專運動場に於いて社員家族合同の第二回地方部運動會を開催することゝなつたが興味の中心たる部長不爭覇採點競技は昨年第一回大會の九種目（社員のみ出場）に新なる家族のみの家族玉入れを差し加へ左記十種目で行ふことに決定した
陸上ボート、球入れ、二人三脚リレー、課所長、主任リレー、籠球リレー、盲啞リレー、百足競走、ラグビーボールリレー、十五人リレー、家族玉入れ

福田畫伯を招宴

大連讀畫會では十九日午後三時から市內西園亭に目下滯連中の福田平八郎畫伯を招き書畫の鑑賞をなし淸遊を試みた
出席者は佐藤至誠、原田光次郎、首藤定、小澤新之輔氏等十八名で盛會裡に十時散會した

天氣予報

二十二日
南の風（曇）
滿潮（午前七時五〇分 午後八時一〇分）
干潮（午前零時四〇分 午後二時一五分）

各地溫度（二十一日午前十一時）

大連	二五	奉天	二七
旅順	二五	新京	二六
營口	二六	新義州	二五

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百十四圓三十五錢

學生募集

人員＝七十五名募集す日滿人不問
資格＝本科生中等學校卒業者
選科生は學歷に制限なし

教授學科目

經濟原論、商業政策、工業政策、經濟史、貨幣論、銀行論、經營學、統計學、財政學、倉庫論、外國爲替論、保險學、簿記、會計學、珠算、法學通論、民法、商法、倫理實踐社會學、滿洲事情
開始＝九月三日
期間＝修業年限一ケ年夜間授業
授業＝月火水木金午後七時より
月謝＝一ケ月金二圓五十錢
願書は八月十日より受附願九月二日締切る、受附に入學を許可し定員に達すれば隨時締切る

卒業生就職狀態

創立以來今年八月迄の卒業生合計八十七名其の就職先左の如し
滿鐵二〇、鐵路總局一〇、滿洲國政府八、大連稅關三、大連郵便局三、滿鐵消費組合五、南滿瓦斯一、昌光硝子一、大倉商事三、國際運輸一、大連民政署一、幾久屋一、大連取引所一、東裕錢莊二、滿電三、大連汽船一、自家營業五、個人商店一四、不明五名、規則書送呈
大連市敷島町六十九番
關東廳認可 南滿商科學院
電話二九二五一

公示催告

大連市紀伊町一番地益發合事
申立人 王信齋
目錄
證券ノ種類及番號 運送狀副狀第一六二號第一八三號二通
品名品質及個數 大豆三五二箇宛
但第一六二號分三等麻袋第一八三號一等新袋
發驛所名 松花江
着驛所名 大連埠頭
荷送人 廣利信 荷受人 益發合
發行年月日 第一六二號分昭和九年七月二十四日第一八三號分同年八月四日
入庫年月日 右同
發行人 駐松花江站中東鐵路運輸事務所
右證券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立テ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和十年二月二十一日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スル事アル可シ
昭和九年八月十八日
關東廳地方法院

滿鐵混保大豆燒殘品競賣入札廣告
本月十四日罹災せる滿鐵大連埠頭西部野積場混保大豆壹百貳拾八車の燒殘品（但し內正袋五十四車東部野積場に移管分を含む）を來る八月廿三日午後一時寺內通り海員俱樂部に於て競賣入札仕候に付此段廣告候也
追て入札御希望の方は當社營業課損害係電話二一九一番に付御照會相成度候
大連火災海上保險株式會社

御斷り
高瀨某なる者が朝日新聞記者と稱して金品を强要し廻つてゐるといふ事ですが、本社に左樣な者はゐませんから豫め御注意を御願ひします
八月二十一日
霧島町五番地
大阪朝日新聞社大連支局

關東軍哈爾賓屯憲兵分隊附通譯大波多五郎儀々病院に入院治療中の處突如十七日午前八時三十分死去致し候に付此段謹告候也
追て二十二日午後四時途中行列を廢し大連西本願寺に於て告別式執行致可く候
兄 大波多其一
兄 大波多春藏
友人 岡內半藏
總代 首藤定
森繁八

新講談

丹下左膳 (201)

林不忘作 小田富彌畫

母娘旅同行二人(二)

フと、後ろにすゝり泣きの聲がする……ので、石金、ぎよつとして振り返つて見ると!

チヨビ安です。何時の間にこゝへ來たのか、濱岡の浴衣の腕まくりをして、豆絞りの手拭をギユツと鷲づかみにした小さなチヨビ安が、お美夜ちやんと石金のすぐうしろの、用水桶の蔭に立つて

「えエイ畜生、泣かしやアがる」

その豆絞りで、グイと鼻の先をこすりながら、チヨビ安、二人の前へ現れて來た。

「かう、石金の爺つあん、まあ、聞いて呉んねえ。お前も知つての通り、あの作爺さんが柳生對馬の家老に連れられて行つてから、お美夜ちやんはお前、食も咽喉へ通らねえ始末で、夜も晝も、かうして泣いてばかりゐるんだよ。それを見ると、おいらも――おいらも泣けて來らあ」

「ア、安さん、お前さん其處にゐたの?いま石金の小父さんに聞いたんだけど、日光といふのは、あの、ホラ、向うの伊勢屋の質屋の藏の上に、火の見櫓が見えるだらう?あの櫓の右のはうに、お魚の形をした小さな雲が流れてゐるわね。あの下が日光なんだとサ。お爺ちやんは、あそこにゐるんだわネエ。あたい、あの雲になりたい」

「アレだ」

とチヨビ安は、ホト〳〵參つたといふ顔で、石金を振り返り、

「おウ爺つあん、子供に詰まられえことを言はねえで貰ひてえ。おいらが何とかして、忘れさせようとしてゐるのに、爺つあんがそんな餘計なことを言つちやア、お美夜ちやんはます〳〵センチになるばかりぢやアねえか」

きめつけられた石金は

「まあサ、お前が來たから、おいらも安心したよ。一つ水入らずでとつくりと納得させるがいゝワサ」

言ひ捨てゝ、家へ這入る石金へ

「何いつてやんでエ」

と舌を出したチヨビ安

「サ、お美夜ちやん、こんなところに立つてると、蚊に食はれるよ。そんなに泣いてばかりゐた日にやア、黒眼が流れてしまふぜ。ホラ、おいらを見ねえ……東西東西!物眞似名人、トンガリ長屋のチヨビ安大夫、ハツ!これは、横丁の黒猫が、魚屋の盤臺を狙つて抜き足差し足、忍び寄るところと御座アい!」

ピヨンと一つ蜻蛉返りを打つたチヨビ安、大道に四つん這ひになつて、泥棒猫の恰好よろしく、おかしな樣子でしきりにお美夜ちやんの足許を這ひまはる。

お美夜ちやんの悲しみを慰めようとの一心。

何とかしてニツコリ笑はせようと、チヨビ安一生懸命だ。

「サテ、お次ぎは――と白痴が刺子を逆まに着て、火事へ駈け出すところ!」

自分で口上を言ひながらの一人芝居だから、イヤその忙しいことゝ言つたら。

浴衣の裾をスッポリ頭から被つて、狼狽でふためいた仕草でお美夜ちやんのまはりを走り廻つたが

「オヤ!これでもまだ笑はねえナ。宜し、それでは……と、アさうだ、今度は、按摩が犬に吠えられて立ち往生の光景!ハツ!」

ポンと手を叩いたチヨビ安、案山子のやうな形にお美夜ちやんの前に突つ立ちながら、そつとうす眼を開けて覗ふと、お美夜ちやんはそれを見もせずに、涙に濡れた眼を依然として、北の空へ上げてゐる。

「こんなに骨を折つても、何うしても笑はねえのかなア……あゝ草臥れちやつた」

チヨビ安はべそをかゝんばかりペチヤンと往來に坐つてしまつた。

メトロ奉天支店設置

メトロ大阪支店長ヨハンソン氏は二十一日入港の扶桑丸にて來連したが氏の來滿に依つて奉天にメトロの支店が設けられ、なほ大連の寫眞配給をメトロ直營とすることゝなつてゐる、大連のメトロ寫眞配給權は本年一月以來中央映畫館主南氏が持つてゐたが七月解約となつて以來綱島商店が代理店の如き形で現在配給してゐる

"七寶の柱"配役當籤者の賞品

一等には訪問着、帶、長襦袢 等外はサイン入りプロ

「七寶の柱」の新興映畫に伴ふ三女優の配役懸賞募集の結果は二十日本紙夕刊演藝欄に發表したが一萬八千七百十六名中から選ばれた幸運なる當籤者一等一名、二等二名、三等三名、等外三十名の諸氏に對しては豫告の如く左の如く一等百圓相當品、二等五十圓相當品三等二十圓相當品の賞品を贈ることに決定した

一等 双美織袋帶一筋、渚縮緬模樣訪問着一枚、清美織友禪長襦袢一枚の外出着三點一揃

二等 渚縮緬模樣訪問着一枚、清美織友禪長襦袢一枚の二點又は双美織袋帶一筋

三等 山繭入高波紋縮緬着尺一反又は黒絽五紋付男單羽織地一反

以上の賞品については孰も當籤者本人に對して希望の模樣柄を照會中であるから希望に應じて卽刻各地支社支局を通じて贈呈することゝなつてゐる、なほ等外三十名の諸氏に對しては「七寶の柱」に主演する配役當籤の三女優のサイン入りブロマイド三枚一組を夫々送附する

日活の引抜に 松竹新興憤慨

日活が自由映畫設立から映畫界未曾有の引抜きを行ふと豪語した爲め、銀幕界は時ならぬ旋風に襲はれ、一流監督俳優の脱退等々の噂を生んでゐるが、松竹、新興兩社首腦部は十六日に至り、巷間に亂れ飛ぶデマ默視し難しとあつて自社の俳優及び監督陣になんらの動搖なき旨を聲明し「日活の態度は正に營業妨害である」と憤慨、なんらかの手段によつて嚴重な抗議を發する模樣である、なほ松竹京都林長二郎は自分の叔父で日活系京都土地興行の重役長谷川氏から日活入りを勸誘されたが、これを斷り松竹を退社せぬ旨を聲明した

私語線

日活がユナイテッド・アーチスト社の極彩色漫畫トーキーを上映し始めてから中央映畫館が又今週からコロンビア社の漫畫トーキーを上映し始めた、中央映畫館も今後毎週續ける方針だがこの大連代表對立二館の漫畫上映は一つの傾向として見られる▲常盤座の小泉寛有ソヴィエート映畫の配給を始めたが今日愈々二葉町七八に三和映畫社を設立配給を始めた

世界的ヴァイオリン巨匠
ゴルドシュタイン氏大演奏會
ピアノ大家ヂロン夫人共演

日時 八月二十三日午後八時
會場 滿鐵協和會館
會費 一般二圓 倶樂部員・滿日讀者 一圓五十錢
會券發賣 當日午前八時より社員倶樂部にて

主催 滿鐵音樂會 滿鐵社員倶樂部
後援 滿洲日報社

ゴルドシュタイン氏大演奏會
讀者優待券(一枚一人)
此券持參者に限り會費一圓五十錢
後援 滿洲日報社

ゴルドシュタイン氏大演奏會
讀者優待券(一枚一人)
此券持參者に限り會費一圓五十錢
後援 滿洲日報社

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番
印刷人 本村武盛

三省案原則の一致 事務的折衝開始
結局解決點を發見せん

【東京二十一日發國通】河田書記官長は二十一日午後首相官邸に堀切上拓務次官と會見、金森法制局長官と共に在滿行政機關の改革問題に關聯する拓務省の原案につき詳細なる説明を聽取したが、之で在滿行政機關の改革に關する陸軍、外務、拓務三省の原案並にその主張するところも明瞭になつたわけで、拓務省では獨自の對案が決定したので陸軍當局並に外務當局に對し事務的折衝を開始することになつたが、三省間の意見は必ずしも對立してゐると見るべきでなく寧ろ根本原則に於ては精神的に一致してをり、たゞ形式上の事項に就いて多少意見の相違があると云ふ實情であるから今後の折衝に多少の時日を要するとしても三省間の事務的折衝に依つて何等かの解決點を見出し得るであらうと政府側は極めて樂觀してゐる

拓務省原案
陸外兩省に提示

【東京二十一日發國通】拓務省の在滿機構改革具體案が出來たので生駒管理局長は二十日午後陸軍外務兩省を訪問し原案を示し折衝を開始した

“尚早論”は尚早
附屬地返還は準備時代のみ
滿洲國當局の見解

【新京電話】大連商工會議所を中心とする治外法權及び附屬地行政權返還反對氣勢について滿洲國側は日本の好意的自發的撤廢に信頼し此の好意を裏切らぬため康徳元年度豫算にも必要な豫算を計上準備に萬全を期してゐる次第だが實現の時期等に就ては一切日本側の都合に一任し強要等不自然な態度は執らぬ事になつてゐる、從つて法權及び附屬地行政權問題に關する在滿日本商工等關係者の反對機運等に對しては日本政府を絶對信頼の立場を執り一切可否の批評を遠慮してゐるが未だ何時の事とも決定してゐない時期を捉へて尚早論が行はれつゝあると云ふ事に不可思議な感を抱いてゐる……

撤廢、附屬地行政權の返還或は邦人に對する滿洲國の課税問題が論議されつゝあり我々として も此の問題を研究したいと思つて居る、治外法權の撤廢、附屬地の返還に付いては滿洲國全體が揃つて撤廢を要求するものではなく恐らくは滿洲國一部の聲であらうと思ふ、治外法權撤廢に對し我々は絶對に反對するのではない時期の問題である、治權撤廢行政權移管に關してはまだ滿洲國準備のが充分でない、日本人に對する課税問題に對する確かなる根據は大正五年の通商條約に依るものであり、治外法權の撤廢と共に課税事務を地方事務所に委託されると云ふのであるが我々は附屬地に住んで居るので納税の義務はないのである、行政機構の改正に付いては外務、陸軍、拓務各省間で研究されつゝあるが我々は大體拓務案を適當として居る

の他拓務當局等よりの慰撫により去る十五日職員大會開催以來靜觀の態度を續け善々對策について研究中であつたが職員の最も正當、適切なりと信ずる拓務省案に對し最近拓務省が該案を取消したかの如き情報が傳へられるに至り再び關東廳職員は緊張を示し二十一日午後一時から各首腦者が第一應接室に集合鳩首協議をなし一方日下中村兩局長より右情報の眞否につき上京中の大場局長に照會の結果右は虚報なる旨を傳へ職員の自重方を望むとの返事により日下、中村兩局長は職員の慰撫に努め再び靜觀態度に返つた

奉天聯合町內會々

展に關し在住邦人の意見を明確にするため二十一日午後二時より公會室において各機關聯合會を開き皆川聯合町內會長は滿洲國の建國に依り治外法權の……旨の挨拶をなして左の如く決議をなした

一、治外法權撤廢は時期尚早
一、附屬地返還反對
一、課税反對

なほ二十四日更に新京における時局座談會に市民代表として皆川聯合町內會長を派遣する事として午後三時閉會した

國同分裂必至

【東京二十日發國通】國民同盟の山道襄一、小池仁郎氏等は民政黨及び床次派に合流を希望して居るが民政黨としては山道氏一派の合流には何等異議は無いが安達、中野氏等を極端に忌避して居り、國同全部が民政黨及び床次派に合流する事は實現不可能で、合流問題が具體化すれば國同の分裂は必然と見られ、九月の政治季節に入り床次派の行動表面化し、民政黨との接近と共に政界に起さるべき變動は注目されて居る

米、聯盟に傾く
國際勞働機關參加

【ワシントン二十日發國通】ルーズヴエルト大統領は二十日國際勞働機關參加に關する國際聯盟の要請を受諾した米國政府の國際勞働機關參加決議案は去る六月十六日議會に於いて採擇されてゐるので大統領今回の受諾に依り米國政府は茲に正式に國際勞働機關に參加したわけである、右決定は國際聯盟關係の義務負擔とは直接何等關係が無いが擁手からする米國政府の聯盟加入とも見られる

舊弊を打破する 起居規程
張燕卿氏

◇…滿洲國各部大臣中の最年少者にして立法院長趙欣伯氏と共に、好男子の雙璧といはれてゐるのは實業部大臣張燕卿氏だがその張氏は前滿時代の名臣張之洞氏の第何番目かの公子である。

◇…由來名門富豪の子弟にして乃父の名を辱しめぬといふ傑物は極めて少なく、多くは乃父の遺産か餘徳を以て放縱な生活を送るのが通例であるが張氏はその點斷然舊弊を打破して新時代の空氣を吸うて居る。

◇…ツイ先頃才色高き現夫人を迎へたが琴瑟頗る相和し、その睦じさは多くの人の羨望の的となつてゐる。

◇…その張大臣の一日の起居は甚だ嚴格で炎暑の昨今一日も休むことなく、次の如き起居規程を作つて下僚に手交し、それを恪守實行してゐる。

大臣起居規程、午前七時起床沐浴、午前八時半當日の行動豫定を作成、同九時登廳十一時迄公務上の會見を行ふ、同十一時より午後一時迄公務を處理す、同一時歸宅午餐、同二時より四時迄休息、同四時より五時迄訪問、同五時より六時迄宴會に出席、同七時より八時迄晩餐、同八時より九時迄重要事の打合せを行ふ、同九時より十時迄信書批閲、同十時より十一時家事整理、午後十二時就寝、日曜休日は會見及び公務處理を停止

◇…右は夏季中の起居規程であるが、從來多數の妾を蓄へ徹夜打牌し、晝は終日就寢、夜と晝を取違へた生活をしてゐる支那大官に比べれば隔世の感がある。（新京）

在滿機關改革問題 ㈣
外、拓務兩案の檢討
兩案の內容と相違點

陸軍案が出るとその批判の形式で外務案が世上に洩れて來たが、この外務案は今までのところでは甚だ曖昧である、大體信ぜられるところによれば次のごとくである

一、當分の間全權大使及び軍司令官の二位一體とし、關東長官を廢して關東州知事を置く（將來は軍司令官の全權大使兼攝を分離する）

二、全權大使は純然たる外交官とし、外務大臣の指揮監督下に置く

三、全權大使は司法、行政、經濟に關する權限を有するも、司法および行政權は漸進的に滿洲國に返還する

四、關東州知事の監督は拓務大臣に屬せしむ

五、日滿共同經濟委員會を新設、日滿統制經濟の實現に資す

これを圖解すれば第一圖のごとくになる

（第一圖）

滿洲國	日滿共同經濟委員會
日本	外務大臣—全權大使（兼任）—外交・司法・行政・經濟
	陸軍大臣—軍司令官
	拓務大臣—關東州知事

◇—◇

陸軍と外務がしきりに自省の意見を發表するのに、拓務省のみは專任大臣が居らず、次官が外遊である淋しさに容易に火蓋を切りかねてゐたが、最近に到つてやうやく拓務省案なるものを外間に出すことが出來るところまで漕ぎつけた、この案に對しては直に否定的聲明がなされたが、さきに關東廳側がひそかに作成したいはゆる關東廳案と同巧異曲であるところから見ると、相當信を置くに足るものであるやうだ

◇—◇

拓務案による新機構の要綱は左のごとく、その圖解は第二圖の通りである

第一　機構

一、長官　駐滿全權大使（關東軍司令官を以つてこれに任ずることを得）

二、權限

1、大使は滿洲國において帝國政府を代表し、滿洲における帝國領事館の職務を統轄す

2、大使は滿洲帝國の指導ならびに同國より委任された鐵道、港灣および河川の管理に關する事項を掌る

3、大使は關東州を管轄し滿鐵附屬地における行政を掌り、滿鐵および滿業、電々會社の業務を監督す

……

（２）在滿機構體系（第二圖）

天皇	總理大臣	對滿事務連絡委員會
	外務大臣・拓務大臣・陸軍大臣	
	駐滿全權大使	軍司令官
	總務・外務	地方行政
	領事	州知事

滿洲行政機構改組問題
緊急市民大會
大連劇場にて 批判演說會開く

大連言論機關有志團體主催による「滿洲行政機構改組問題」を議する市民大會並びに批判演說會は二十日午後六時半より大連劇場に開會、劈頭淺野虎三郎氏は會場地なき會衆を大連劇場に滿堂推せば岡野助役座長席に推せば岡野市助役座長趣旨を述べて、劈頭の宣言並に決議を萬雷拍手裡に決定し直に岡田首相、菱刈關東軍司令官、陸軍、外務兩大臣、坪上拓務次官、關東廳出張所、大場警務局長、政友、民政兩總裁、貴族院議長、河田內閣書記官長、仙波門田兩代議士宛て決議文を打電次で演說會に入り

村田滿日社長

は劈頭左の如く說く

第一に我々は滿洲國司法權の確立の一日も早からんことを翹望するも客觀的にこれを大觀するとき我が治外法權の撤廢につき拙速主義を採ることに贊するわけにゆかぬ、第二に附屬地行政權を滿洲國に還付することは本質的には必然のことに屬し贊意を表するも未だその時機に非ずと信ずる、これが論據は多々あるも一例を舉ぐれば或る附屬地の住民は從來一坪數十圓の地價を保有し來りしも還付のため瓦礫を抱くといふ悲慘事を見るに至るかも知れぬ、これを要するに滿洲國は跛足にて速歩し我方として陸壇すれば、滿鮮經濟社長

西川國一氏

外務省案を排擊すと題して少くとも滿洲國に關する限り歷代霞ケ關の過去における軟弱外交を具體的に極論して現在に及び延いて將來を卜して現地人としては拓務省案支持をなすべきを熱叫す、恩田市會議員の「匙を目指して」と題する熱辯に

宣言・決議

宣言

滿洲國建國されて茲に三年、國內は平定し治安は維持され、庶政着々改善して獨立の基礎全く成れりと雖も直ちに以て治外法權を裁撤し附屬地行政權を還付する如きは實に其の早計たるを免れず、然るに此の機會に於て我が統治機構の改組を計り三位一體制を二位一體となし外交機關に依りて日滿兩國の關係に處せんとするの議あり、實に吾人は全力を傾注して其の實現を排擊せざるべからず、想ふに滿洲事變以前に於ける我が外交機關の對外的施設は屢に既得權益を喪失し夕に我が在滿邦人を窮地に陷れしものに外ならず、今再び外務機關を中心として日滿兩國の親善と提携とを期せんとせば之れ即ち在滿邦人をして信頼すべき行政組織を……

決議

一、滿洲に於ける我が統治機構の改組は……

……

內地作柄不良
山崎農相閣議に報告

農事試驗場增設
國務院會議の決定

承德の猛練習
選手權大會を控へて

祝辭に答ふる ヒ新總統

マラソン使節
きのふ新京着

參考召喚の手は 日本銀行當局に及ぶ
某事件の取調べ深刻

謝禮は受けた 併し請託でない
三土氏罪を構成せず

國策審議會 設置靜觀
岡田首相の態度

齋藤鱉太郎氏

長永商議書記長

高田商議會頭

小川市長

社説　大連市民大會と使館當局談

二十日夜言論機關の主催にて大連市民大會が開かれた。宣言案、決議案議決の後、各辯士の熱辯あり、宣言、決議は各要路に電報された。要旨は在滿統治機構を外交機關によりて統一されるに反對し、附屬地行政權の即時滿洲國移管を不可となし、駐滿全權下の政務總長によりて行政權の整備されんことを希求するのである。各辯士の所論には、附屬地に於ける行政權を滿洲國に移讓するに反對を強調する點多く、殊に課税權移讓の反對論が強かつた。蓋し近時問題になつてゐる在滿日本機關改革問題、並びに之れに關聯する治外法權撤去、附屬地返還問題が現地の利害に聯關する所深刻なるが故に、その進展と共に此種現地の言論は益々熾烈に赴くべしと思はれる。而して此種の現地言論は、要路に問題の考察點を與へ、事の決定に資する所あるべきはいふまでもない。

◇

滿洲國の獨立を尊重し、その獨立を確立せしめねばならないのは當然だが、外務省の考へ方が、餘りに此原則に囚はれてゐるのでないかとは吾人も曾つて指摘した所であつた。吾人は此點に於いて機構改革の外務案に稍不滿を感ずるが、それも輿論の聲と省內の研究とによりて追々と是正されさうである。而して新京二十日發特電として本紙に記載された我大使館當局の談によるに、治外法權、附屬地に關する考へ方は吾人の考へ方と格別の扞格もないやうである。即ち其談によるに、治外法權に就ては、準備出來次第に之れを撤廢すべきである。今はその準備を急いでゐるといふにある。一體治外法權は支那に對してでも、相當の準備さへ出來れば撤去すべきであつて、況んや滿洲國に對しては問題ではない。只その準備如何が問題であるだけだ。市民大會でも、その準備が未だ出來てゐないことが強調された。要は準備を整へるにある。

◇

附屬地の返還に關しても、民間で時期尚早といふのは當然だ。吾人は曾つて、治外法權の撤去と附屬地の廢止とは同日に論ずべきでない。附屬地返還の爲めの準備は、治外法權の撤去の爲の準備とは比較にならない程、複雜多端で、決して容易ではないと說いた。大使館でも、附屬地返還には多くの準備と研究が必要で實現に至るまでには相當の長年月を要すと見てゐると明言してゐる。

◇

尚大使館當局談中に重要な事項がある。それは、附屬地返還と云へば在住邦人の既得權益は直に消失するものと考へてゐる者が相當あるやうだが、實は行政權を返還するので、主として警察權に關する。他の諸權益は保留さるゝものであるといふのだ。此の點に關しても吾人は先日聊か論及しておいた。治外法權撤去の理論は附屬地を返還せねば一貫しない。（本來別種のものではあるが密接に關聯す）併し多年の附屬地制度によりて發生發育して來た諸種の關係の容易に解消すべからざるものがある。（課税、警察、取引、金融等）是は既に既得權となり既得權に類した權益となつてゐる。これを急に改めんとすると現狀を猥りに破壞することになりて、邦人に甚だしき損失を蒙らせる。故に附屬地返附の爲めには、此等の損失を防止する準備を必要となし、防止し得べからざる部分につきては緩和か補償かの方法が講ぜられねばならぬといふのが吾人の意見である。最も重要視される課税權の如きも同樣に論ぜられる。日滿の特殊關係と獨立關係とが十分に考量されて、理論は理論として行はれねばならぬが、それと共に實際問題を閑却してはならない。大使館當局の談にも此點は認めてゐるやうだ。

◇

日を同じくして出された、市民大會の言論と大使館當局談とは、偶然にも相對應するもので恰かも大使館が市民大會に答へたかの感がある。尤も當局談は大會に比し時間的には以前であるが、市民大會に主張されてゐることは以前に知悉されてゐることであるから、大使館當局談は實際に於てそれに答ふるものだと見て相違ない。而してその答ふる點所に就ては、市民大會の要求する所と甚しき撞着はない。只在滿機構の大局論に至つては中央問題であるから大使館當局談は之れに觸れてゐない。尚當局が此問題を實際化するに際して如何なる程度に現地人現存の利益を考慮するかは、絕えず注意を要する。

北鐵讓渡交渉打切りか　不誠意を改めずば決裂の外なし　滿洲國首腦部の態度

【新京電話】滿洲國政府では北鐵讓渡交渉に關して去る十九日大橋外交部次長の歸京以來東京における交渉の經過並に讓渡價格及び條件今回引揚げるに至つた事情の詳細なる報告を受けたので各首腦部では愼重なる協議を遂げつゝあるが飽まで ソ聯が不誠意なる態度に出で特に國際信義を無視せる數々の逆宣傳をなすに於いては滿洲國當局としても斷乎たる態度を以て臨む外なく今後ソ聯側が協同精神に基き協調的提案をなさざる限り曩に聲明せるが如く滿洲國としては此の責任を分たず之に依つて決裂の外なしと觀られて居る

外交部當局の談　その態度不都合千萬

【新京電話】大橋外交部次長の詳細なる報告に基き滿洲國としての今後の方針に關し各首腦部間に於いて協議中であるが右に關し外交部當局は語る

目下種々協議中であるが終始誠意ある態度を以て臨んだ我が國の誠意に對し飽迄卑劣な手段をとるソ聯側の態度に關しては毛頭誠意を認められない、殊にタス通信を利用して非常識極まる逆宣傳をなすのは第一不都合千萬である、まだ種々協議中で具體的案は出來て居らないが仲介者となつて居る日本政府の面子も考へねばならない、今後は愼重なる態度を以て方針を決定する筈である、結局具體案が出來るまでには相當の時日を要するものと思ふ

北鐵へリツトン調査團　ソ聯の國際聯盟加入の魂膽　英モーニングポスト紙の所論

【ロンドン二十日發國通】モーニングポスト紙は二十日の紙上で北鐵讓渡交渉と日蘇兩國關係に言及し次の如く論じてゐる

北鐵讓渡交渉が決裂に歸してもソ聯は敢へて戰爭に愬へる事はあるまいが今後頻りに非鳴を揚げるだらう、ソ聯が目下聯盟加入を示してゐるのは讓渡交渉と何等か關係があらう、ソ聯は北鐵に關する自國諸權限評價のためリツトン調査團の派遣を要請するに至るかも知れない、凄腕の聞え高いリトヴイノフ外務人民委員長が獨特の辣腕を振ひソ聯が極東における帝國主義侵略の哀れな犧牲なるかのやうに宣傳し結局西歐諸國を日本との紛爭の渦中に捲き込まうとする事は想像に難くない、併し聯盟がかゝる紛爭に捲き込まれぬ事を切望す

ソ聯の聯盟加入問題　フランス活躍

【ジユネーヴ二十日發國通】ソ聯政府は「九月より聯盟に加入の用意ある」旨聯盟へ非公式に通告したと傳へられてゐるがソ聯政府の肚は東歐ロカルノ條約締結が確實とならぬ內は聯盟の正式加入となる事を欲せず九月より加入するとしても非公式加盟の形式を執るものと見える、又ポーランドは同條約參加に難色ある露佛兩國としては同國を參加せしむる事を最重要としてゐるので、フランスはこの際更にポーランドに壓力を加へ右條約に加入せしめんとして居る、尤もフランスはソ聯が聯盟に加入して常任理事國の位置を與へられる事が確實となればポーランドに對し常任理事國たらんとする要求を撤回するやう勸誘しソ聯の進出に盡力するものと見られてゐる

〝御苦勞さま〟【新京發】大橋滿洲國外交部次長は一年二ケ月に亘る北鐵讓渡東京會議より十九日歸京した、寫眞は驛頭に出迎の謝大臣（左）と握手する大橋代表

外交、交通兩部主催　大橋代表歡迎會　廿日夜新京ヤマトホテル

【新京二十日發國通】謝外交部大臣、丁交通部大臣共同主催の大橋代表以下隨員一行の歡迎宴は二十日午後六時半からヤマトホテル大食堂にて盛大に催された、この日外交部交通部以下各部の首腦者多數參集一同着席するや先づ丁交通部大臣より大橋次長以下一行の歲餘に亘る奮鬪に對して慰勞の挨拶あり特に

滿洲國は交渉の當初より終始誠意を以てこれに臨み廣田外相の提示せる仲介斡旋に就ても我が滿洲國財政の現狀としては極めて過重な負擔であるにも拘らず東亞平和の大局的見地より承諾の考慮を拂ふ努力すら拂つて來たが之に對するソ聯の態度は極めて誠意なく交渉は停頓の狀態に成立に至らなかつた事は眞に遺憾とする處であり由來ソ聯の外交は所謂遷延主義であつてソ側代表も交渉の當初より家族を會商地たる東京に帶同し來つて事等ソ側の意の存する所は明かである、この間我が大橋代表は年餘に亘る交渉開催の間彼をして奸策の餘地なからしめ充分に我が滿洲國の外交の宣揚に努められ來つた事に對しては衷心より敬服と感謝の意を表するものである

と述べ之に對し大橋代表より今回の引揚げに對し斯くも熱誠なる歡迎を受けた事は眞に感慨の極みで玆に一行を代表して衷心感謝の意を表するとの答辭あり次いで簡單に讓渡交渉に關する經過を說き述ぶる處あり盃を擧して午後九時過ぎ散會した

林陸相報告　滿ソ國境の諸事件

【東京廿一日發國通】二十一日の定例閣議は午前十時三十分より開會、林陸相は最近滿ソ國境に於いて種々の事件が頻發し憂ふべき情勢に置かれてゐるから何とか打開して行かねばならぬと考へてゐるので最近に起つた事件の內容と情況とを綜合的に報告したいと前提し、左の如く報告した

滿ソ國境に於いては最近數ケ月の間に二十四件の事件が發生した、之を地方別にして見ると東部國境で十五件、西部國境で四件、黑龍江方面五件といふ狀況である、勿論事件の內容は大して重要性を持つてゐるものではないが斯くの如く問題が頻發する事は兩國國交上に惡影響を齎す惧れが充分あるから誠に困つた事である

次いで之に關聯して大角海相より滿ソ國境に於ける事件の頻發は誠に困つた事であるがカムチヤツカ方面に於ける漁場は例年に比して極めて平穩である旨報告した

ソ聯の滿洲領侵略　不法侵入事件の續出

【新京電話】ソ聯の滿洲國領土不法侵入が頻發し滿ソ國境に一大暗影を投げて居る折柄東部國境方面に於てソ聯の惡辣なる領土侵略が暴露され由々しき大問題を惹起せんとしつゝある、發生地はポグラニチナヤから黑龍江に沿ふ烏吐河の沿岸東寧を距る三四十里の地點、滿ソ國境に於いて本年四月頃同地に二十五年來居住して居る山東人農夫叙興起の住家にゲ・ペ・ウの隊員が來り此處はソ聯の領土であるから即時立退き方を嚴命したが叙は滿洲國の領土なる事を認識して居つたゝめ依然として農業を續けて居ると再びゲ・ペ・ウ下士官七、八名が來り三日以內に立退かなければソ領に引致し強制勞働に從事せしめるから覺悟せよと云つたので叙は之に驚き本年七月頃烏蛇溝部落に引揚げ前記の事情を同地の自警團長に報告したので滿洲國官憲が現場に赴き取調べの結果叙の居住して居た地點にはコルホーズが移住して居たので早速撤退を嚴命したところコルホーズは漸々撤退した事件があり滿洲國側では極度に憤慨して居る

滿鐵ダイヤ改正案　きのふ重役會議可決

滿鐵定例重役會議は二十一日午前十時から正副總裁以下山西、竹中、河本、山崎、佐々木、宇佐美の各理事、石本總務、市川經理各部長、清水鐵道部次長等參集のうへ開かれ午前は滿鐵のダイヤ改正案を可決のうへ午後二時から會議を續開し社宅增築の件その他を可決して同四時三十分散會した

中間驛に七十戸　滿鐵社宅增築

在滿邦人の人口增加に伴ひ大連、新京、奉天等の主要地に住宅難を來しつゝあるこの現象は從來空家が多くて持て餘してゐた中間驛附屬地にまで漸次波及し、最近では各地とも全然空家札を見ないといふ前例のない狀態となつた、この結果滿鐵も沿線社宅に窮しながらも借家を手に入れることが出來ず現在では遼陽に多少の調節家屋と稱する萬一の場合に備へる空家を有する以外に全然餘裕を失つてしまつた、これがため昭和九年度社宅計畫は二回まで更正追加したが最近超スピード列車の運轉その他の列車運轉回數增加に伴ふ機關區員および保線區員の定員增のため三度九年度新築計畫の擴張に迫られるに至つた、然るに本年度の滿鐵事業費豫算は滿鐵創業以來の巨額に達したので絕對に追加豫算を認めざる建前をとり各部に嚴達してゐる手前、ひとり社宅のみに追加豫算を認むべきや否が問題となつたが沿線從業員の住宅がない事は殆ど絕對的であるとして二十一日午後の重役會議に於いて經費三十萬圓の豫算で獨身宿舍一棟（四十人收容）社宅七十戸を次のごとく建設することに決定した

	獨身宿舍	社宅
大石橋	―	一六
瓦房店	一	―
蘇家屯	―	二〇
鷄冠山	―	一四
安東	―	二〇
計	一	七〇

なほこの追加社宅は結氷期までに完成の豫定なので二十一日重役會議後直に關係各事務所に對して建築命令を發した

首相局部長と懇談　招待午餐會

【東京二十一日發國通】岡田首相は從來行はれなかつた各省局長と總理大臣との直接接觸の機會を設け面識を深くする一方各省局長より種々抱負經綸を聽取し、一致結束國難克服に邁進すべく先づ二十二日正午外務省の桑島東亞局長を始め各局部長全部を招待し午餐を共にしながら懇談を交すが、之を手始めに二十五日內務省二十七日大藏省二十九日陸軍省の順でそれぞれ午餐會を開く豫定で他の省も引續き招待する筈である、而して岡田首相の今回の企ては從來必要を痛感しながら行はれなかつたもので新例を開いたわけである

林陸相語る

【東京二十一日發國通】閣議散會後林陸相は左の如く語つた

今日滿蘇國境の事件を報告したのは最近餘り頻發するのでその內容を報告したものであつてこれに對して如何なる方法を執るかといふことは今日の閣議では話はなかつたけれども此の事實に對しては陸軍省として積極的にどうといふことは考へてゐないが外務省から何かすることがあるかも知れない

アジア獨立協會發會式

【東京二十日發國通】印度三億の民族に漲る獨立氣運は近年大アジア主義の勃興に從つて拍車をかけられ、日本在住十數年の印度志士ラスビハリボース氏は印度民族獨立と大アジア聯盟確立を目的として頭山滿翁、堀內中將、山岡萬之助氏等を顧問に、代議士辯護士等を中心としてアジア獨立協會を組織し二十五日日比谷松本樓に發會式を擧ぐる筈

警士採用試驗

【東京二十日發國通】滿洲國警士を日本の青年中より募集する事となりその第一回の採用試驗が九月二日より第一、二、七、八、十四の各師團管下聯隊區司令部指定の場所で行はれる事となつた

資格は年齡二十二歲より二十七歲迄教育程度は在鄕軍人、學校教練終了者又は青訓終了者で採否を決するのは九月二十五日頃の豫定である、なほ十二月末には第五、六、一〇、一二師團管下で又明年二月末には第三、四、九、一一、一六師團管下で夫々第二、第三期の採用を行ふ豫定

南京軍官學校教官

南京中央軍官學校教官ドイツ人ク

三井家の財產　どれだけ有るか　氣を揉ませる查定

【東京二十一日發國通】日本財界の大御所たる三井王國宗家高公氏の相續財產の申告書がこの程稅務署に屆けられたが、相續稅は重大なる國家財源の一つなので當局は玉手箱を宜しく開けて見ると一億七千萬圓と書いてあつた、斯の如く多額に達するとさう簡單にはゆかず所轄稅務署は勿論東京稅務監督局まで應援して三井財產の查定に着手し、吏員は汗だくで八方に飛んでゐる、三井財產が申告額通り一億七千萬圓としても今度の新稅率に依つてその稅金は二千二百萬圓となり相續稅の日本新記錄である、大藏省でも豫算編成期に當り金秤だけでも大變と查定を督促してゐるが、大藏省許りでなく日本一の金持の金庫の底が世に出るといふので財界も一般サラリーマンも相當氣を揉んでゐる

ルト・スペーマン氏は二十一日入港の長平丸で來連星ケ浦ヤマトホテルに投じた

星ケ浦のことをかねて聞いてゐたので休暇を利用して北支旅行の途立寄つたのです、四五日滯在して青島から上海と廻つて南京に歸ります、滿洲國ですか？隨分發展してゐるやうですねと多くを語るを避けた

八相　驛と電車　希望生

◇驛の改築設計はどう、場所はどこに、大大連市は滿蒙の表玄關だ、體面上今のざまでは寒々、話題になつてから何年か何十年か、作りかけては捨てたりして今日に至つた。

◇理想的な驛を建てらるゝ話を聞くとうれしい、うれしかつたがいつも實現しなかつた。

◇私達は理想的な立派な驛がほしいが何年待てば出來ることやらそんな嬉しがらせを待つてゐるゝやうなのんきさがなくなつた、現在今日の問題だ。

◇傷病兵の出迎へに夏家河子の海水浴にあの日本橋を渡る毎に不便な驛だなあと思はぬことがない、驛にゆく人々の心の中は誰しもさう思ふことだらう。

◇靜ケ浦の海岸に電車が出來た一年のうち二、三十日しか使用し得ぬところにさへあの通り便利に出來るのに、寒い冬、暑い夏を通して旅行者の不便を感ずる驛にどうして電車が通ぜぬのか不思議でならない。

◇大連驛前に電車が通ぜぬなら沙河口前にでも通して見たらわかる大連の大部分の人は便利な驛から昇降することになるだらう

◇今の大連驛前に電車を通ずるか、又は信濃町の電車に近く驛の假プラットホームを作るか、沙河口驛に電車を通ずるか、何れもつともみんなが便利になるやうに一日もはやく實行して戴きたい。

（五十行以內）

後場市況（廿一日）

株式　諸株弱保合

內地後場諸株共ボンヤリを入れ五品新豆一、二十錢安、新東二十錢安日產三十錢安土木四十錢安に大引

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	二三九	二三二
中	―	―
引	二三九	二三一

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二三九	二四〇	二三九	―
新豆	二四三	二四三	二四〇	―
錢鈔	二三七	二三七	二三七	―
氷新	一三六	一三六	一三六	一三六
大新	九二	九二	九二	―
東新	一四八〇	一四八〇	一四七九	一四七九
鐘新	一三一〇	一三一〇	一三一〇	―
滿鐵新	―	六八四	六八四	―
滿鐵二新	一六五	一六五	一六五	―
日產	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
土木	一二五	一二六	一二五	一二五
電々	一七	一七	一七	―
電乙	一四六	一四六	一四六	―
朝取	二六五	二六五	二六五	―

◇鞘取引

滿興 二七二　撫順窯業 一四八 一五〇

鈔票保合

後場材料薄で氣乘らず閑散裡の保合であつた

◇定期（單位錢）　寄付 高値 安値 大引

期近 [illegible]　出來高 七十八萬圓

◇現物（單位錢）　銀對金 銀對洋 金對洋

一時 [illegible]　二時 [illegible]

出來高（銀對金 二十三萬五千圓　銀對洋 一萬三千圓）

商品

商品後場 出來不申

奧地市況

奉天奉票對金票 [illegible]　奉天國幣對金票 [illegible]　同 先限 [illegible]　奉天國幣對鈔票 [illegible]　新京國幣對金票（休み）　哈爾濱國幣對金票 [illegible]　安東鎭平銀（當限 先限）[illegible]　哈爾濱大豆（九月 十月）[illegible]　哈爾濱小麥（九月 十月）[illegible]

市場電報

株式（單位十錢）大阪（長期）大株 大新 鐘紡 鐘新 日糖 滿鐵 滿新 東新 [illegible]

大阪（短期）大新 東新 鐘紡 日產 帝人 滿鐵 [illegible]

東京（長期）東株 東新 [illegible]

東京（短期）東新 鐘新 日產 滿鐵 二新 [illegible]

豆（當 中 先）[illegible]

期米　大阪 神戸 東京（寄値 引値）當限 中限 先限 [illegible]

大阪綿糸（單位十錢）八月 九月 十月 十一月 十二月 一月 二月 [illegible]

橫濱生糸（單位十錢）八月 九月 十月 十一月 十二月 一月 [illegible]

神戸特産　大豆現物 先物　豆粕現物 先物　滿洲小麥 [illegible]

修羅場に描く苦闘 殊勲の現業員ら
慘狀目擊の邦人乘客 忽ち集つた涙ぐましい義金

安東にて　今村特派員發

水害の特殊性

先づ今回の水害は非常に電光的な速かさに特徴が在る、從來も此の地方には突發的な小水害は屢々あつたと聞くが、其の大さにおいて最初の事である、十八日午前六時頃より降り初めた雨は瀧の如き雷雨となつて十一時過ぎまで降り續いた、蛤蟆塘河の増水を見かけたのは午前九時頃からで同十一時頃は最高五米に達し漸次減水を始めたのである畑、家屋、鐵道線路等凡ゆるものを水浸しとし午後三時には路線が現れる程に減水し午後六時頃には河川の部分にのみ減水してしまつたのである、此の増水減水のテムポの速かさは古今未曾有と云つていゝ位で實に一種の神秘をさへ感ずるのである、増水の最高潮に於ては並木、人畜、家屋電柱、畑作物等地上の總てのものを押し飽し押し流したものが、短時間の後には嵐の後の靜けさそのまゝに濁流が悠々と河面を流れて居るのであつた、其處には押し飽された河岸の老柳樹、畑作物電柱等の殘骸が横はつて居り一方山の線が雨後にクッキリ浮き立ち濁流は暗雲低迷する天空と奇妙な對照をなし、線の太い一幅の畫を思はせるものがあつた

眼を蔽ふ慘狀

鐵道復舊工事その他應急修理に要する人夫は十八日中は百數十名しか得る事が出來なかつた、十九日午前一時頃に至つて漸く三百名位の補給を安東方面よりする外、本溪湖方面からも數十名の補給をし十九日は約五百名を動員する事が出來た、この人夫補給が意外にも思ふ樣に出來ず延いては復舊を遲らせたと見られる原因に安東自身の水害が數へられて居る、安東自身人夫を多數必要とした、又この復舊工事の苦心は從事員の食料缺乏といふ事に現はれた、安東からの補給充分ならず滿人農家を廻つて粗末な食糧品によつて充てればならない狀態であり係員の努力奮闘は實に涙ぐましいものがあつた、これについて滿鐵神谷保線區長、八町安東保線助役は語るのである

第四橋梁が惡くなつた時直に救援列車を編成すればよかつたのだ、それが少し遲れたため土砂が線路を埋め急救材料補給の道が斷たれた事は今度の重大な失敗であつた、これ等はこの安東附近の事情を充分知らなかつたといふ事から來たものである、今回の天災によつて我々は教へられるところが非常に多かつた

單にこれのみでなく十八日第五列車の立往生事件によつて知られた蛤蟆塘驛には別な溫かい挿話を生んだ、失敗と共に即ち五列車は出來るだけ前進せしめよとの方針の下に蛤蟆塘まで來たものゝ、これより先の蛤龍第四橋梁の傾低によつて前進不可能となり安東へ引返さんとした時は、安東より約七キロ附近に土砂崩潰路線上に大山を築き後退不能となつたものだ、水勢は益々増し車輪を浸するに至り邊り一面濁流の海と化した、時に乘客三百餘、小出驛長以下の心勞は尋常でない、食料の給與其の他に忙殺される、一方宿舍の浸水激しく妻子の危機さへ考へらる狀勢に在つた、濁流に浮ぶ滿人家屋は無數だ、屋上には救ひを求むる滿人！之等を見た立往生車中の人は讀賣新聞主催滿鮮視察團百名を主體に讀賣中島與七、安東刀劍商高橋劍童氏を中心に救恤金が募られた、忽ちにして百八十圓、この上に東京下谷區「紫子供會」より二圓出されるなど涙ぐましい義捐が行はれた、悲慘事を目前にして日本人の美しい民族性が滿人への深い同情となつて發露したのだ、斯くて無事午前八時よりの立往生も午後十時三十分安東へ引返すことが出來たのである

殊勲の現業員

驛員は當時の模樣を述懷して語る

◇……◇……◇

附近三十戸の滿人農家はブク〳〵浮き流れるし一方列車の立往生について責任は重い、然し只一つ三百の同胞と此の邊陬に共に居るといふ事は何となく強味を感じた、そして妻子の水害危機を考へなかつた事は今思へば不思議な位である

といふ、古く強く見ゆる安奉線の路床が脆くも餘りに多く潰滅して居る慘狀には意外の感に打たれたが、一に地盤が砂地である事と未曾有の洪水だつた事に由るものと考へらる、然し今回の如き大事故が一晝夜と少しを以て不完全とは云へ列車運轉を見るに至つた事は、一に安奉線の重大使命とそれを自覺せる滿鐵當局並に從事員の獻身的努力によるものである事は明かである

之を京圖線の水害事故による久しき不通に比べると、其の交通量の多少に拘らず、使命の同じき鐵路として復舊日時の運かつた事は其の原因追求を要するものと考へられる、技術水準の低い事その他色々原因はあらうが安奉線蛤龍第四號橋梁の破損を見た時「復舊十九日午後三時の豫定」を信ずる事が出來ない程慘澹たるものであつた、それが豫定通り運轉開始の運びに至つたことは當局者の自信を再確認するに値するさ考へられる

（寫眞は安東領事館における水害救濟會議）

寫眞　上　六道溝水源地の應急修理工事　下　流失した六道溝通り桃源橋

匪賊討伐に新戰法 遊擊隊の組織成る
海城縣の工作一進展

【大石橋】海城縣公署においては直面する高粱繁茂期大小匪賊橫行の季節に鑑み治安の確立民心の安泰福利増進の天業に向ひ鋭意對策を講じつゝあるが最近縣內匪賊討伐の新戰法として縣遊擊隊の組織を見縣下を縱橫に疾驅しつゝありて民心をして彌が上に平靜樂業に誘致しつゝあり遊擊隊は騎馬、自動車隊、トラック隊、オートバイ隊、步隊を以つて編成され警務局藤田指導官を初めとし池島、楡井中平各指導官各々分掌指揮に任じ大活動を開始した、之れが爲め萬一を慮つた全縣下より城內に陸續として避難しつゝありたる農民は避難を中止したるのみならず反對に陸續として歸村し安心農業期收穫戰に邁進すると云ふ好兆を呈してゐる、民衆の噂を綜合すれば高粱の繁茂期に策動を開始せんと計畫したる大小匪賊共精銳にして實力ある遊擊隊の活動に恐怖し先を爭う縣外に逃走した

三勇士の記念碑
近日中に工事に着手

【四平街】昭和七年十月十七日より十九日に亘る下三臺に蟠居せし匪賊掃蕩の際壯烈なる名譽の戰死を遂げた故北原憲兵曹長、米谷歩兵上等兵、溫自警團員の偉大なる功績を讃へこれを末世に傳ふべく當地時局後援會、在鄕軍人分會並に梨樹縣公署發起となり豫算一千二百圓を以て現地に記念碑建立を企て目下寄附金募集中であるが既に應募金豫定の大半に達したるを以て當地田中政吉氏請負の下に近日中に着工、十月上旬工事落成、十九日の三週忌に當り盛大なる除幕式を舉行する豫定であると因に右記念碑建立は既に昨年一週忌の追悼會當日各關係者の諒解を得て決定せるもので之れが經費も北原曹長に對する弔慰金縣公署の二百圓と憲兵隊關係の百五十圓、合計三百五十圓は既に積立てあり後八百五十圓の內三百圓を縣公署並に滿洲街附屬地兩商務會より五百五十圓を一般市民の寄附に仰ぐものである

掃匪部隊歸鐵

【鐵嶺】去る十六日縣下第八區大臺村に於いて匪賊と遭遇、激烈な戰鬪を交へてこれを擊退したる中村智全指導官以下の警察隊はその後も第八區管內各所を掃匪しつゝ十九日歸鐵したるが大臺村激戰匪團の逃走後附近一帶捜査の結果死體八、多數の武器彈藥を發見鹵獲して來たと

誘拐男捕はる

【奉天】香川縣丸龜市生れ畑中大吉（二〇）は去る五日朝鮮慶尙南道居昌郡料亭さつまや藝妓玉千代こと松田しづえ（二五）を言葉巧に誘拐し奉天方面へ逃走したのを居昌警察からの移牒により奉天署で捜査中加茂町十六岡本清方に潜伏中を手島刑事に取押へられ身柄は二十日午後二時四十分新義州署へ押送された

又畑中に言葉巧みに連れ出され前借六百圓を踏み倒した松田しづえは京釜線龜浦向島土木請負業宮田方に居住してゐる事を自白した

妓女檢黴實施
九月一日と決定
二十日協議會の結果

【奉天】亡國病と稱せられる花柳病傳染防止のため、瀋陽警察廳衛生科では奉天全市（附屬地を除く）に散在する滿人妓樓の妓女に對し檢黴制度を實施すべく、屢報の如く市政公署はじめ關係各箇所と相互研究する一方、各滿人樓主代表を招き懇議の結果、何れも快諾を得たので愈々最後的具體案を練り、二十日午前九時より同廳に……

議の結果愈々來る九月一日より右制度を實施することに決定した右は九月一日から北市場、南市場、工業區に在住する一九六三名の妓女に對し當分毎月二回左記醫院に託して施行するもので彼女達に正しき認識を與へるため、當分は嚴重なる取締りをなさず、漸次診斷の回數も増加する方針である

然して最も問題とする之に要する費用は、現在市政公署においても……の設けもないので、合議の結果妓女及樓主の負擔を最少限度に切詰め樓主は一ケ月一圓、妓女は一回の診斷費二十錢（一ケ月當分四十錢）とすることになつた、而して診斷の結果不良なるものはその輕重により通院と入院に別け、その間は一切當該妓女の營業停止を命じ監視をする筈で入院者は業者の希望によりて定めた左記病院の何……

その費用は一日一元（食費二回、治療費を含む）とし特に高價なる注射料、手術料等は一般患者に比し半額とすることになつたが治療費は樓主六分、妓女四分の割合である

右制度は奉天市と相前後して瀋陽縣下各地においても近く實施する筈であるが、何分にも何百年來の傳統を破つて初めて實施されるものだけに、妓女の中には極度にこれを嫌ひ、書間他人の前に恥を曝す位なら廢業か、沿線各地に仕替へしたいと異議を申し立てるものも相當あり、之等は勿論自前の者のみであるが、借金を有するものは仕方がないと諦めてゐる模樣で異狀なく實施されるものとみられてる

尙診斷所並びに醫師は左の如く決定

北市場松崗醫院（松岡倍七氏）

南市場秋農醫院（苗秀新氏）

可愛い誠心
銀紙運動愈々白熱化

【大石橋】我滿洲日報が全滿各地一の可憐なる少年少女達に呼び掛けて國防獻金を爲すべく毎日捨てられ行く煙草やチヨコレート類の銀紙蒐集を敢行しつゝあるが其の成績は輝かしい銀光を放つて到る所の銀紙箱に充滿しつゝあり、大石橋に於ては本社支局事務所前憲兵隊前通りに設置したが毎日可憐な少年少女、坊ちやん孃ちやん迄が毎日一度は入れねば承知出來ぬ眞劍振りを見せて居る、小學校開校と共に小學校々庭、中央通り驛前等にも設置して少年少女達の便宜を計るべく計畫してゐるが支局前の箱は今日で二はい目と云ふ素晴らしい成績である、子供への宣傳は又父兄に迄傳はり某氏の如きはわざ〳〵劇場ハネ時刻を待つて捨てられたる銀紙を集め明日の子供の行事を應援して居る事實もある（寫眞は大石橋銀紙箱）

滿鐵都市對抗野球 奉天以南豫選
二日間瓦房店で開く

【瓦房店】本社主催九月中旬大連滿倶球場において開催すべき全滿鐵都市對抗軟式野球大會に出場すべきチーム奉天以南豫選試合大會は瓦房店小學校グラウンドにおいて三日間

開催

決戰する豫定であつたが三日間開催すると各地の選手は往復日數を加へて四日間を費す事になる斯くては社業に支障を來す虞ありとて二十六七の兩日決行する事に變更した

廿六日は午前七時半小學校々庭奉安庫前に選手一同約一百名整列君が代合唱裡に國旗掲揚式を嚴肅に行ひ少年團の團杖を潜つて武運の長久を祈り公學校の音樂隊を先頭に隊伍を整へ威風堂々グラウンドに入場、ダイヤモンドを一周本壘前に整列、中根會長より訓詞を受け會長の始球式に始まり直ちに試合に移る豫定となつてゐる

今回の競技は全滿に興味の中心となつてゐるだけに各都市共に粒撰の精鋭を網羅した花形揃ひ晴れの檜舞臺の榮冠果して何所が獲得するか地元瓦房店各チームに於ても

必勝

を誓ひ炎天を征伏して高鳴る血潮手に汗を握りユニホーム姿勇ましく猛練習を續けているが、當日は各地の各チームの應援物凄く大激戰を演ずる模樣にて瓦房店始まつて未曾有の競技、觀衆山を築く盛會が豫想されてゐる

都市對抗野球 大石橋チーム

【大石橋】滿鐵運動部の持つスポーツ中全滿的に人氣の焦點となるものは全滿都市對抗の軟式野球試合で今や近づく檜舞臺の爭霸目差して各箇所各チーム毎に猛練習が續けられて居る、來る二十六、七兩日に亘りては南部（奉天、遼陽、鞍山、大石橋、營口、瓦房店、普蘭店、大連）の選手チーム豫選戰を瓦房店に於いて開始すると云ふが大石橋の出場チーム顏觸れ左の如く本日發表された

代表伊東正、監督三田泰吉、主將五百崎敏夫、1道具政雄（機）2鈴木日吉（消）3若林新一、4池田嘉二（列）、5森永宗一郎、6横關夏夫（機）、7五百崎敏夫（機）8勝原祥夫（機）9大迫繁雄（驛）、補缺廣兼、津田、菊田、迫田、川口、原

壯年勝つ
營口青壯庭球

【營口】營口庭球協會の年中行事の一つである青年對壯年者の對抗試合は十九日午後一時から旭公園コートで行はれた、來る二十六日は既報の通り選手權大會を控へたる事とて當日の試合の物凄い事互に妙技を發揮して戰ひ結果第四回戰にて壯年組の勝利に歸した

第一回戰

青年	スコア	壯年
福井・磯田	4—0	杉崎・濱高家
渡邊・高木	4—3	長島・大橋
飛永・佐賀	4—1	樋口・藤崎
飯島・大竹	1—4	西方・青山
薗田・口羽	0—0	石元・海野
石森・野本	4—3	河野・片田
飯谷・曾我	0—4	計良・齋藤

第二回戰

青年	スコア	壯年
水尾・金木	0—4	小井澤・飛永
下山・野本	2—4	村木・長倉
佐賀・坂井	0—4	藤永・松島
福井・磯田	4—0	西方・青山
渡邊・高木	4—1	石元・河野
飛永小・佐賀	棄權	計良・齋藤
石森・野本	2—4	小井澤・飛永
不戰勝		村木・長倉
不戰勝		藤永・松島

第三回戰

青年	スコア	壯年
福井・磯田	2—4	小井澤・飛永
渡邊・高木	4—0	村木・長倉
飛永小・佐賀	1—4	藤永・松島

第四回戰

青年	スコア	壯年
渡邊・高木	2—4	小井澤・飛永
不戰勝		藤永・松島

壯年一組を殘して午後六時終了した（寫眞は選手一同）

遼陽軍優勝
州外軟式野球

【遼陽】奉天日日新聞主催の州外軟式野球大會に遼陽軍は松原、灘正副監督、小倉、樺山正副主將引率で應援團と共に十九日朝遼陽發列車で出場したが第一回戰に全蘇家屯軍を血祭りに第二回戰は鞍山軍を破つて準優勝戰の資格を獲得撫順古城子と戰つて決勝戰となつたが對手は醫大グラウンドで優勝した全撫順軍であつたが六對四のスコアーで遼陽軍に凱歌揚り主催者より優勝旗、メダル、賞品を授與され同夜十時十二分着列車で歸遼、驛頭には多數ファンの出迎へあり、翌二十日午後六時より應援團主催で滿鐵社員倶樂部において選手の慰勞會が催された

リーグ戰順延

【營口】營口滿日支局主催の滿實滿三巴の野球リーグ戰は十九日の豪雨でグランドが水浸りこれを乾燥すべく人夫を入れて排水し手配をして居る其の爲め二十一日の滿實試合は二十二日行ふ事になつたが併しこれも降雨のない限りで萬一降雨の場合に改めて試合日を決定することゝもなつた

使ひ込み監督

【奉天】原籍東京生れ松島町十二土木請負業關林今朝太郎方通稱康之事川合金三（四二）は昨年の五月より關林方現場監督として働いてゐる中、いつしか柳町橋乃家抱へ醜婦マサ江に現を抜かし取引先からの集金一千四百圓を横領マサ江につぎこんでゐたが、うつり易い男子事尾崎スマ子（二）と熱くなり、政江から五十圓の金を借り今度はスマ子に入れあげてゐたのを届け出に依り捜査中、金三はスマ子をカフエーから退かせ信濃町五にて愛の巣をかまへてゐた事を探知され十九日午前十一時奉天署津田刑事に發見逮捕された餘罪を取調中である

對學生劍道戰
州內聯合を組織

【奉天】學生劍道聯盟の猛者三十名を迎へて武德會奉天支部では來る二十四日秋町滿鐵道場に於いて對抗試合を舉行するが、奉天軍は州外の雄遼陽、蘇家屯、鞍山、本溪湖、鐵嶺の各聯合軍を組織これに對する事となり、目下選手銓衡中であるが、學生聯盟に對し州外軍が何處迄喰ひ込むかゞ興味の中心とされてゐる

營口の豪雨
坪當り六斗四升

【營口】十九日は早朝から曇天定まらず焦熱を感じ殘暑の値打が十分であつた午後九時頃から沛然として降りしきり雨量三十五粍三、坪當り六斗四升の降雨で雨洩り浸水は相當あつた模樣で營口近郊の田畠は一面の水田と化し農作物に多少の損害を與へた

大石橋署定召

【大石橋】大石橋警察においては二十日午前九時より管內各派出所を網羅して本署に定期召集を催した定刻點檢操練に始まり振武館において左記警察官に對し關東廳精勤證書の授與式をなし終りて三浦署長より直面せる高粱繁茂期に對する警備警戒の細目に亘る指示があつた精勤證書を授與されたる者左の如し

巡查西澤茂富、巡查白石武夫、巡捕趙松年、巡捕于長江、巡捕朱英其、巡捕中富龍、巡捕安昌奎、巡捕鄭養順

會と催し

◇旅順市長招待市會議員慰勞會　二十日午後七時から點亭で

◇公主嶺滿鐵家庭慰安映畫の夕　十八日午後七時から公會堂で

◇鐵嶺縣商務會長嚴佐臣氏母堂葬儀　二十一日北門裡の自宅で

各地人事

▲執行兼種氏（新任鐵嶺郵便局長）二十日午後四時はさて着任

▲下山恭次郎氏（鐵嶺輪組理事）家族同伴歸省中のところ二十日歸鐵

▲大塚良治氏（鐵嶺電燈局長）北滿出張中のところ十九日歸任

▲沖彌作氏（遼陽地方事務所長）赴連中の處十九日午後歸遼

▲讀賣新聞社主催觀光團百二十名　二十二日來旅

▲下關中學校生徒七十名　同上

▲門田賀氏（關東廳衛生課勤務警部補）十八日警部に昇進、新京署勤務となり近く赴任の筈

▲小林慶三氏（警部補）門田氏の後任に決定

▲石井忠一氏（大石橋驛長）羽田前鐵道部長見送りのため十八日大連出張中のところ二十日歸任

▲川西重作氏（同機關區長）同上

▲林惣太郎氏（同保線區長）同上

▲愛甲直剛氏（大石橋電燈專務）社務打合せのため二十一日瓦房店へ引續き大連本社へ出張二十四日頃歸任の豫定

▲井上中佐（獨歩第〇〇隊長）事務打合せのため出奉中のところ十九日大石橋歸任

▲丹波瀨基氏（歩兵中佐新任旅順工大服務）二十日大石橋着二十二日はさて任地に向ふ筈

▲坂口芳之助氏（歩兵少佐新任獨歩〇〇隊附）同上はさて任地へ

▲鈴木謙三氏（歩兵少佐、新任大連一中服務）同上はさて大石橋發任地へ

▲飯島重助氏（歩兵中佐、新任南滿工專服務）同上

家庭

辯護士をめざす〝女性鬪士〟に
健氣な抱負を聽く
わが國で最初の「女法學士」
神明高女出身の 赤羽美智子さん

日本で最初の女法學士であり現に母校東北帝大の法文學部助手として刑法の研究に專心してゐる赤羽美智子女史(二十六歳)は大連神明高女の第十回卒業生で、夏休みを利用して久方振りにその兩親や弟妹たちの住む大連へ歸省中です。一日記者は赤羽女史を攝津町大連消防本署隣のお宅に訪ねました。お手製らしい木綿格子縞のワンピース姿でいとも氣輕に取次に出たふくよかな若い娘さん――その人こそ、いかめしい理智一點張りのインテリ女性を想像してゐた當の美智子女史であつたここに記者は先づ驚きとよろこばしさを感じたのです。(カットは赤羽美智子さん)

無知な同性のため
待ち遠しい 辯護士法改正

女學 校時代は別に何といふ目標も無かつたんです。目白の英文科へ入つて英文學を學ぶ時分から漠然と法律を一通り學び度い希望を持つやうになり卒業すると東北大學の英法科へ入りました。

もありましたが皆文科の方で法科は私一人。全く最初の女法科生だつたものですから先生方から唯物好きだ位に扱はれましたけれど、私が本氣で法律を勉強するのだとおわかりになつてから特別に親切

うやら男の方並に卒業させて頂いたばかりでなく一昨年卒業同時に研究室に殘つて好きな研究をつゞけることの出來るのを非常に感謝してゐます。でも

專門 に法律をやるやうになか〳〵部門が廣くて、何も彼も深くなんてことは夢にも望めないことだつていふことがわかりました。私の希望としては將來出來るならば辯護士になつて少しでも同性の方のお力になりたいと思つてをります。しかし婦人關係の刑事問題なんていふものは純然たる刑法の分野に屬するものは極く稀です。一般婦人方の幸福や權利等を確保するにも民法上の知識が一番緊要なやうですから研究室では刑法が專攻ですけれど

民法 の方面も出來るだけ勉強したいと思つてゐます。女の辯護士ですか?アメリカやドイツには大分多數ゐるやうですが大抵は同じ女性として同性の爲にずゐ分よい仕事をしてゐるらしいのです。日本では未だ女の辯護士といふものは法律で許されてゐません昭和十一年度には辯護士法が改正されて女もいよ〳〵なれさうですが十一年の實施期が來なければ辯護士試驗を受けやうにも受けられませんし隨分待ち遠しいことです現在女で法學士の稱號を持つてゐるのは二人だけですが最近明大の法科あたりにも大分女の方が入つていらつしやるさうですし、いよ〳〵辯護士法でも改正される時分には相當女辯護士の

志望 者も多いことでせう女だからつて別に男の仕事の領分に入つていけないといふことはありませんが、矢張り殺伐な沖仲仕の騒動や坑夫のストライキなどを扱ふより、同性として、殊に現在男性に比し遙かに不利な立場にある女性、又殆ど法律上の知識の無い爲にとんでもない犯罪をおかしたり、あがきのとれない不幸の淵に陷らうとする無知な女性のために、有力な女の辯護士がどん〳〵出て下すつたらと願つてゐます。

・・・・・ガラスびんのふた　ガラスびんの堅くしつかりしてあるふたを取らうとする時には手がつるつるすべつてなかなかうまくとれないものですが、紙やすり(サンド・ペーパー)でおさへて開けてご覽なさい。

三四年・秋の洋髪二種
華かな装と輕装に

家庭顧問
家庭の平和のために
避妊の民法はありませんか?

國法に於ても許されぬ
御再考を願ふ

〝無軌道的天候〟
今年の雨量例年の約四倍!
〝濕度〟と人體の異變

滿洲の各地を暴れ廻つた今年の無軌道的な天候は遂に安東方面にあの慘状を描き出したが、大連若狹山觀測所の發表するところによれば、一、二、三、四、五の五ケ月間は

平年 と殆ど變りのない天候で雨量等にもさしたる特異性がなかつた、だが六月に入つてからは全く狂ひ出して平年四四・二ミリの降雨量しか見ないのに今年は一七七・八ミリといふ降り方、七月は一四五ミリ、八月は十九日までで既に九十一ミリ降つてゐる。今年は内地、滿洲ともに平年のやうな氣壓の配置にならず、内地では一足飛びに梅雨期にもかゝはらず梅雨明けのやうな配置になつてしまつたために各地で空梅雨の狀態を演出してしまつた、日本内地の梅雨に大きな影響を持つてゐる揚子江の低氣壓が殆ど發生せず、却て

黄河 の流域には六月になつてから度々低氣壓が起りそれが滿洲を襲つて、平年ならば五日位しか雨天は無いのに實に十二回にも亘つて激しい降雨があつた、これが量においては平年の約四倍に相當して居り二十ミリ以上降つた日がその中五日もあつた、鏡ケ池に死體を流し出した日などは五〇・二ミリも降つて居り、これは大正五年六月五日の六十九ミリ以來の降り方で單時間に降つた量から言へばこの六月五日のレコードをも超過してゐた、大正五年六月五日の一番多く降つた時間四時間と本年六月二十七日の

最高 降雨時間四時間とを比較すれば三六・一ミリ對三七・四ミリで今年の方が一ミリ餘多かつたわけである、七月は平年よりは稀少かつたが八月に入つてからは月の半までの狀態では又遙かに平年を超過してゐる、ところでこんなに激しく雨の降つた年には人間の體に一つの異變を起させるが今年の雨と密接な關係で殖えた病氣にリウマチスがあるが、その數は平年の約二倍に達してゐるとは驚いた現象である、降雨が人體にまで影響する譯は大氣中の濕度が降雨によつて非常に高まるからで今年の濕度は五、六、七月とも平年の濕度よりも十パーセント以上も高くなつてゐる。

學藝

美術時評
美術界の〝紛糾〟(上)
横川毅一郎

シエクスピアの豐富な暗示

防戦
◇ドラクロア作(一八三九)

學藝消息

新刊紹介

スポーツ

上海遠征軍戰記（後報）【下】

滿鐵庭球部　太田生

八月十三日 晴　渡邊の熱四十度を上下す、本日太田對郭の第二回戰がある、今日こそ彼の粘りを打ち碎いてやらうと意氣込んでコートに行つたが生憎の俄雨に見舞はれ左記のゲームだけにて中止となり復仇のチャンスを逸す

小寺　六—四、五—六　中止　郭兆佳
志賀・鶴田　六—二、中止　陳・郭

八月十四日 晴　午前十一時より內外綿に招かれ廣大な工場の見學後同コートにてフレンドリイマッチを舉行した。これよりフレンチクラブに驅けつけ三セットづゝのダブルス・マッチを行ふ眼のまわる忙しさだ。

太田・小寺　六—二、六—二　ダツフ（カナダ杯選手）・ベネビッチ
吉田・落合　三—六、四—六　ベリンス・クレーフ
志賀・鶴田　六—二、六—三　ゴーメイ・ターナ
伊藤・山口　四—六、五—七、四—六　ソーセイ・ヅラーデル

此のマッチはセットの總數によつて定める筈だつたので八—四の敗戰となつた。

八月十五日 晴　最後の日だ。今日はアン・ツ・カ（砂に似た特別製の材料にて作つたフランス國專賣特許のコート）のコートだ。林寶華のホームコートのことゝて彼は太田に復仇せんものと決心の色が見えた。支那の觀衆もこれを期待してスタンドを埋めた。先づ小寺對郭兆佳は二人のテニスがよく合ふので美技續出。スタンドの拍手鳴り止まず。第一セットに小寺セットポイントを逸してより郭の球勢定り、此の點が峠となつて小寺は勝利から見放された。

小寺　六—八、三—六　郭兆佳

太田林は眞に一進一退の白熱試合で互にチャンスあり、ベースラインよりの強襲と林のネットワークに最後まで息づまる樣な攻防を續けたが夕暗の爲に一セットオールにて中止となす。

太田　八—十、八—六　林寶華

連日の試合は殆ど豫定の通りすんだ。滿鐵軍の戰跡はスコアの上から見れば決して成功とは言はれぬ。然し乍ら、船の難航、酷暑、始めての草のコート及び副將渡邊君の病氣等の大きなハンデキャップを負ひ更に全支のデイヴイスカッププレイヤにダフ（カナダのデ杯選手）其の他此の地の一流外人を加へた強チームを向ふにまはして戰つたのであるから、此の點から見れば相當の善戰と言ふべく、恐らく內地の大學チームをもつてしてもこれ以上の結果は確實に豫想することは出來まい。氣候の激變はプレイヤに最も大きなハンデキャップを與へ、勝敗の上に重要な役割を演ずる。此點から見て滿鐵チームの奮鬪は實に素晴らしいもので、なほ吾々に對する支那人、西洋人の好感は僕の豫期以上の健鬪をした。特に極東大會の後のことゝて、觀衆の態度等も氣遣はれたが、いさゝかの遺憾の點もなく、彼等はプレイヤと共に一球一打に悲喜交々の有樣であつた。特に觀衆の中に女の多かつたのは近來の支那女性の一つの動向を物語るものである。

上海の日本人について特に羨ましく感じたのは、老年の人々も若い者以上に戶外運動によつて生活を樂しみ、體をきたへてゐる事でこれは外人の影響もあること乍ら大連には見られぬことであつた。運動とか、體の鍛練と言ふことは學生の專賣の樣に考へ學校にゐる間はやかましく外からも氣をつけてくれるが、果して學校出のものに氣をつけてくれるものがあらうか？むしろ運動する者は上からにらまれる位だ、だから日本人は學生時代は斷然體力的にも學生な感じてゐ乍ら、サラリーマンとなると急に老込んでしまふのだ。「良く働き良く遊ぶ」と言ふことは小中學生にばかり必要な文句ではない。近代の樣に仕事が體力、能力を要し、且つ能率的になり、卽座の判斷力、決斷力を必要とする時代に於ては特にスポーツによる心身の練磨が大切だ。これには若いものを考へ込ませない樣に、また自から體の爲にも上に立つ老年の人々が、恰度海外にゐる日本人の樣に進んでスポーツ場に乘りだし若いものと朗かな心持で大いに遊んでもらひ度いものである。さうしたら吾々の最も嫌ふ陰鬱な氣分等大空に吹つとんでしまふだらう。

八月十七日 青島での試合は雨の爲中止。

八月十八日 病める渡邊君と看護の落合君を殘して大連に上陸する。

特別高段棋戰【其八】

平手　先　七段　宮松關三郎　七段　小泉兼吉

【圖は六四歩迄の局面】

▲小泉氏持駒　飛角桂歩歩歩
△宮松氏持駒　金金金銀香歩

△五三銀　▲三三玉
△四四金　▲同歩
△同銀　▲同玉
△四五香　▲三三玉
△四四金打迄
合計九十七手にて宮松氏の勝

土居八段總評　小泉君は序盤に於て種々策を弄して居たが宮松君が堂々と相懸り戰を用ひた爲め小泉君も勢ひ居飛車で對抗することゝなつた、中盤の形勢を窺ふに、小泉君は敵の一六歩を逆用して七筋より攻勢を執つた、その時宮松君は巧に應戰して桂を交換して攻防に努めたので、小泉君としては騎虎の勢ひで七筋より飽くまで攻擊を圖り、九四角と打つて敵陣へ迫つた、此の時宮松君は、穩かに六八桂と打つて凌いで置けば敵は多分指し切り模樣となるのを無謀なる六七金の防手を指し、敵に成角を造らるゝ結果となつて悲境に陷つた、故に小泉君は勝算歷々であつたのを逸し、必勝の局面を敗軍したのは不出來の棋戰であつた。

萩原七段解說　宮松氏の五三銀は同玉なら五二龍、四四玉、四五金、三三玉、三四金、同玉、三二龍の順で詰となる、五三銀で五二龍、三三玉、四四銀、同歩、四三金、同金、三二金、二四玉、一五金でも詰で、この順になつては手駒が多い故色々な詰の手順がある。

日本棋院　春季大手合戰譜（十二局）

先　三段　蒲原繁治　初段　松林茂比古

制限時間各七時間

—【5】—

●八一 ちノ四　○八二 ちノ二
●八三 とノ五(6分)　○八四 りノ二(1分)
●八五 にノ十(11分)　○八六 はノ十一(13分)
●八七 はノ九(1分)　○八八 さノ七(3分)
●八九 かノ六(5分)　○九〇 わノ七(5分)
●九一 ちノ七(3分)　○九二 とノ八(8分)
●九三 ちノ八(4分)　○九四 へノ十(9分)
●九五 にノ十一(3分)　○九六 にノ十二(1分)
●九七 ほノ十二　○九八 ちノ九(10分)
●九九 りノ九　○一〇〇 ちノ十

所要時間累計（白三時三十一分）（黒二時十分）

對局者の言葉　（白）八十二で（へ五）とトビ出すのは、黒（へ四）白（と四）黒八十三と出切つて來られると困る事になつて（へ五）八十五とツゲる事になつて（九）と引けば白（ほ十一）とノビて來られる（ほ十）とノビれば白八十七と突張つて來られますが黒七十四以下の打込みも大した事はないやうに思はれますが——（白）八十六は三十に石があるのでから引くのが形なのです（黒）然し白八十六では九十五とへみる方がいゝやうでした（に四）（白）八十八は（へ五）のツケコシの狙ひなどを含みですが（ち六）に對へ黒（と六）白九十三とトシで行くものでしたか（黒）八十九は此處で一寸白の應手を見たのです—白若し（わ六）の押へならば九十と切つて一戰を試みる積りでした（黒）九十一で（へ七）からツケて居る氣にもなれなかつたが、此の九十一、九十三も相當危險な手のやうです、かう押しては見たものゝ、白九十四と輕妙に外されて閉口しました（黒）九十七のハネは（ほ十三）の押しを含んだのですが——（白）九十八、百とハネノビる事になつては、形が整つて來たやうです

戰の跡　◇白八十四まで黒地を荒して實利を得たものゝ、七十、七十二のポン拔きなどのある所へ連絡したといふ點に些か不滿がある、それに黒八十五と先手を取られては白七十四以下の打込も黒に打撃を與へたとも思はれない◇白八十六の引きは三十に石のある場合は形とされて居る、九十五とばの如く（ち六）から打つのが穩當ではあるが、之に對し黒から急にきびしい攻めがないとするも此の深入りを咎め立てする理由も見當らない◇白九十二は九十三にハネて惡いとは思へない、其時黒九十二の切り違へは白（ちた）とハネて行くし、黒（り七）のノビは白（と六）と突張つて行くし、黒（ち六）の引きは續打ちにくい◇黒九十五の押しは執拗過ぎる、百にトンで打つ方が面白い◇白九十八はとにかく（ほ十三）と曲つてみたい筋、黒も一寸應手に困る黒から此處を押されるのは可なり辛い形だから——◇白九十八、百とハネノビられては容易に拿捕出來ない形になつた

ラヂオ　廿二日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・〇〇　ラヂオ體操
六・三〇　ラヂオ體操
八・〇五（東京より臨時）經濟市況
一〇・四〇（東京より臨時）經濟市況
一一・〇〇　經濟市況、公設市場値段

午後の部

〇・〇〇（東京より臨時）時報、經濟市況、ニュース、レコード
二・五〇（東京より臨時）經濟市況
三・三〇　經濟市況、ニュース
四・〇〇　野球試合實況＝中央公園內滿俱球場より中繼＝（三回戰ある場合）横濱高商對滿俱（アナウンサー美濃谷）
六・〇〇　ニュース、職業紹介事項
六・三〇　子供の時間一、コドモノシンブン二、子供の爲の音樂（レコード）解說村岡樂童一、森の水車二、森の蛙三、時計の店四、驚かさず其の他
七・〇〇（東京より）新內「傾城三度笠」（新口村の段）鶴澤吉之助
七・二〇（東京より）浪花節週間（第三日）「稻妻お玉」木村重友
八・〇〇（東京より）青年特別講座「現下の世界事情と日本の地位」東京帝國大學教授横田喜三郎
八・三〇（東京より）時報
八・三一　ニュース、氣象通報
八・五〇　趣味講話「趣味としての舞踊」若柳吉兵衛

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・二〇（新京より）ラヂオ體操
六・四〇（新京より）滿語講座、（滿語）
七・〇〇（新京より）日語講座、高宮膳逸　植松金枝
八・〇五（東京より）經濟市況
九・〇〇　料理獻立、福島有榮尾發表
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一一・四〇（東京より）ニュース
一一・五九　時報

午後の部

〇・〇五　經濟市況（日滿語）
〇・三〇　ニュース
一・〇〇（新京より）演藝（滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況（日滿語）
四・〇〇　公示事項、ニュース（日滿語）
四・五〇（新京より）ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間（滿語）「關於兒童學校生活」奉天大同學院賈煥章
五・三〇（新京より）講演（滿語）
五・五五　氣象豫報、番組豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニュース
六・三〇（東京）管絃樂一、歌劇「賣られた花嫁」序曲スメタナ作曲二、歌劇「マルーフ」舞踊音樂ラボー作曲＝新交響樂團練習所より中繼＝日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット
七・〇〇（東京より）新內「傾城三度笠」（新口村の段）鶴賀吉之助
七・二〇（東京より）浪花節週間（第三日）「稻妻お玉」木村重友
八・〇〇（東京より）青年特別講座「現下の世界事情と日本の地位」東京帝國大學教授横田喜三郎
八・三〇（東京より）時報、全國ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇（新京より）演藝（滿語）

【新京・京城プロ未着】

スポーツ通信　普通乘用自動車の天井に櫓を設け、徐々と走りつゝある後にランニングの選手を追はしむる樣に、後から驅さして此の櫓の上に立つて居るコーチャーが、名前を指示してその驅け方の監督をする事をアメリカにおいて行つて居るが、この高さから見れば缺點がよく見えるので、コーチとしては極めて成績良好であるといふ事である。

ラヂオで小說異變　濠洲生れの英國短篇小說作家デール・コリンス氏は目下生れ故鄕の濠洲を訪問中だが氏は將來の小說の形態に關して左の如き意見を發表した「將來の文學は研究の材料として讀む人に限られるであらう、その他の所謂享樂の爲めに讀まれる種類の小說は恐らく昔の口を以てするといふ形態に復歸するであらう、唯將來のそれはラヂオを通じて行はれる點に相異點があるだけだ、此の結果下手な作家でも美聲の持主は流行し好い作家でも聲の惡いものは賣れッ子になれないといふ珍現象が出現するであらう、何しろトーキーの發明は映畫界からサイレント時代の一流スターを失墜させた、恰度それと同じやうにラヂオの發明は小說界にも異變を生ずるわけで、文明の進步も一長一短だ」

夏と鹽の不足　夏は汗と一緒に多量に鹽を體內から出してしまふので自然身體に鹽氣が足りなくなつてゐます。鹽氣が不足すると何となく衰弱し精力が減退しますから必ず相當鹽氣をおぎなふ必要があります。それにはむぎ湯や番茶等へ鹽で味付けをなし、これを常に飲用すると美味しくもあり鹽分もとれます。

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規
一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名　大連市東公園町滿洲日報社內「ラヂオ相談係」

昭和九年八月　滿洲日報社

"海の勇者"聯合艦隊

舳艫相啣んで堂々 九月十八日來連

准士官以上八百名滿洲國視察 同國訪問の大飛行をも決行す

日滿人の軍艦拜觀許可

【新京電話】在滿日滿人待望の吾等が海の勇者聯合艦隊は愈々九月十七日裏長山列島を出發、滿洲國訪問の壯途につくこととなつた

右艦隊 は十八日正午頃大連に到着し十八日より二十三日まで五日間大連に碇泊、第二艦隊は二十四日、第一艦隊は二十五日何れも大連發旅順に向ひ二十六日旅順に碇泊、二十七日揃つて旅順を發航青島に向ふ豫定である、これよりさき十七日には水上飛行機約〇〇機は安東方面訪問飛行をなし二十日より二十四日まで艦上飛行機〇〇機をもつて

滿洲國 訪問飛行を行ひ大連より新京、ハルビン（吉林上空經由）を一氣に飛び、歸途ハルビンより新京に着陸、奉天に向ひ奉天に一泊の後大連に向ひ一方水上機の一部は二十一日及び二十四日大連、ハルビン間飛行を行ふ（松花江下流着陸）筈である各艦隊は大連在泊中一般官民の艦隊觀覽を許可し艦隊准士官以上約八百名は上陸して滿洲國の實狀視察をなし一部は奉天撫順方面又はハルビン附近に向ふ

豫定で 艦隊の大連より旅順に回航の際には滿洲國及び關東州官民有力者、學生、各團體などの乘艦を許可し、艦隊諸作業を見學せしめることゝなつてゐる、また二十五日及び二十七日金剛艦上においてアットホームを開催し滿洲國及び關東州日滿官民を招待する豫定である

なほ末次聯合艦隊司令長官の一行は十八日大連において地方官民との交驩を行ひ十九日大連神社、忠靈塔に參拜した後大連發新京に向ひ二十日滿洲國皇帝陛下に拜謁その夜は地方官民との交驩をなし二十一日新京を出發ハルビンに向ひ地方官民との

交驩を 行つた後二十二日ハルビン發奉天に赴き同地官民との交驩を行つて二十三日奉天發湯崗子に到着、二十四日同地發大連に歸還することになつてゐる、第二艦隊司令長官以下は廿三日右一行と別れ奉天より大連に直行する筈である（これらの一行は新京、奉天ではヤマトホテルに宿泊する豫定で一行約三十名）

駐滿海軍部當局談

右の如く聯合艦隊の今次滿洲國訪問は艦隊准士官以上八百名をして滿洲國の

實狀を 視察せしめることゝ、滿洲國官民の便乘見學を許したことゝ更に艦隊飛行機をもつて滿洲國内の各地訪問飛行を爲さしめることにおいて從來曾て見なかつたもので劃期的壯擧とみられてゐる

聯合艦隊の滿洲國訪問の大壯擧に關し、駐滿海軍部當局では左の如く語る

今回の如く聯合艦隊乘組員八百餘名の滿洲國訪問は最初のことである、抑も海軍は過去においては海にかかり研究してゐたため陸に對しては認識不足の點があつた、しかし今や滿洲國も堅實なる發達を遂げ益々基礎鞏固になりつゝある折柄、是非滿洲國の實狀を視察し陸に對する新知識を深めることが必要になつて來てゐる、今回の渡滿は實にこの點において有意義なものであると思ふ、滿洲國要人を始め滿洲國の各團體の參觀便乘を許すことゝなつたのも今回が初めてどこれまたあらゆる方面に有意義な結果をもたらすものと思ふ海軍としても滿洲國要人及び各團體の參觀は極力希望してゐるところである

水禍のあと 下六道溝の陷沒した道路 ―山口特派員撮影―

送水開始の見込 的確に立たず

困難な水源池復舊工事

【安東電話】水源池の復舊工事は湧出する水と流れ集まる山水とで決潰口から奔流する水勢烈しく作業困難を極め送水パイプの据附を終り送水を開始し得る的確な見込はまだ立たない模樣である、從つて現在の飲料水配給は送水開始の遲速は別問題として萬全を期すべく一日一千噸の飲料水配給を目標に計畫を進めて居るが滿鐵本社からのトラック十臺、奉天二、新京一撫順一の撒水車の到着を待つて二十三日以後は一日一千噸を配給し得る見込みである

尚二十日の飲料水配給は撒水車百五十噸、井戸水四百噸計五百五十噸である

衞生計畫 即日實行へ

【安東特電二十日發】地方事務所は二十日滿鐵衞生課防疫主任村川博士を迎へて協議の結果次の衞生計畫を決定即日實行を開始した

一、汚物の清掃（これがため約二十臺の汚物運搬車を急造する）

二、浸水家屋の大消毒

三、チフス、赤痢の豫防注射及び豫防錠配布（衞生課特派の防疫班と市内開業醫の協力を求む）

四、飲料水、野菜の消毒、特に飲料水は各家庭に濾過器を設ける様勧勵する

一般罹災者に對する地方事務所の焚き出しは二十日朝で一應打切り下六道溝、七道溝、製糸會社、窯業會社等最も被害の甚だしい七個所の罹災者約五千名に對しては當分焚き出しを續けることになつた

郡山理事一行 安東各方面歴訪

【新京電話】郡山滿鐵理事、多田地方課長一行は二十一日午後零時三十分着安、地方事務所に於て一般の水害狀況を聽取した後領事館、憲兵分隊、守備隊、警察署、商工會議所、輸軍分會、國粹會、縣公署、新義州平北道廳、警察廳等を訪問見舞と謝辭を述べ、水源池、製紙會社等被害地を視察した

奉天の關屋地方事務所長、鹽尻地方委員議長、西巷居留民會副會長等の慰問團も同車來安した

工事不正の疑惑解消 困難な被害調査

【安東特電二十日發】今回の水害は範圍が餘りに廣汎で深刻なためその綜合的損害調査は全然推定も不可能な狀態であるが、滿鐵本社では

正確な 數字的調査を督促してゐるので地方事務所は十九日以來綿密な被害調査を開始してゐる、これに基いて今後の救濟計畫を樹てることになるらしく、地方委員會を中心として救濟委員會が組織される筈である

第一水源地堤防決潰による人命財産の損害の餘りに莫大なるため水源地建設工事は不正事實が伏在してゐるのではないかとの

疑惑を 生み十九日夜の地方委員區長聯合協議會でもこの點が問題となつたが地方事務所及び滿鐵本社派遣技術員の意見と地方委員區長の水源地現場調査の結果

不正事實に對する疑惑は完全に解消された

本村本社代表 安東地方へ出張

安東地方の水害に對し本社はその慘害狀況を速報すると共に眞相の調査及び對策講究中であつたが、協議の結果本社代表として本村營業局長を同地に特派し慰問旁々罹災者救濟及び復舊施設を視察せしめることゝなり、本村氏は二十一日午後九時大連發二十二日午後零時半安東に到着する豫定である

日赤奉天病院から救護班

日本赤十字社では安東水害に鑑し奉天病院に命じ二十日午前七時醫員一名、書記一名看護婦二名よりなる移動救護班を罹災水害地へ急派せしめた

被害程度 滿鐵への情報

安東大水災の被害程度に關し二十日夜滿鐵に達した報によれば滿人街の浸水家屋八千戸（全市の約八割）流失及倒壞家屋一千戸、罹災民三萬人、その中救濟されたもの一萬人、死亡者見込八百人、發見された死體二百で損害は五百萬圓にのぼる見込みである

奉天に不思議な熱病流行

郵便局宿舍に續發

【奉天電話】二十日午前九時頃稻葉町郵便局獨身宿舍橋立寮に熱病發生し滿鐵醫院より醫師を派遣し調査中であるが原因不明で益々續發し二十一日朝には十七名發生し更に益濟寮には十八名青雲寮には四名の罹病者あり奉天署衞生係は三村細菌檢査所長と共に實地に赴き病源を調査中であるが患者は何れも急性で午前中まで執務して居た者が午後罹病し發熱四十度に及び此の中一名は重態にて滿鐵醫院に入院せしめて居る有樣で衞生係では宿舍の臺所及び便所の大消毒をなし蔓延防止に努力中である

メトロ映畫の新任支店長着連

映畫欄所報の如くメトロ・ゴールドウイン映畫社の奉天への滿洲支局設置による新任支店長ロバート・ルーリ氏同社員松本慶三氏は大阪支店長ヨハンソン氏と相攜へて二十一日の扶桑丸で來連した、船中交々語る

今般御地をはじめ全滿の映畫界受持が上海から大阪の支店に移りましたのでこれを機會に奉天に支店を設置し全滿のフアンの御期待に副ふやう努めます、尚從來メトロ映畫が支那版であつたのも全部日本版に改め大連を始め全滿各地に出來るだけよい映畫を上映したいと思ひます

自動車網擴充に總局の努力

【奉天電話】鐵路總局は直營の自動車網の擴充に努力しつゝあるが近く十四、五萬圓を投じて安東に自動車事務所並に車庫を建設することゝなり更に山城鎭、敦化、熱河、北滿訥河の各地にも各十數萬圓を投じて自動車事務所並に車庫を設立し自動車網の充實に向つてゐる

宣傳紹介用滿文の小册子 滿鐵々道部で製作

滿鐵々道部宣傳係では從來多數の宣傳紹介用のパンフレットを出してゐるが未だこの種の滿文パンフレットがなく最近滿人觀察團體の激增に伴ひその必要を痛切に感じたので目下滿鐵沿線紹介および内地旅行手引の滿文パンフレット製作中で九月末日までには出來上ることになつてゐる

匪賊自動車を襲ふ

邦人婦女ら五名卽死

【奉天電話】二十一日午前六時山城鎭を出發した國道建設局の自動車二臺に便乘した吉川組の

邦人 四名滿人十數名は柳河に向ふ途中鐵道線附近において國籍不明百數十名の匪團の襲擊を受け邦人女事務員外一名と滿人四名は卽死し負傷者二名を出したが吉川組の現場監督外一名と滿人數名を人質として拉致、急報により山城鎭、柳河より警官隊が

討伐 に出動した、尚山城鎭滿鐵事務所自動車會社では自動車を現場に派遣し死傷者並に負傷者の收容をなす事となつたが右に關し吉川組では語る

まだ詳しい事は判りませんが慘殺された女と云ふのは現場監督の草野與三氏の妻女であらうと思ひます、一行は山城鎭、柳河間の國道建設のため十九日奉天を出發し同地に向ひ遭難したものです

滿俱再敗 2A―1

對横濱高商野球戰

横濱高商對滿俱野球第二回戰は二十一日午後四時十分より滿俱球場において鈴木（球審）松木、安藤弟（壘審）三氏審判、滿俱先攻で開始八回まで一對一の同點となり補回戰に入るかと思はれたが今井の一打に形勢逆轉二A對一で横濱高商再勝す閉戰五時五十五分

滿俱	001	000	000	=1
横濱	100	000	001A	=2A

俱 崎 兒田谷池美本弟原
滿 汐濱本杉小宇梅濱柴
8 1 6 4 3 2 7 5 9

濱 口保田嵐橋元邊志井
横 牟久平五高山渡高今
6 4 2 1 3 9 7 5 8

經過

◇一回　滿俱汐崎二飛、濱崎兄四球本田中飛、杉谷右飛▲横濱牟田口四球に出て久保三前バント一壘惡投に牟田口一舉還り久保二三進、平田二飛、五十嵐三振高橋四球に續いたが山元投匍

◇二回　滿俱小池二匍、宇佐美遊匍高投に出でたが梅本の一直飛に併殺▼横濱渡邊遊匍、高志死球今井四球に出で續く牟田口の遊匍に今井二壘封殺この間高志三進久保打者の時牟田口二盜を企て捕手これを刺さんとして二壘送球この間三壘走者本壘を衝いたが遊擊手の送球に高志本壘に刺さる

◇三回　滿俱濱崎弟三前ゴロ柴原左中間單打に出で汐崎右前單打に柴原二進濱崎兄中飛後本田の左中間單打に柴原一舉還り球の本投される間に汐崎三進本田も二進したが杉谷右飛▼横濱久保四球に出で平田三振の時二盜更に三盜したが五十嵐四球に出で二盜に刺され高橋投匍

◇四回　滿俱小池三振、宇佐美一匍失に出で梅本の二匍に宇佐美二壘に封殺され野手併殺せんとして一壘に惡投し梅本二進濱崎弟四球に續いたが柴原一匍▼横濱山元三振、渡邊中飛、高志二匍

◇五回　滿俱汐崎右飛濱崎兄三振本田一匍▼横濱今井遊匍、牟田口右飛久保二匍

◇六回　滿俱杉谷投匍、小池右飛宇佐美三匍▼横濱平田三振、五十嵐遊匍、高橋三壘ベース上を拔く單打に出で山元の右前單打に二進渡邊四球に二死滿壘となつたが高志遊直飛

◇七回　滿俱梅本中前單打に出で濱崎弟の投前バントに二壘封殺柴原一邪飛、汐崎三匍▼横濱今井遊擊トンネルに出でたが牟田口の三前バントに封殺、久保中飛、平田捕邪飛

◇八回　滿俱濱崎兄右飛、本田二直飛杉谷三飛失に出でたが小池中飛▼横濱五十嵐左飛、高橋三匍、山元左飛

◇九回　滿俱宇佐美二飛、梅本三振、濱崎弟右中間單打に出でたが柴原三匍▼横濱渡邊三振、高志四球に出で今井の右中間三壘打に高志還り勝敗決す

滿俱横濱一回戰成績表

（横濱）

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
4	久保	4	0	0	0	1	1	1	0	0	1
6	牟田口	4	0	0	0	0	0	1	1	3	0
2	西山	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0
3	高橋	3	0	0	0	0	1	1	10	0	0
9	山元	3	0	0	0	0	0	1	4	0	0
7	岩崎	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0
7	（渡邊）	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0
8	今井	1	1	0	1	0	0	2	3	0	0
1	河上	3	0	1	0	0	0	1	0	5	0
5	高志	3	0	0	0	0	1	1	1	2	1
	計	27	2	1	1	1	3	10	27	10	2

（滿俱）

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8	汐崎	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9	柴原	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0
6	本田	4	0	1	0	0	0	0	3	7	1
4	杉谷	4	0	2	0	0	0	0	4	0	1
3	小池	4	0	0	0	0	0	0	11	0	1
1	中澤	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0
1	濱崎兄	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7	梅本	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7	（市川）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	宇佐美	3	0	1	0	0	0	0	4	1	0
5	濱崎弟	3	0	0	0	0	1	0	2	4	0
	計	32	0	5	0	0	2	0	27	15	3

▲三壘打―河上▲併殺―横濱1（河上―牟田口―高橋）滿俱1（本田―小池）▲試合時間―一時間五十分

六家子にペスト

【奉天電話】通遼縣臥虎屯東方六家子に又復ペスト患者發生し八月五日より十八日まで十三名の患者が發生し死亡し尚蔓延の兆があり、同部落は全員百十餘名で全滅の危險に瀕して居るので目下鐵路總局並に鄭家屯より防疫員を急派し防疫に努めると共に四平街、鄭家屯に於いては列車乘客の望診をなす事となつた

全臺灣鐵道對大連滿鐵庭球戰

大接戰後ドロンゲーム

全臺灣鐵道庭球軍の來滿第一戰たる對大連滿鐵庭球部戰は二十日午後三時より大連北公園滿鐵テニスコートにおいて有賀學務課長の開會の辭後開始したが、滿鐵軍先鋒より好調で終始脅迫を續け第一回戰において4―3でリードし更に優退戰において2―0とリードしたが日沒のため試合續行不可能となり全臺灣軍は優退二組、大連軍は優退四組を殘して不戰のまゝドロンゲームとなる閉戰六時五十分

第一回戰

全臺灣軍　大連軍

津田、村田（3―4）南部、岡見○

津田盛んにサイドを攻めたがアウト多く南部組2ゲームを先取してリード、爾後津田組の力戰で3―3となり最後のゲーム・ジユースを三度繰り返すも遂に南部組に凱歌揚る

淺野、尾子（3―4）伊藤、立川○

淺野はバック・ハンド、伊藤はフオアーの猛球を武器として互に秘術を盡し技倆伯仲一進一退の好ゲームを續けたが、立川のスマッシユきまつて滿鐵二勝

○耳井、辛（4―2）元吉、吉田

耳井、元吉ともに好打したが辛よく得點して第一ゲームを先づものにすれば元吉は強サーブで第二ゲームを得2―2の對ゲーム後耳井ねばつて臺灣一勝

近藤竹之内（1―4）森川津島○

森川の好打に對し近藤組のミス多く森川組簡單に勝つ

○張、杉原（4―0）坂巻、宮澤

張の好打に對し坂巻コントロールなく、宮澤もまた平常の元氣更になく自滅した

○原、岡（4―2）工藤、楠

工藤組簡單に2ゲームをロスしたが漸く好調となつて2―2に追ひつめたが原の打球冴えて續く2ゲームを獲得

西尾、宇治田（3―4）川久保、内倉○

西尾は變化ある球で、これに對して川久保はコーナー深く衝く直球で應酬し遂に3―3の大接戰となつたが川久保の好コンビは遂に最終ゲームをものにす

優退戰

○平井、辛（4―3）南部、岡見

後衛互に猛球の交戰、兩部組奮戰の結果は3―2とリードしたが兩部の球筋を看破した辛の美技さえて連續2ゲームを獲得して勝つ

張、杉原（3―4）伊藤、立川○

鬪將張に對して伊藤奮戰し3―3の接戰となり伊藤得意の猛球で盛んに攻め立てれば流石の張も耐へかね遂に斃る

原、岡（1―4）森川、津島○

兩組とも前衛のミス多きも森川よく敵の虚をつき簡單に勝つ

平井（日沒のため以下中止）伊藤 立川

辛（優退組）川久保、内倉

（優退組）森川、津島

くらげに釣らる

くらげに釣られた漁夫、市内ロシヤ町居住山東生れ李春新（二）は二十一日午前八時頃舢板を漕ぎ出し寺兒溝沖東一哩の地點で最近急激に繁殖したくらげを捕つてゐたがふとした彈みにくらげに釣られて海中に轉落した

折柄同樣附近でくらげ獲りに夢中であつた張貴卿（二八）は何時の間にか主を失くした舢板が空しく浮いてゐるのを發見、附近を探したが行方不明でむなくその舢板を曳いて午前十時頃寺兒溝棧橋に辿りつきかくと水上署に屆出るところあつた

山口鐵道部次長の沿線視察旅行

滿鐵々道部では最近各方面の不祥事件勃發に對しこの際現業員の綱紀振肅方法につき各種の案を樹てゝゐるが新任次長山口十助氏は二十四日大連發次長就任後最初の現業視察を遂げ特にこの綱紀振肅について各方面を督勵することゝなつた、なほ同次長は安奉線の水害現場も慰問九月四日ころ歸連の豫定

總局殉職者慰靈祭へ

鐵路總局の殉職者慰靈祭は二十三日奉天で催されるがこれに出席のため宇佐美理事は二十二日の夜行で赴奉の筈で、また鐵道部代理として石原庶務課長が同理事と同行することになつた

小野教授着任

奈良女高師教授より今般旅順工大豫科教授並びに同主事に轉任の小野新太郎氏は家族同伴、二十一日入港の扶桑丸にて來連、直に旅順に赴いた

西川九大教授

九州帝大名譽教授西川虎吉博士は二十一日入港の扶桑丸でひょつこり來連した、船中語る

友人栗原中央試驗所長の病氣見舞に來たんです……

施履本氏夫人

豫て宿痾の腎臟病を文化臺の自宅に療養中であつた滿洲國外交部北滿特派員施履本氏夫人關香仙女史は遂に二十日朝一子筆和作を殘して逝去した、享年五十三、施履本氏は同日午前九時五十分發列車でハルビンを發つたが葬儀は同氏の來連を待つて行はれる筈

訂正

二十二日附夕刊二面「滿鐵改正ダイヤ決定」の記事中、下り急行列車の四番目、大連發二二、〇〇とあるのは二〇、〇〇（午後八時）の誤につき訂正

河本大尉送別野宴

離連する前大連兵站支部長河本大尉のため、大連市中側有志主催の送別野宴が二十日午後一時から忠靈塔前に開催されたが出席者約百名なかなかの盛會であつた

大波多氏告別式

關東軍憲兵隊囑託大波多五郎氏は盲腸炎でチチハル衞戍病院に入院加療中去る十七日死去したが遺骨は令兄其一氏に護られ廿一日午後四時四十分着列車で來連、二十二日午後四時から西本願寺に於て告別式を執行さると

警士の募集

【東京特電二十一日發】陸軍省では滿洲國の依頼により九月から明年二月まで三回に亘つて警士（巡査）を募集、二十二歳以上廿七歳以下中學二年程度以上で徴兵檢査標準の體格を有するものといふ條件で、各聯隊區司令部の推薦者に對し考査の上採用すると

……舞にやつて來た、一週間程の豫定だが暇があれば關東廳の醫業試驗の方がどうなつてゐるか見て歸りたい

安樂椅子

二、三日前の事午後四時四十分着の列車からふらふら〳〵と酔拂ひの樣な足どりで出て來た二人の滿人を「怪しい」と睨んだ驛前派出所巡査が早速連行。

……◇……

裸にして見るとこれは意外、二人共小洋をぎつしり詰めた下衣を着てゐる、取調べの結果兩人は瓦房店新京街德永錢同美鴻德（二〇）とその友人で本店の市内愛宕町裕昌恒錢莊に現金輸送の途と判明。

……◇……

この防彈短衣には約一千圓の小洋が詰められその目方八貫餘、一著に及べば一町も歩かぬに汗だくになると言ふ代物、この暑さによくもこんな物を着たものだ、それに當世流行のギャングにホールド・アップでもされたらどうすると訊けば――。

……◇……

「なあに、それほどでもありませんや、それに紅粍子（馬賊）が出たつてこれが防彈短衣の役に立ちますされ」と何處までも合理主義の滿人らしい遣り方、とは言へ一寸凄い話である。

由比正雪（7）

悟道軒圓玉演
武田一路畫

敵の手がかり

庄次郎に八蔵は茶店を立ち去り其の人々を見送り、

「これ〳〵親爺」

呼ばれて茶店の主人が、

「ハイ。何ぞ御用でございますか」

「今あの人々が話して居つた軍學の先生は何と申す者だな」

「高松半兵衛樣と申しまして。元は江戸の方ださうですが、四年ばかり前に此の宿に來て正大寺村といふ所に住んで居りますハイ、さやうさもう年齢は五十を越えて居りますかな、養子の與四郎さんと二人暮しで志のある人に劍術や學問を教へて居ります」

庄次郎これを聞いてそれこそ尋ぬる龍菊池源右衛門かと思ひ、

「其の正大寺村と申すは茲よりの方向は」

「西の方にいらしつて北に切れると石の橋がございます、それを渡ると赤く塗つた門の寺がありますが、それは妙光寺と申して法華宗でございまして和尚が道樂坊主で駿府の女郎におツ陷つて寶物を賣り其の上御本尊の日蓮樣の像を古金屋に賣つて一昨年の暮のえらい雪の降つた晩に逃げ出しました、其後此の和尚が」

「コレ待て、その和尚の事を訊くではない」

「成る程さうだ、妙光寺を抜けると田甫道へ出ますが其の向ふに森があつて此の森を抜けると高松樣の御宅でございます」

「さうか、それではこれから參る事にいたす」

茶代を置いて僕の八蔵を伴れて教へられた如くその道を辿り、森を抜けると木槿の生垣をした一軒の藁家がある、茲であらうと近寄つて見ると古き冠木門に子昂の筆法で高松寓と記した標札が掲げてある是を入ると右の方に桔槹の井戸があつて前の垣の下に山吹が咲き亂れ八ツ下りの陽が映じて一層花が美しく見える、此時母家の後でコケッコーと鷄が時刻をつくつた。庄次郎は玄關に來て案内を乞ふとそれへ出て來たは十八九歳の色の白い上品な若者、

「何れからお越しなされました」

問はれて庄次郎は腰を屈め、

「自分事は肥後熊本の藩士にて大澤熊次郎と申す者でございますが高松先生の御高名を承りお手元にて修業仕り度此の事宜しくお傳へ下さい」

これを聞くとその若者はニヤ〳〵笑ひ、

「肥後の熊本からお出でになりましたか、高松半兵衛は私の親父でありますが、九州まで名の知れる程の人物ではないやうです、併しお尋ねになつたとあらばこれへお通り下さい、今日親父は江尻の名主の許へ論語を抱へてむづかしい講釋に行きました、イヤモウ世の中が末になりますと孔子を賣物にしたり、又兵學では孫子呉子の言つた事を賣物にいたします」

これを聞いて庄次郎の大澤熊次郎が此の人は口が惡いと思つた。

茲で二人は草鞋を脱いで奥へ通る、やがて若者は茶を侑め、

「手前は高松の伜で與四郎と申します」

と言つたが、此の與四郎が後の由比正雪、國事犯の玉子です。與四郎は庄次郎主従をジロ〳〵見て居たが、

「至く肥後の熊本の親父の名をお聞きになりましたか」

「イヤ、江戸に修業にまゐる途中由井の宿の茶店にて先生のお名前を承りました」

「さうでせう、九州まで名の轟く程の親父は人物ではないと思つて居ります、さりとて平凡の人物でもありますまい、まア何うやら武士の資格は備へて居ります、然しこんな所で兵法を學ばず共江戸にお出でになれば文武共に傑れた者が居ります」

「イヤ先生の教へを受けたく存じ推參いたしました」

「それではお會になつて、どれ程の人物か叩いて御覽なさい」

と斯んな事を言つてゐる、其所へ高松半兵衛が戻りました。